

CEATEC[®] JAPAN

— CPS/IOT EXHIBITION —

つながる社会、
共創する未来

CPS/IOT EXHIBITION

CEATEC JAPAN 2016 実施報告書

主催 CEATEC JAPAN 実施協議会

CIAJ 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会

JEITA 一般社団法人電子情報技術産業協会

CSAJ 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

2016年10月4日 **火** ▶ 7日 **金**

>>> 幕張メッセ

CEATEC JAPAN 2016

トピックス

CPS/IoT Exhibition として生まれ変わった CEATEC JAPAN

未来を見据えたコンセプトや新しいビジネスモデルを発信の場として、ライフスタイルと産業構造を変える CPS/IoT の総合展「テクノロジーショーケース」として開催！

■昨年を大幅に超える数の出展者、来場者が集結！

• Visitors

来場者：**145,180** 名

※リピータを含まない登録来場者／登録プレス、及び、出展関係者の総数

• Exhibitors

出展者：**648** 社／団体

■開催テーマ：「つながる社会、共創する未来」

「つながり」を生み出し未来を共創する次世代型の新しい展示会として、業種や産業を超えた連携や人工知能（AI）、Fintech、ロボティクスなどの先端技術をつなぐコンファレンスや特別企画を実施。

• Conference

コンファレンスセッション：
147 セッション

コンファレンス聴講者：
25,968 名

※開催中のセッション聴講者述べ数

• Venture

ベンチャー企業・大学研究機関出展者：
139 社／団体



CEATEC JAPAN 2016

トピックス

■オープニングレセプション

開催前日の10月3日（月）に、パレスホテル東京で開催されたオープニングレセプションでは、安倍晋三内閣総理大臣、高市早苗総務大臣、世耕弘成経済産業大臣の3閣僚が祝辞を述べ、CEATECに出展する関係各社、多くの国会議員を含む政府関係者、各国の大使館関係者が一堂に介した。

・Opening Reception

参加者：**837**名

■国内外のメディアが注目

全世界をカバーする報道機関や、日本国内の全国紙、先端技術にフォーカスした各種専門媒体など、国内外の様々なメディアの注目が集まった。

・Press

登録来場プレス：**1,573**名

【概況】

CEATEC JAPAN 2016は、平成28年10月4日（火）から10月7日（金）までの4日間、千葉市・幕張メッセにおいて、総務省、経済産業省、日本放送協会他、25省庁・団体の後援、51団体の協賛で盛大に開催した。

今年で17回目を迎え、本年より、「IT・エレクトロニクスの総合展示会」から「CPS/IoT Exhibition」に大きく舵を切り、未来を見据えたコンセプトや新しいビジネスモデルを発信する場として、ライフスタイルと産業構造を変える可能性を持つ CPS/IoT の「テクノロジーショーケース」に生まれ変わった。

展示会場を先端技術の活用シーンごとに「社会エリア」、「街エリア」、「家エリア」、「CPS / IoT を支えるテクノロジー・ソフトウェアエリア」の4つに分け、将来的に CPS/IoT がどのようにライフスタイルを変えていくのかが体感できる構成とした。また、CPS/IoT 時代に向けたキーノートスピーチをはじめ、アメリカ、ドイツなどの最新動向、人工知能 (AI) や Industry 4.0、Fintech などの多様なテーマで展開したコンファレンスでは、各分野で技術をリードする国内外のトップ企業や研究機関などから多数のキーパーソンが登壇した。

CPS/IoT 社会を支えるキーテクノロジーから、それらを活用するサービスまでが一堂に会し、新時代のビジネスモデルを発信する「CPS/IoT の総合展」として、未来を共創する次世代型の新しい展示会として、新たなスタートを切った。





Contents

CEATEC JAPAN 2016 トピックス

Topics

概要／イベント

Outline/Event

テーマ／会場構成	04
オープニングレセプション	05
CEATEC AWARD 2016	07
米国メディアパネル・イノベーションアワード2016	08
特別企画／イベント	09
会場図	13
出展者リスト	17
出展傾向	19
CEATEC ニュース	26

コンファレンス／セミナー

Conference/Seminar

コンファレンス／セミナープログラム	31
オープンステージプログラム	38

実績データ

Results

出展者数内訳、アンケート結果	40
来場者数内訳、アンケート結果	41
広報・プロモーション	43
CEATEC JAPAN 公式 Website	45
開催概要	46

04

オープニングレセプション



10月3日（月）、パレスホテル東京で CEATEC JAPAN 2016のオープニングを飾るレセプションが開催された。

レセプションでは、安倍晋三内閣総理大臣、高市早苗総務大臣、世耕弘成経済産業大臣の3閣僚などが祝辞を述べ、また、本年はレセプション開催前に、IoT 分野の国際連携、日独連携に関する調印式が開催されたこともあり、その関係者を交えてのフォトセッションが開催された。

CeBIT パートナー国契約締結発表にあわせて、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）石毛博行理事長とドイツメッセ マリウス・フェルトツマン上級副社長による挨拶と日独連携の観点からドイツ経済エネルギー省 ステファン・シュノールデジタル・イノベーション局長からの祝辞が、また、IoT 分野の国際連携とあわせて、IoT 推進コンソーシアム 村井純会長より開催への祝辞が述べられた。オープニングレセプションへは、CEATEC に出展する関係各社が集まる中、多くの国会議員を含む837名が参加した。

CEATEC JAPAN 2016 オープニングレセプション

日時：平成28年10月3日（月）18:05～20:00

場所：パレスホテル東京「葵の間」



■来賓挨拶

安倍 晋三 内閣総理大臣

最近は国会でも、IoTや『第4次産業革命』について度々質問を受けるようになりました。我が国のIT・エレクトロニクス産業の歴史は、戦後日本の経済成長の歴史、そのものではないでしょうか。

1964年。東京オリンピック・パラリンピックが開催された年は、CEATECの前身である『エレクトロニクスショー』が初めて開催された年でもありました。あの頃は、新しい電化製品が出る度にわくわくしていたのを「うちもこんなに、便利になったな」みたいな気がしまして、思い出すわけですが、高度経済成長期を迎えた日本の街並みは、その頃を境に大きく変化をいたしました。『三種の神器』などの電化製品は、日本経済を一気に世界のトップレベルへと押し上げました。

電化製品の成長を支えてきたCEATECが、今、従来の家電中心から、IoTを通じた社会課題の解決策の展示会に大きく変わろうとしていて伺っております。最先端の分野で、世界中から、技術、そして人、情報が集まるIoTの『メッカ』になる。そのことを大いに期待しています。

ビッグデータやAIを活用し、人や製品が従来考えもしなかったようなつながり方をすることで、新たな価値を生み出します。『第4次産業革命』の時代、日本が培ってきた技術力や強みはもう通用しないという人もいるかもしれませんが。私はそうは思いません。例えば、第4次産業革命の鍵となる精密なセンサー、ロボットの繊細な制御などの技術。こ



つこつとカイゼンを積み重ねる強い現場。『お客様は神様』と言われ、顧客の厳しい目に鍛えられ、技術、そして製品・サービスを磨き続ける力こそ、日本の『強み』であります。

『第4次産業革命』は、国民生活を豊かにしながら、企業の生産性を向上させます。その主役である皆様の新たな挑戦をサポートしてまいります。先月立ち上げた『未来投資会議』を中心に、必要な改革を躊躇なく断行してまいります。

日本は、少子高齢化そして人口減少というピンチに直面しています。しかし、皆様の優れた技術と果敢なチャレンジ精神があれば、

強い日本経済を必ず実現できると確信しております。まさに『ピンチをチャンスに』、であります。

IT・エレクトロニクス産業は、100万人以上の雇用を支える我が国の基幹産業であります。皆様の活躍なくして、日本の経済発展はないと思います。

本日お集まりの皆様の更なる御健勝と御活躍、そして、CEATECの成功を祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。 (以上、ご挨拶挨拶)



来賓挨拶
高市 早苗 総務大臣



来賓挨拶
世耕 弘成 経済産業大臣



主催者挨拶
CEATEC JAPAN 実施協議会 山本 正巳 会長

CEATEC AWARD 2016



今年で6回目となる CEATEC AWARD は、CEATEC JAPAN 出展企業より応募された最新、最先端の技術、製品、サービスを対象に、IT・エレクトロニクス産業の進展と CPS/IoT 市場の本格始動、市場創造に貢献するものとして実施された。本年は、開催テーマ「つながる社会、共創する未来」のもとに、総務大臣賞、経済産業大臣賞と各4部門賞が選定された。

総務大臣賞



高度広帯域衛星デジタル放送受信機
シャープ株式会社



経済産業大臣賞



網膜走査型レーザアイウェア技術
富士通株式会社



グランプリ

暮らしと家をつなげるイノベーション部門

音声認識表示技術
「しゃべり描き UI (ユーザーインターフェイス)」
三菱電機株式会社



▼準グランプリ
非接触肌センサーおよびメイクアップシート
パナソニック株式会社



▼準グランプリ
YOGA BOOK (ヨガブック)
レノボ・ジャパン株式会社



グランプリ

街と社会をつなげるイノベーション部門

AI (人工知能) を活用し未知のサイバー攻撃
を対策する、自己学習型システム異常検知技術
日本電気株式会社



▼準グランプリ
ドライバー運転集中度センシング技術
オムロン株式会社



▼準グランプリ
スマート補聴器 リサウンド・リンクス²
ジーエヌリサウンドジャパン株式会社



グランプリ

テクノロジー・ソフトウェアイノベーション部門

8K HEVC リアルタイムビデオエンコーダソリューション
高度 BS 放送対応受信用 LSI 「SC1501A」 8K HEVC 映像
デコード処理 LSI 「SCH801A」 株式会社ソシオネクスト



▼準グランプリ
PrecisionCore プリントチップ
エプソン販売株式会社
セイコーエプソン株式会社



▼準グランプリ
世界最小0201サイズの高周波インダクタ
株式会社村田製作所



グランプリ

グリーン・イノベーション部門

農産物の生産性向上、防災対策に貢献。地中のリアルタイム測定が可能な「土壌環境センサ」
ローム株式会社 ラピスセミコンダクタ株式会社



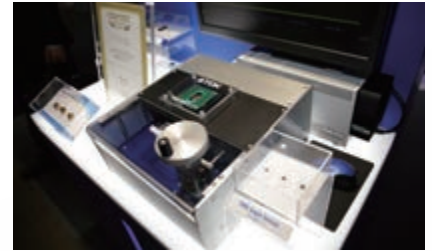
▼準グランプリ
超低消費電力 IoT 対応水素検知センサ

パナソニック株式会社



▼準グランプリ
TMR センサ

TDK 株式会社



審査委員特別賞

【世界初】高性能ハプティック義手の開発
～力触覚移植技術による身体感覚補完～
慶應義塾大学(ハプティクス研究センター/野崎研究室)



■審査委員会総評

今年の CEATEC AWARD ですが、CEATEC JAPAN が新たに CPS/IoT の展示会として生まれ変わったことに合わせまして、これまで以上に幅広い分野から、過去最多の応募がありました。受賞された各製品は、それぞれにイノベーション性に富んだ優れた技術力を発揮したものであり、日本発のイノベーションを世界に発信するに相応しい製品・技術であると、審査委員会では評価しております。

受賞製品だけではなく、CEATEC AWARD に応募のあった数多くの製品や技術は、IT・エレクトロニクス技術、そして、これから益々の技術的發展が期待される CPS/IoT 分野の、未来と可能性を予感させる実に多様な内容であり、それぞれが開発に携わった研究者、技術者はじめ関係の皆様方の努力の結晶であると実感いたしました。

■発表・表彰式

【大臣賞発表・表彰式】

10月4日(火) 11:00～ CEATEC JAPAN 2016 オープンステージ

【部門賞発表】

10月5日(水) 10:00

プレスリリース、CEATEC JAPAN 公式 Website、幕張メッセ中央エントランス掲出

【部門賞表彰式】

10月6日(木) 11:30～ CEATEC JAPAN 2016 オープンステージ

■CEATEC AWARD 2016 審査委員会

佐藤 健一氏 (一般社団法人電子情報通信学会 会長)

永妻 忠夫氏 (一般社団法人電子情報通信学会 調査理事)

白木 靖寛氏 (公益社団法人応用物理学会 元会長)

伊丹 誠氏 (一般社団法人映像情報メディア学会 副会長)

中田 登志之氏 (一般社団法人情報処理学会)

新 誠一氏 (一般社団法人電気学会)

室山 哲也氏 (日本放送協会 解説委員)

関口 和氏 (日本経済新聞社 編集委員)

林 哲史氏 (日経 BP 社 日経 BP イノベーション ICT 研究所/日経 BP インフラ総合研究所 日経 BP クリーンテック研究所 主席研究員)

西坂 真人氏 (アイティメディア株式会社 産業テクノロジー事業部 副事業部長 兼 編集統括部 統括部長) (順不同)

米国メディアパネル・イノベーションアワード 2016

CEATEC JAPAN 2016に出展される製品・技術・サービスを、米国の IoT 関係のジャーナリストで構成される選考委員会が会場内ブースを取材して審査し、革新性に優れ今後の米国市場への影響力が高いと思われるものを選定し表彰した。



■受賞者一覧

部門	受賞企業名	受賞製品/技術/サービス
Grand-Prix	富士通株式会社	網膜走査型レーザアイウェア技術
Home Entertainment 分野	株式会社アロマジョイン	アロマシューター
Electronic Components 分野	パナソニック株式会社	フレキシブルリチウムイオン電池
Digital imaging 分野	株式会社 VRC	3D 人体用撮影装置
Software, Computing and Networking 分野	NEC グループ	ウェアラブルカメラによる映像配信を活用した警備支援ソリューション
Mobile Technology 分野	DJI JAPAN 株式会社	ハンディースタビライザー "Osmo mobile"
Transportation 分野	パナソニック株式会社	ノブ型静電タッチパネルモジュール
Health and Household 分野	富士通株式会社	網膜走査型レーザアイウェア技術
Smart Community 分野	フォーアールエナジー株式会社 株式会社エナリス	New Smart Project "FREEDOM" ～ゼロ炭素社会の実現に向けた、蓄電池と VPP による新しいエネルギーコミュニティの提案
Industrial Design 分野	本田技研工業株式会社	バリアブル デザインプラットフォーム (3D プリンター)



■発表・表彰式

10月6日(木) 10:15～

CEATEC JAPAN 2016 オープンステージ

■米国メディアパネル・イノベーションアワード2016 審査員一覧

Hubert Nguyen 氏 (Ubergizmo.com 共同創立者)

Aleksandr Kotlyar 氏 (ARKconcepts オーナー)

Tim Stevens 氏 (CNET 編集統括)

Richard Lai 氏 (Engadget シニアエディター)

Auri Rahimzadeh 氏 (著述家, Auri's Ideas オーナー)

津山 恵子氏 (ニューヨーク在住ジャーナリスト, 元共同通信記者)

Steve Greenberg 氏 (NBC's Today Show リポーター)

特別企画／イベント

○主催者特別企画



IoT タウン

IoT タウンは、新しいCEATEC JAPAN のコンセプトを発信する主催者特別企画として主催3団体が一丸となって展開した。

市場創出を目指すさまざまなユーザ企業がIoT タウンに集まり、新たなビジネスモデルにつながるアイデアやパートナーに出会う可能性を生み出し、各社の叡智を結集し日本発の新たな“街のカタチ”を提案し世界に発信。各展示ブースでの製品・技術展示に加え、IoT タウン内のオープンステージでは、出展各社より、IoT に関わる取り組みや展示内容についてプレゼンテーションが行われた。



出展企業・団体

セコム(株)、楽天(株)／楽天技術研究所、(株)JTB プランニングネットワーク、超人スポーツ協会、(株)meleap、(株)タカラトミー、(株)ロフトワーク、NPO 法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構／NPO 法人日本ウェアラブルデバイスユーザー会、国立情報学研究所／北海道大学／大阪大学／九州大学、(株)豆蔵ホールディングス、(株)豆蔵、(株)オープンストリーム、(株)三菱UFJ フィナンシャル・グループ、(株)三菱東京UFJ 銀行、三菱UFJ 信託銀行(株)、三菱UFJ ニコス(株)、カブドットコム証券(株)、(株)じぶん銀行、ZEROBILLBANKLtd.、(株)xenodatalab、スマートアイデア(株)、(株)ナレッジコミュニケーション、Alpaca、(株)ヤッホー・ブルーイング、(株)文藝春秋



○国内組織連携



IoT 推進コンソーシアム

昨年、官民を挙げてIoT を活用した未来への投資を促す適切な環境を整備すべく、「IoT 推進コンソーシアム」が設立された。

CEATEC JAPAN 2016では、交流イベント、展示、コンファレンスと、様々な企画協力が行われ、IoT・ビッグデータ・AI による新ビジネスの創出に向け、国内外のIoT 関連の最新情報の収集や、ネットワーキングの場が提供された。



●展示

IoT Lab Selection Finalist (参加企業：5社)

IoT Lab Global Exhibition (参加企業：インド・イスラエル・ASEAN より34社)

●BtoB マッチングイベント

- ・10月4日(火)：
IoT Lab Connection
- ・10月5日(水)：
グローバルマッチング(参加企業 海外29社、国内41社)
IoT 推進ラボ「The 2nd Big Data Analysis Contest 表彰式」
- ・10月6日(木)：
厳選ASEAN企業によるピッチセッション
イスラエルのスタートアップエコシステム
厳選イスラエル企業によるピッチセッション
- ・10月7日(金)：
「激変するインドIT 業界とイノベーション」
「インドIoT 市況と投資機会」
「インド選抜IoT スタートアップ10社によるプレゼンテーション」

●関連コンファレンス

- ・10月4日(火)：
IoT 推進コンソーシアム総会／パネルディスカッション
「IoT、次の一手。～世界の潮流と将来展望～」
- ・10月6日(木)、7日(金)：
第6回 日欧国際共同研究シンポジウム

東京オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

オリンピック・パラリンピックなどに関する情報を共有し、大会の成功に向け経済界としての対応を検討するとともに、オリンピック・パラリンピックを契機とした将来にわたるレガシー（遺産）づくりに向けた検討を行っていく一環として、CEATEC JAPAN では、技術立国日本が誇るテクノロジー・サービスの魅力を既存のイベントを通じ発信し、新しい価値観・社会像の実現を目指した。

●ハードレガシーモデルコース@ CEATEC

ハードレガシー5分野24テーマに関連する技術やサービスを展示するブースをストーリー立てしモデルコースと会場 MAP にて紹介。

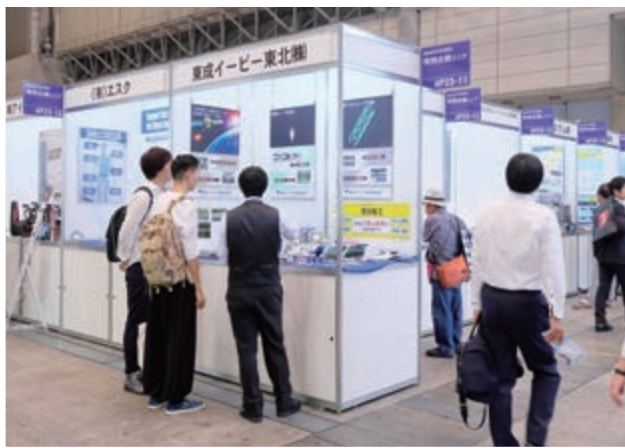
モデルコース参加会社：

トヨタ自動車、NTT グループ、パナソニック、NEC、三菱電機、デンソー、富士通、本田技研工業、シャープ、セコム、リクルート

●東北・熊本復興サポート展示ゾーンを展開

2020年オリンピック・パラリンピックのテーマの1つは「復興」。オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携し、被災を受けた東北及び、熊本から企業を招待し、展示いただいた。

（福島県、宮城県、岩手県、熊本県から17社が出展）



千葉市戦略的特区プロジェクト

千葉市戦略的特区の特徴を生かした実証実験プロジェクトとの連携。オープンステージで熊谷市長が登壇。

●10月7日（金）：

「千葉市のドローン宅配等「近未来技術実証・多文化都市」の構築に向けた取組み」



経済団体・業界団体連携

主催、後援・協力団体との連携により、IoT 関連に関心をもつ委員会等の視察団誘致

●視察ツアー実施団体（一部抜粋）

日本経済団体連合会 未来産業・技術委員会 企画部会／未来産業・技術委員会 産学官連携推進部会、情報通信委員会 企画部会／情報通信委員会 デジタル社会推進部会、起業・中堅企業活性化委員会 企画部会、日本航空宇宙工業会、経済同友会、日本化学工業協会

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

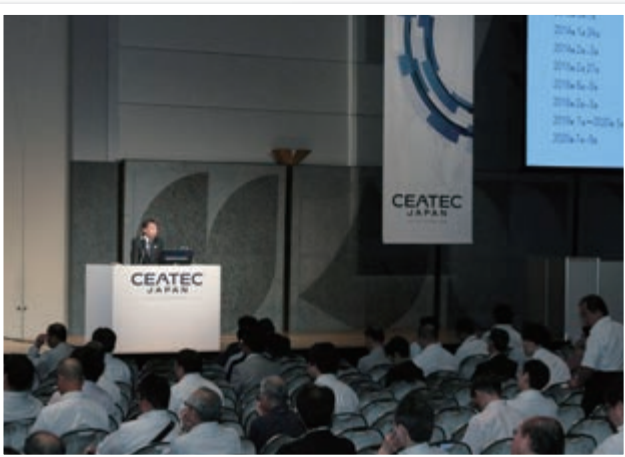
「スポーツ・健康」、「街づくり・持続可能性」、「文化・教育」、「経済・テクノロジー」、「復興・オールジャパン・世界への発信」の5本の柱ごとに、各ステークホルダーが一丸となって、計画当初の段階から包括的にアクションを進める一環として、CEATEC JAPAN と協力。

●10月4日（火）：

ゲストスピーチ

「東京2020年大会を契機としたレガシー創出へ向けての取組～東京2020公認プログラム（経済・テクノロジー）～」

Rio to Tokyo2020 映像体験（オープンステージ）



○事業連携

-AI- 人工知能パビリオン

企画協力：国立研究開発法人 産業技術総合研究所

人工知能（AI）のプラットフォームとして注目を集めるディープラーニング、自然言語処理、画像解析などの最新技術から、農業・健康・医療・マーケティングなどへの適用まで、先鋭的な AI 企業を集めた特別企画展示を展開。（出展企業／団体：20社）

また、10/5(水)と10/6(木)には国際会議場で関連コンファレンス「CEATEC ×産総研人工知能コンファレンス」を開催した。



NRI ハッカソン2016

金融系テクノロジースタートアップにとってひとつのチャンスとなる Fintech（IoT × マネー）「Hack for Share」～新しいシェアの仕組みを考えよう～をテーマとしたハッカソンイベントと連携。10月4日（火）オープンステージでプレゼンテーション形式の STARTUP AWARD を開催した。

主催：野村総合研究所

協賛企業：CEATEC JAPAN 実施協議会、東京海上日動火災保険、日本生命保険、野村ホールディングス、みずほフィナンシャルグループ、三菱商事



Fintech 普及促進イベント：Fintech 体験実証実験

FINOLAB（Financial Technology による Innovation を生み出すためのベンチャーの集まり）との連携により、Fintech 普及促進のため、「Fintech 実証体験イベント」を展開。

- 生体認証：来場者に指紋決済体験。
- ブロックチェーン：仮想通貨と可視光通信技術を組み合わせたポイントラリーを展開

パートナー：カレンシーポート（株）／協力：富士通（株）

- Finolab プロジェクト Fintech 普及促進コーナー（11社）



産官学による地方創生戦略シンポジウム

日本経済新聞社、内閣官房と連携し、「地方における新しいビジネス創出」と「多様性を持った人材確保と活用」を2テーマとし、CEATEC の場でシンポジウムを実施した。

- 10月6日（木）

国際会議場コンベンションホール A

「IoT・AI 活用による地域活性化」



関連産業マッチングイベント

繊維産業から見た「IoT への期待」や「取組みの方向性」などの講演、並びに、簡易展示と交流イベントを開催。

協力：日本化学繊維協会

- 10月5日（水）

オープンステージ

「スマート社会に貢献する先端繊維素材」

スマート社会を縁の下で支える先端の繊維素材を『感じるせんい』『繋ぐせんい』『創るせんい』の3つのテーマに沿って紹介



企画展示

ベンチャー&ユニバーシティエリア

ベンチャーや大学研究機関ならではの革新的なテクノロジーやサービス、スタートアップ事業の最新情報を紹介。CEATEC JAPAN 2016には、前年比2.5倍のベンチャー企業・大学研究機関、139社/団体が集結した。また、エリア内に設置したミニステージでは、連日参加企業による多数のセミナーが開催された。



New Smart Project “FREEDOM”

企画：4R 推進プロジェクト

ゼロ炭素社会の実現に向けて、ゼロ・エミッション車の普及のみならず再生可能エネルギーを最大限活用するために、バーチャルパワープラントや走る蓄電池としてのEV、さまざまな産業との連携による新しいエネルギーとモビリティ社会を提案した。

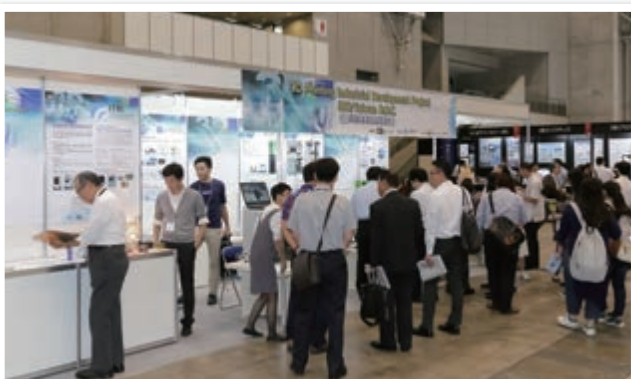
参加企業：フォーアールエナジー、エナリス、京セラ、エコ・パワー、北海道日興通信、明治大学 他



3D PRINTING・VR CONFERENCE & EXPO

企画：ライジングメディア

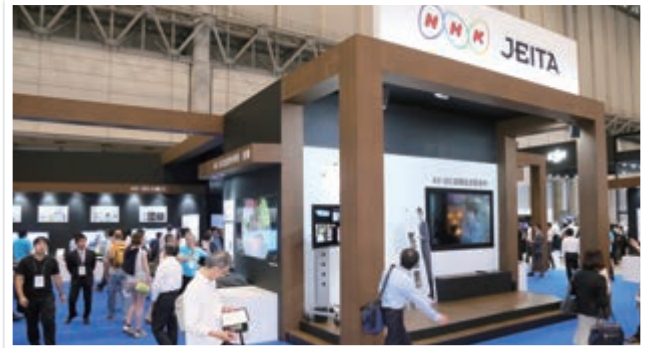
ニューヨーク、インド、上海、シンガポールなど、ロボットや3Dプリンタ、VRのイベントを展開するRising Media社がCEATEC JAPANで3DプリンタやVRに関連する技術、サービスを紹介するエリアを設置した。



NHK/JEITA ブース

企画：NHK、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

8K衛星放送実験デモやハイブリッドキャストの多彩なコンテンツの展示、ケーブルテレビにおける4K実用放送に向けた取り組みの紹介などにより、高度化する放送サービスを多くの来場者に体感いただいた。また、普及が進む4K関連製品やハイレゾオーディオの魅力をわかりやすく紹介した。



HATS PLAZA

企画：一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）

HATS 推進会議による、複数メーカーの最先端通信機器間の相互接続デモンストレーション展示や、相互接続の重要性を楽しく分かり易く伝えるステージプレゼンテーションを実施した。



クラウドコンピューティングプラザ

企画：Cloud Business Alliance（CBA）

IoT、セキュリティ、認証連携、パブリッククラウド、クラウド運用管理、業務支援クラウド、営業支援クラウド、ファシリティ、バックアップなど最新、最先端のソリューション・サービスを紹介した。



半導体／プログラマブルデバイスプラザ

企画：特定非営利活動法人 FPGA コンソーシアム

CPS/IoTを支える共通基盤としてのプログラマブルな電子デバイスを紹介。適材適所（ローコスト、高性能、発熱）に対応するハードウェアプラットフォームにより様々な“ことづくりに”使えるデジタルプラットフォームに対応しフィジカル空間を創造する新たなビジネスへの応用や新規事業を創出する場として展開した。

会場図

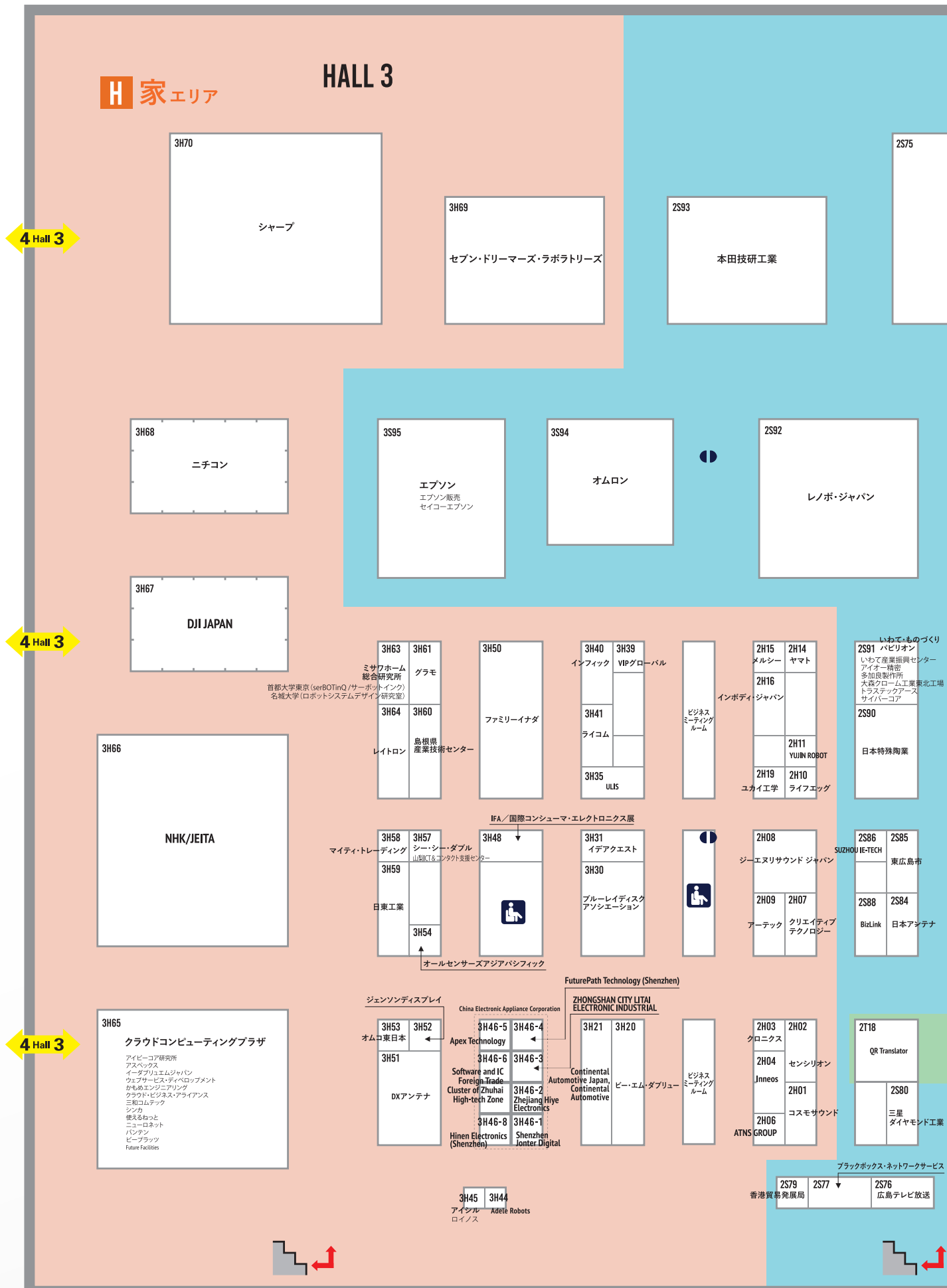
HALL 6

C CPS/IoTを支えるテクノロジー、ソフトウェアエリア

HALL 5



会場図



HALL 2

S 社会エリア

HALL 1

富士通

1S27

三菱電機

1S25

NECグループ

フードコート



1S04

NTTグループ

1S03

トヨタ自動車

1S02

クラリオン

1S01

日立製作所

1S24

パナソニック

1S23

HATS PLAZA

<PBXコーナー>
NEC
OKI
日立情報通信エンジニアリング
富士通
PBXテレコムサーバー相互接続試験実施連絡会

<マルチメディアコーナー>
CIAJ マルチメディア通信委員会
マルチメディア通信相互接続試験実施連絡会

<FAXコーナー>
CIAJ 画像情報ファクシミリ委員会
ファクシミリ相互接続試験実施連絡会

<10G-EPONコーナー>
光アクセス相互接続試験実施連絡会

<TTCコーナー>
情報通信技術委員会

1S08

超人スポーツ協会
(meleap)
体験会場

1S07 マウビック

1S05 電波産業会

2S74

華為技術日本

2S50

デンソー

INNOBIZ ASSOCIATION

1S26-6 SAMDAI ELECTRIC

1S26-5 Cubegensoft

1S26-4 SHGOODS

1S26-3 COOLSSHA

Meeting space

1S26-8 INNOBIZ ASSOCIATION

1S26-2 Gwellkorea

1S26-9 1S26-1 Digiparts IDT WORLD

奥素科学・環境フォーラム(日本)

天津経済技術開発区 日本事務所

ICTリゾート名護(沖縄県名護市)

2S69 レシップ エスエルビー

2S70 2S65

E-LEAD ELECTRONIC

2S72 JEITA/ スマート・ドライブ・テクノロジー

HOBOT TECHNOLOGY

2S73 新日本空調

2S57 2S56

2S54

ニッパツ
(日本発条)

2S48 2S47

長野県

2S45

帝国インキ製造

ビジネス
ミーティング
ルーム

GENERAL JACK INTERNATIONAL (SAMOA)

SOLID METAL PRODUCTS

2S53 2S52

2S51

日本遠隔制御
(JR PROPO)
東京航空計器

2S63 2S62

NINGBO FORWARD RELAY

2S64 2S60

ウォール・ストリート・ジャーナル

ビーエムティー

2S59

SUNGMIN ELECTRONICS

T 街エリア

東京大学
ソーシャルICT研究センター
山口研究室

2T16 日本ゼオン

2T15 ソフネットジャパン

2T09 WOYC Korea

2T08 エイコム

2T07 フレンテック東京

2T01-10 カレンシー
ポート

2T01-11 Liquid Japan

2T01-12 青森県

2T01-13 アイオイ・システム

2T01-14 Money Smart

2T01-15 オステイアリーズ

2T01-16 Money Smart

2T01-17 カウリス

2T01-18 テックビューロ

2T01-19 クラウドキャスト

2T01-20 Nayaib

2T01-21 Finolab プロジェクト

2T01-22 Fintech普及促進コーナー

2T03 リクルートコミュニケーションズ

2T04 高松観光コンベンション・ビューロー

2T02 情報処理学会

2S29 JAINAL SERVICE

2S28 東海通信工業

2S30 エス・イー・ピー



出展者リスト (50音順・1字下げの出展者は共同出展です)

Exhibitor Directory

社会エリア 街エリア 家エリア CPS/IoTを支えるテクノロジー、ソフトウェアエリア 特別企画エリア

あ

- 2H09 (株)アーデック
2542 RCL DISPLAY LTD.
2T17 (株)アイオイ・システム
4P70 IoT推進ラボ IoT Lab Connection
4P72 IoT推進ラボ IoT Lab Selection Finalist
(株)aba
(株)ゼンリン
(株)フェニックスソリューション
(株)Liquid
(株)ルートレック・ネットワークス
4P71 IoT推進ラボ Global Exhibition
IoT推進ラボ
Angkor E&C (Cambodia) Co., Ltd.
Calms Technologies
Datamicon Systems Sdn Bhd
DF Automation & Robotics Sdn Bhd
Electronic Nose Co., Ltd.
Flutura Business Solutions Private Limited
Glueck Technologies
HearTracker
Linkeddots Engineering Solutions Private Limited
LOCANIX
Magna BSP
Malaysia Digital Economy Corporation (MDEC)
MDT Innovations
Perytons
Pipeline Network
Powertags
Preva Systems Pvt Ltd
Reneon Technologies
SCADAfence
SenseGiz
Sol Chip Ltd.
SOPHIC MSC SDN BHD
Srishti ESDM Pvt Ltd
Stesalit Systems Ltd
TartanSense
Techcare Innovation
Teevr Data Pvt Ltd
3DSignals
Vayyar Imaging
Veriva Systems
Voicelt
VP9 Vietnam Joint Stock Company
Yuktix Technologies
4P54 IoT タウン
セコム(株)
楽天(株)/楽天技術研究所
(株)JTBプランニングネットワーク
超人スポーツ協会
(株)meleap
(株)タカラトミー
(株)ロフトワーク
NPO法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構
/NPO法人日本ウェアラブルデバイスユーザー会
国立情報学研究所/北海道大学/大阪大学/九州大学
(株)豆蔵ホールディングス
(株)豆蔵
(株)オーブストリーム
(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
(株)三菱東京UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行(株)
三菱UFJニコス(株)
カブットコム証券(株)
(株)じぶん銀行
ZEROBILLBANK Ltd.
(株)xenodata lab
スマートアイデア(株)
(株)ナレッジコミュニケーション
Alpaca
(株)ヤッホー・ブルーイング
(株)文藝春秋
2548 ICTリポート名護(沖縄県名護市)
3H45 (株)アイシル
(株)ロイノス
(一社)IT検証産業協会
2531 青森県
5C40 旭化成(株)繊維事業本部
4C19 アサヒ・テクノソリューションズ(株)
5C24 (合)アドバンストシステム
3H44 Adele Robots
2H06 ATNS GROUP, Inc.
2544 (株)アールザ オートメーション新聞社
6C127 AMARYLLO INTERNATIONAL B.V.
6C157 アルプス電気(株)
4C20 (株)アントアント
6C125 Amphenol FCI
Amphenol TCS
アンリツ(株)
5C85 (株)イデアクエスト
3H31 Inneos
2H04 IFA/国際コンシューマー・エレクトロニクス展
3H48 いわて・ものづくりペリオン
2591 公益財団法人いわて産業振興センター
(株)アイオー精密
大森クローム工業(株)東北工場
(株)サイバーコア
(株)多加良製作所
トラステックアース(株)
INNOBIZ ASSOCIATION
COOLSSHA Co., Ltd.
Cubegensoft. co. kr.
Gwellkorea Co., Ltd.
IDT WORLD CO., LTD.

- 1S26-4 3HGOODS Co., Ltd.
1S26-6 SAMDAI ELECTRIC CO., Ltd.
1S26-9 Digiparts, Inc.
3H40 インフィックス(株)
5C82 (株)インプレス
5C81 (株)インボディジャパン
4C05 (株)リアル研究所
2560 ウォール・ストリート・ジャーナル
2562 一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構
3H35 ULIS
2T08 エイコム(株)
5P65 -AI-人工知能パビリオン
5P65-11 アイフォーコム東京(株)
5P65-12 エヌエスティ・グローバル(株)
5P65-6 (株)NTTデータ数理システム
5P65-10 エルビクセル(株)
5P65-8 国立研究開発法人産業技術総合研究所
5P65-9 国立研究開発法人産業技術総合研究所
人工知能技術コンソーシアム
(株)シグマクシス
シナジーマーケティング(株)
(株)東急エージェンシー
(株)博報堂DYホールディングス
(合)リアル・アライズ
(株)ロジックデザイン
5P65-3 データセクション(株)
5P65-7 (株)Nextremer
5P65-4 (株)ファームノート
5P65-5 (株)FINC
5P65-2 (株)Preferred Networks
5P65-1 (株)リクルートホールディングス
データロボット
5C54 エー・イー・エムコンポーネント
5C47 AMT Solution Co., Ltd.
6C146 (株)エスキュービズム・テクノロジー
5C38 SBクリエイティブ(株)
1S25 NEC グループ
6C142 NECトキ(株)
2530 エヌイービー(株)
4C18 (一財)NHKエンジニアリングシステム
3H66 NHK/JEITA
5C88 (株)JNSC
1S04 NTTグループ
5C68 (株)FAプロダクツ
3S95 エプソン
エプソン販売(株)
セイコーエプソン(株)
5C102 ELIVISION
5C84 オウエル(株)
ユニ電子(株)
5P66-1 OpenFogコンソーシアム
3H54 オールセンサーズアジアパシフィック(株)
5C55 OKIエンジニアリング
3H53 (株)オムロン日本
3S94 オムロン(株)

か

- 5C39 Gichoビジネスコミュニケーションズ(株)
2T18 QR Translator
3H65 クラウドコンピューティングプラザ
(株)アイビーコア研究所
(株)アスベックス
(株)イーダブリュエムジャパン
(株)ウェブサービス・ディベロップメント
かもめエンジニアリング(株)
クラウド・ビジネス・アライアンス
三和コムテック(株)
(株)シンカ
使えるねっと(株)
ニューロネット(株)
(株)バンデン
ビーブラッツ(株)
Future Facilities(株)
(株)グラモ
3H61 クラリオン(株)
1S02 (株)クリエイティブテクノロジー
2H07 (株)栗本鐵工所
4C15 (株)グローウィル
5C32 クロコクス(株)
2H03 (株)KELK
4C09 KOA(株)
5C48 コーデンシ(株)
6C131 (株)コスモサウンド
2H01 Continental Automotive Japan K.K.
3H21 Continental Automotive Corporation

さ

- 6C119 サイバネットシステム(株)
4C08 サムテック(有)
2559 SUNGMUN ELECTRONICS CO., LTD.
5C52 (株)サンテクノロジー
2H08 ジューズサウンド ジャパン(株)
3H57 (株)シー・シーダブル
特定非常利活動法人山梨ICT&コンタクト支援センター
4P02 CCPITEC
4P02-1 GUANGZHOU JINKAI ELECTRONICS CO., LTD.
4P02-2 HubeiTKD Crystal Electronic Science and Technology Co., Ltd.
4P02-3 Liangang Optoelectronic Technology Co., LTD.
4P02-5 Shenzhen Canker Enterprise Ltd.
4P02-4 Shenzhen Skywoo Technology Co., LTD.
5C61 シーティ・エスピー(株)
アノト(株)

- 4C13 前田建設工業(株)
2565 ジーワン(株)
5C23 JEITA/スマートドライブ・テクノロジー
3H52 JBアドバンストテクノロジー(株)
5C25 ジェンソンディスプレイ
公益財団法人静岡県産業振興財団
(株)ANSeeN
SAW&SPR-TECH(有)
(株)メディカルプロジェクト
(株)あんどうばす
アート電子(株)
バイフォニクス(株)
(株)カタナコーポレーション
ナルテック(株)
(株)アスタウン
昌栄電機(株)
(株)アモ・ガイメーキング
島根県産業技術センター
シャープ(株)
2529 JAINAL SERVICE LIMITED,
5C26 (株)写真化学
2539 ジャスミー(株)
(株)TBグループ
(株)BJT
2556 奥瀬科学・環境フォーラム(日本)
2586 SUZHOU IE-TECH CO., LTD.
2T02 (一社)情報処理学会
4P21 独立行政法人情報処理推進機構
4C03 (株)シルバースタージャパン
4P22 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
4C53 新光商事(株)
2573 新日本空調(株)
6C152 スタンレー電気(株)
5C97 StradVision, Inc.
4P01 3DPRINTING@HOME/ROBOT@HOME/VR@HOME
4P01-18 3D Printing Industry Promotion Project/IDB TAIWAN
ATOM 3D Printer
STARMEN Opto-Electronics Co., Ltd.
Kudo3D Inc.
Formlabs Inc.
4P01-15 Phrozen Co., Ltd.
4P01-13 Shenzhen Esun Industrial Co., Ltd.
4P01-11 Union Technology International (Macao Commercial Offshore) Co., Ltd.
Z-Wave Alliance
3H69 セブンドリーマーズ・ラボラトリーズ(株)
6C143 全国電子部品流通連合会
2H02 センシオン(株)
6C130 (株)ソシオネクスト
4C17 (有)ソネット技研
4C21 (株)ソフトエージェンシー
5C41 ソフトピアジャパン(ソフトピアジャパン企業誘致 エリア活性化推進協議会)
2T15 ソフネットジャパン(株)
2552 SOLID METAL PRODUCTS CO., LTD.

た

- 6C153 タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社
6C128 胎内市
6C179 台北国際エレクトロニクス見本市
6C141 太陽工業(株)
6C154 太陽誘電(株)
6C178 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
2570 E-LEAD ELECTRONIC CO., LTD.
2553 GENERAL JACK INTERNATIONAL (SAMOA) CO., LTD. TAIWAN BRANCH (SAMOA)
2572 HOBOT TECHNOLOGY INC.
6C176 LENOVO ELECTRONICS CO., LTD.
6C180 WELL BUYING INDUSTRIAL CO., LTD.
6C174 PRINTEC H. T. ELECTRONICS CORP.
6C186 GI FAR TECHNOLOGY CO., LTD.
6C189 SHANPU CO., LTD.
6C169 WINSTAR DISPLAY CO., LTD.
6C185 MAX ECHO TECHNOLOGY CORPORATION
6C170 AJATO CO., LTD.
6C184 WAL TER ELECTRONIC CO., LTD.
6C167 JOULES MILES CO., LTD.
6C182 JOINT TECH ELECTRONIC INDUSTRIAL CO., LTD.
6C187 AKER TECHNOLOGY CO., LTD.
6C188 AVERTRONICS INC.
6C166 U.K. TECHNOLOGY CORP.
6C173 T-GLOBAL TECHNOLOGY CO., LTD.
6C171 VIKING TECH CORPORATION
6C183 SUNLIKE DISPLAY TECHNOLOGY CORPORATION
6C172 SONG CHUAN PRECISION CO., LTD.
6C168 TAIWAN SINTERED METALS CO., LTD.
6C168 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
5C64 多治見無線電機(株)
5C76 田淵電機(株)
2T09 WOYC Korea
5C83 (株)タムラ製作所
5C50 千葉県
千葉市
千葉商工会議所
5C44 (株)アサヒ理化製作所
アローズエンジニアリング(株)
エムアンドケー(株)
三秀工業(株)
システムエンジニアサービス(株)
テクノサイエンス(株)
(株)芙蓉電子
(株)モノベンエンジニアリング
CHINA ELECTRONIC APPLIANCE CORP.
3H46-5 Apex Technology Co., Ltd.
3H46-4 FuturePath Technology (Shenzhen) Co., Ltd.
3H46-8 Hinen Electronics (Shenzhen) Co., Ltd.
3H46-6 Software and IC Foreign Trade Cluster of Zhuhai High-tech Zone

3H46-1	Shenzhen Jonter Digital Co., Ltd.
3H46-3	ZHONGSHAN CITY LITAI ELECTRONIC INDUSTRIAL CO., LTD.
3H46-2	Zhejiang Hiye Electronics Co., Ltd.
5C22-2	China Electronics Fair/China Information Technology Expo
5C22-5	Tone Parts Electronics Co., Ltd.
5C22-7	Yuehua Holding Group Co., Ltd.
5C22-6	Shenzhen Healthcare Electronic Technology Co., Ltd.
5C22-8	Shenzhen Jinghua Displays Co., Ltd.
5C22-1	Shenzhen Xinfuer Electron Co., Ltd.
1508	超人スポーツ協会(株)(meleap)
3H67	DJI JAPAN(株)
5C113	TDK(株)
5C70	ディ・エス・シー(株)
3H51	DXアンテナ(株)
2545	帝国インキ製造(株)
5C60	テクトロニクス
5C72	テクノプレーン(株)
4C10	(株)テスコム
2557	天津経済技術開発区 日本事務所
2550	(株)デンソー
1505	(一社)電波産業会
5C78	(株)電波新聞社
5C105	東海光学(株)
2528	東海通信工業(株)
5C65	(株)東京ワエス
2533	東京大学 ソーシャルICT研究センター 山口研究室
5C62	東邦化成(株)
4P23	東北・熊本復興サポート展示ゾーン
4P23-9	(株)アイザック
4P23-2	(株)アットシステム
4P23-12	天草池田電機(株)
4P23-3	アンデックス(株)
4P23-17	(株)いおう化学研究所
4P23-10	(有)エスク
4P23-13	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
	(株)エコファクトリー
4P23-14	シナジーシステム(株)
4P23-11	東成イービー東北(株)
4P23-4	東北電子産業(株)
4P23-5	(株)東北マグネットインスティテュート
4P23-15	人吉アサノ電機(株)
4P23-6	(株)ミヤギタノイ
4P23-7	ヤグチ電子工業(株)
4P23-8	ヤマセ電気(株)
4P23-16	(株)ワイズ・リーディング
2538	東洋電機(株)
5C69	(株)巴川製紙所
1503	トヨタ自動車(株)

な

2547	長野県
3H68	ニチコン(株)
5C93	NISSHO DEVELOPMENT LIMITED
3H59	日東工業(株)
2554	ニッパツ(日本発条(株))
2584	日本アンテナ(株)
5C73	日本ケミコン(株)
5C111	日本電気硝子(株)
2590	日本特殊陶業(株)
2551	日本遠隔制御(株)(JR PROPO)
	東京航空計器(株)
5C112	日本ガイシ(株)
6C151	日本航空電子工業(株)
2T16	日本ゼオン(株)
6C144	日本ナショナルインスツルメンツ(株)
4P24	New Smart Project "FREEDOM"
6C149	NINGBO KEPO ELECTRONICS CO., LTD.
2563	NINGBO FORWARD RELAY CORP. LTD.
4C07	ネットエージェンツ(株)
5C80	ノウルズ・エレクトロニクス・ジャパン(株)

は

4C11	バイクリスタル(株)
1523	HATS PLAZA
	・PBXコーナー
	NEC
	OKI
	(株)日立情報通信エンジニアリング
	富士通(株)
	PBXテレコムサーバー相互接続試験実施連絡会
	・マルチメディアコーナー
	(CIA) マルチメディア通信委員会
	マルチメディア通信相互接続試験実施連絡会
	・FAXコーナー
	(CIA) 画像情報ファクシミリ委員会
	ファクシミリ相互接続試験実施連絡会
	・10G-EPONコーナー
	光アクセス相互接続試験実施連絡会
	・TTCコーナー
	一般社団法人情報通信技術委員会
1524	パナソニック(株)
5C66	浜井電球工業(株)
5C58	浜松ホトニクス(株)
6C111	半導体/プログラマブルデバイスプラザ
	アートワーク(株)
	オーバートーン(株)
	キーサイト・テクノロジー合同会社
	国立大学法人熊本大学 (末吉研究室)
	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	ペリフィケーションテクノロジ(株)
	RITA エレクトロニクス(株)
3H20	ピー・エム・ダブリュ(株)

2564	(株)ビーエムティー
5C46	(株)BCN
2585	東広島市
2588	BizLink Technology Inc.
1501	(株)日立製作所
3H39	(株)VIPグローバル
5C56	(株)ヒューテック
5C27	(株)ヒューマンサイエンス
2532	弘前圏域定住自立圏
2576	広島テレビ放送(株)
2574	華為技術日本(株)
3H50	ファミリーナダ(株)
4C02	(株)IVRC
5C28	一般財団法人VCCI協会
4C12	4Dセンサー(株)
6C140	(株)フォーラムエイト
2T01	Finolab プロジェクト Fintech普及促進コーナー
2T01-05	(株)オースティアリーズ
2T01-07	(株)カウリス
2T01-10	カレンシーポート(株)
2T01-09	クラウドキャスト(株)
2T01-03	財産ネット(株)
2T01-04	スマイラブル(株)
2T01-08	ソーシャルインパクトリサーチ
2T01-01	テックビューロ
2T01-02	(株)Nayuta
2T01-06	MoneySmart(株)
2T01-11	Liquid Japan
5C67	(株)ビシクラ
2575	富士通(株)
5C45	双葉電子工業(株)
2577	ブラックボックス・ネットワークサービス(株)
5C49	ブラネックスコミュニケーションズ(株)
5C75	Bluetooth SIG, Inc.

	ART PLUS PLUS PTE LTD.
	STマイクロエレクトロニクス(株)
	ガイロジック(株)
	キックサウンド(株)
	Qualcomm
	(株)東芝
	Nordic Semiconductor ASA
	(株)WHERE
	(株)フォーカスシステムズ
3H30	ブルーレイディスク アソシエーション
2T07	フレンチテック東京
4C16	(株)FLOSFIA
4P53	ベンチャー&ユニバーシティエリア
4P53-43	アイティオール(株)
4P53-03	(株)アライドコントロール
4P53-09	(株)アロマジョイン
4P53-11	(株)イーアールアイ
4P53-74	NRハッカン@CEATEC STARTUP AWARD
4P53-82	(株)システム計画研究所
4P53-77	シビラ(株)
4P53-79	(株)ナウキャスト
4P53-78	(株)ブレイド
4P53-80	(株)BearTail
4P53-76	ロボット投信(株)
4P53-81	(株)WACUL
4P53-06	(有)海馬
4P53-01	神奈川工科大学 情報工学科
4P53-21	ガラボン(株)
4P53-02	関西大学 環境都市工学部 ネットワーク工学研究室
4P53-36	(株)グランプス
4P53-19	慶應義塾大学 桂研究室
4P53-42	慶應義塾大学 ハブティクス研究センター
4P53-15	(株)コロイダルインクス
4P53-22	(株)サイバーテック
4P53-34	(株)SELTECH
4P53-23	匠ソリューションズ(株)
4P53-07	つくばテクノロジ(株)
4P53-35	デジタルカプセル(株)
4P53-33	東京システムハヴス(株)
4P53-13	(株)とめ研究所
4P53-08	(株)トリマティス
4P53-04	(株)ノア
4P53-18	(株)バリティイノベーションズ
4P53-44	(株)ピンス・アソシエイツ

4P53-37	(株)フォルテ
	(株)MOVIMAS
4P53-90	マッシュアップ アワード IoT部門
4P53-05	(株)マミーゴー
4P53-24	名城大学
	Morning Pitchプロジェクト
	イヌバシー
4P53-54	ワークインサイト
4P53-64	H2L
4P53-72	otta
4P53-53	カボー
4P53-71	クラシック
4P53-68	グリーンコンチネンタル
4P53-62	コーデ セブン
4P53-52	GOCCO
4P53-57	スカイディスク
4P53-67	スペースビジョン
4P53-66	トリコス
4P53-55	トリプル・ダブリュ・ジャパン
4P53-59	NetLED
4P53-60	ノバルス
4P53-56	blincam
4P53-58	BONX
4P53-63	マッシュルーム
4P53-51	MAMORIO
4P53-65	ライナフ
4P53-69	レイフロンティア

4P53-20	(株)モリサワ
4P53-91	(株)リクルートホールディングス
4P53-12	リンカース(株)
4P53-10	(株)ルートレック・ネットワークス
4P53-25	認定NPO法人ロボティック普及促進センター

※10/4-5のみ

4P53-40A	公立大学法人会津大学
4P53-30A	(株)アップアローズ
4P53-14A	(有)インフォソケット
4P53-29A	(株)神戸デジタル・ラボ
4P53-17A	(株)治郎吉商店
4P53-41A	Temari
4P53-38A	東武ビジネスソリューション(株)
4P53-39A	(株)バーナードソフト
4P53-26A	ボクシース(株)

※10/6-7のみ

4P53-28B	(株)アロマビット
4P53-39B	Ambi Labs Limited
	Ambi Climate
4P53-16B	学校法人岩崎学園 情報科学専門学校
4P53-17B	学校法人岩崎学園 横浜医療情報専門学校
4P53-41B	国立大学法人金沢大学
4P53-27B	国立大学法人九州工業大学 佐藤研究室
	ひびきの電子(株)
4P53-38B	京都大学、鳥取大学、北海道大学 電力需要制御プロジェクト
4P53-40B	神戸大学 木村研究室
4P53-32B	(株)サードウェア
4P53-14B	Sansan(株)
4P53-29B	(株)テクニスコ
4P53-26B	東京大学 大学院 情報学環
4P53-30B	(株)Power Management
4P53-31B	フォーディー・パラメント(株)
6C135	北陸地域企業誘致連絡会
5C98	北陸電気工業(株)
2579	香港貿易発展局
2593	本田技研工業(株)

ま

4C04	MicroVision, Inc.
3H58	(株)マイティレレーティング
1507	(株)マウビック
5C90	Maxgen Technology Co., Ltd.
5C103	(株)マジェンシー
4C14	マゼランシステムズジャパン(株)
6C148	(株)マックエイト
6C145	三重電子(株)
3H63	(株)ミサワホーム総合研究所
	首都大学東京 (serBOTinQ / サーボトインク)
	名城大学 (ロボティクスシステムデザイン研究室)
1527	三菱電機(株)
2580	三星ダイヤモンド工業(株)
6C155	ミツミ電機(株)
5C59	(株)ミライセンス
5C77	(株)村田製作所
2H15	(株)メルシー
5C87	(株)モトヤ

や

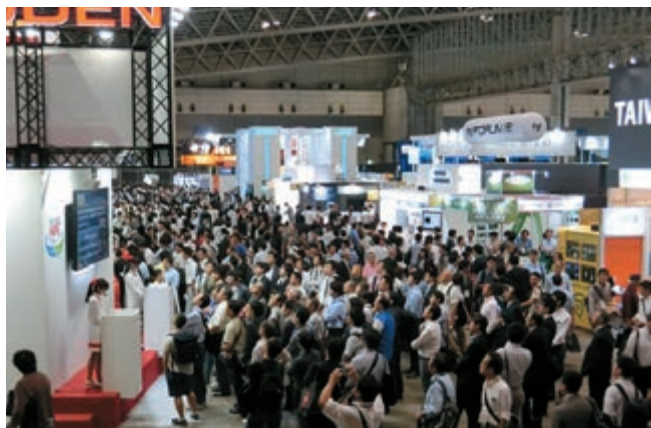
2H14	(株)ヤマト
6C120	ヤマト電子(株)
6C150	ユウアイ電子工業(株)
	住鋳テック(株)
5P66	USA Showcase
5P66-2	アメリカ合衆国大使館商務部
5P66-4	アメリカ州政府協会
5P66-6	EY アドバタイザリー(株)
5P66-7	コムスコープ・ジャパン(株)
5P66-5	CES® 2017
5P66-3	ダークトレース・ジャパン(株)
5P66-9	テスラモーターズ
5P66-8	Vuzix Corporation
2H11	YUJIN ROBOT
2T12	Utop Electronic (Guangzhou) Co., Ltd.
2H19	ユカイ工学(株)

ら

3H41	(株)ライコム
5C106	(株)ライスター・テクノロジー
2H10	(株)ライフエッジ
2T03	(株)リクルートコミュニケーションズ
4C01	ルビコン(株)
3H64	(株)レイトロン
2569	レシップ エスエルビー(株)
2592	レノボ・ジャパン(株)
6C156	ローム(株)
	カイオニクス
	ラピスセミコンダクタ(株)
5C33	(株)ロゼッタ

出展傾向

CEATEC JAPAN 2016は10月4日より10月7日の期間で幕張メッセにて開催された。CPS/IoTの総合展へと大きく舵を切った CEATEC JAPAN 2016は出展者数648社／団体（前年比22.0%増）、登録来場者数145,180人（前年比9.1%増）と出展者数・登録来場者数ともに大幅増となり盛況のうちに閉幕した。出展者や来場者はもちろん、展示の仕方や発表内容なども含めて会場は様変わりした。2020年の未来に向けた希望あふれる意欲的な展示や内容の充実したコンファレンスが勢揃い、CEATEC JAPAN の未来を見据えたコンセプトや新しいビジネストレンドを世界へ向けて発信する場として好調なスタートを切った。



CEATEC JAPAN 2016では、「家」「街」「社会」エリアといったように、CPS / IoT の活用シーンごとにエリア構成された。今回、目立っていたのは AI（人工知能）やロボット、IoT に関連する技術や製品の他にインフラ、サプライチェーン、街そのもの・住まい、医療から農業まで、IoT が関連する多種多様な近未来の提案がなされた。

●最先端の AI と IoT をまとめた、「つながる」家電。

社会、家、街エリアの展示で注目を集めていたのが、IoT と AI（人工知能）を組み合わせた「つながる」家電の提案だ。

パナソニック株式会社は、「IoT が変える暮らしやビジネス」をテーマに数々の提案を行っていた。透明ディスプレイにクラウド連携した未来の住空間や店舗空間の提案では、住空間の様々な場所に画面の裏が透けて見える自発光式の透明ディスプレイが採用されていた。戸棚のガラス板がリビングのモニターに変わるなど、透明なだけでなく薄い点でも多くの来場者に驚きを与えていた。「SAKE & WINE セラー」の全面ガラスに透明ディスプレイの組み合わせた展示は、各棚の温度をディスプレイに表示できるほか、保管しているお酒の種類に応じた料理のレシピをクラウドから呼び出して表示できるなど、使いやすく実用性の高い提案となっていた。

シャープ株式会社は、ユーザのライフスタイルを AloT クラウド技術により機器が学習し、家電を道具から暮らしのパートナーへと変え



ていく「COCORO+（ココロプラス）商品群」を紹介。テレビ、冷蔵庫、エアコン、オープンレンジなどを連携させる、「AloT スマートホーム」を提案していた。

●AI の使い方が光る、コミュニケーションロボット。

AI を組み込んだコミュニケーションロボットの提案も数多く見られた。シャープ株式会社の使う人の気持ちに寄り添う家電の新しいカタチとして開発された「ホームアシスタント」は、家の真ん中で家電製品などをサービスにつなぐ機能を担う。ユーザーとの対話を通してニーズを判断し、対象となる家電などを操作する。また、昨年話題をさらった「ロボホン」に、法人用途を想定した「お仕事バック」が登場。3G/LTE の通信回線でどこでもネットワークに繋がることから、店舗の受付や接客、見守りへの応用を提案していた。株式会社日立製作所は、ヒューマノイドロボット、「EMIEW3」を発表した。高さ90cm、重量15kg で自律走行ができ、万一転倒しても自動で起き上がれる。「EMIEW3」は、複数のカメラ、センサを搭載し、監視カメラなどと連携しながら人の表情や動きをカメラで検知し、自ら近寄って対話する。公共スペースや商業施設などで、サポートを必要としているお客さまの様子を読み取り、自ら移動し、接客・案内などのサービスを行うという。

トヨタ自動車株式会社は、「KIROBO mini」を出展。2013年から国際宇宙ステーションに滞在した「KIROBO」をモチーフとした対話型ロボットだ。富士通株式会社も、メディエタロボットの「RoboPin」を出展。メディエタとは仲裁人の意味で、人と人、人とシステムの間に入り、より良い関係性を構築する存在だという。「IoT タウン」でも、株式会社三菱東京UFJ銀行が人型ロボット「NAO」を展示。複数の言語を聞き分け、ATM のご案内などができる。将来は AI と連携してより高度な対応ができるよう発展していく予定だという。



●8K・HDR 対応や超薄型、透明など、最先端のモニターディスプレイ。

シャープ株式会社は、27インチの8K（7680×4320）HDR モニター、85型の8K・HDR モデルなどの IGZO ラインアップを展示。フリーフォームディスプレイでは、「コーナー R IGZO ディスプレー」を搭載したスマートフォンコンセプトモデルなどを展示していた。NHK JEITA は、NHK と韓国 LG Display 社、アストロデザイン社の3社で共同開発した「近未来シート型ディスプレイ」を展示。シート状の65型4K有機ELパネルを4枚組み合わせた130型8K相当のディスプレイで、約3mm という驚異的な薄さが来場者を驚かせていた。パナソニック株式会社の「透明スクリーン」は、新たに開発された調光フィルムをガラスで挟み込み、通常は約70%の高い透過率、荷電することで画像・動画を投影できる。ショーウィンドーやアミューズメン

ト施設での使用が検討されている。ディスプレイの概念を変えるユニークな提案もあった。レノボ・ジャパン株式会社は、モニターが折れ曲がりプレスレットのように腕に巻きつけて使えるスマートフォン、「CPlus」を出展。パナソニック株式会社の「ノブー体型静電タッチパネルモジュール」は、液晶画面上にロータリー式の物理ボタンを配置する独創的なアイデアで、米国のIoT関係ジャーナリストで構成される選考委員会が審査する米国メディアパネル・イノベーションアワード「Transportation」部門賞を受賞した。

●4K/8K 放送実用化へ向けた2つの技術が、CEATEC AWARD 2016を受賞。

シャープ株式会社ブースでは、スーパーハイビジョン放送専用の高度広帯域衛星デジタル放送受信機が展示され、8Kの特長である22.2ch 音声出力にも対応した世界初の受信機として、優れた技術・製品・サービスを表彰する『CEATEC AWARD 2016』において「経済産業大臣賞」を受賞した。



株式会社ソシオネクストが出展した「8K HEVC リアルタイムビデオエンコーダ ソリューション / 高度 BS 放送対応受信用 LSI 「SC1501A」 / 8K HEVC 映像デコード処理 LSI 「SCH801A」も、『CEATEC AWARD 2016』「テクノロジー・ソフトウェアイノベーション部門」のグランプリを獲得した。

●よりソフトに進化した見守り技術の数々。

昨年はセンシング技術を駆使した提案が多かった見守り技術だが、今年もユニークなアプローチの提案が数多く見られた。

パナソニック株式会社の「Listnr」は、室内にいる幼児の声から4つの感情を識別し、家族のスマートフォンに届けるシステム。

CEATEC JAPAN 会場ですっかりおなじみとなったユカイ工学株式会社の「BOCCO」は、家にいる家族と外出先のスマートフォンとの間で音声やテキストメッセージのやりとりができるほか、玄関ドアの開閉をセンサーが感知し通知するなど、コミュニケーションに加え、見守りロボットとしても機能。SIM モデルが登場し、直接インターネ



ット接続できるようになった。また、株式会社タムラ製作所が、対象者にストレスを感じさせず病院や介護施設で見守りを実現する「見守りシステム」を提案していた。

●多彩だったパーソナルモビリティの提案。

パーソナルモビリティでも、さまざまな提案が行われていた。

ホンダ技研工業株式会社は、業務用テレマティックサービス「Honda Biz LINC」と連携して配送業務の効率化を図る4輪小型モビリティ、「MC-β」。それをベースに、ハトサブレで有名な株式会社豊島屋向けボディを架装した「マイクロコンピューター豊島屋モデル」を出展していた。デザインを株式会社カブクが担当し、外装や特長あるエンブレムを3Dプリンターで製作。“特注デザイン”が可能になる、優れたカスタマイズ性を示していた。



屋内向けでは、株式会社日立製作所が、「EMIEW3」とのペア運用を想定し、最高速度を6km/hに抑えた次世代パーソナルモビリティ「ROPITS」を提案。レーザーセンサーで障害などを検知し地図データから自車の位置を推定する自律性の高いシステムで、つくば市で実証実験を行っている。

●渋滞監視・渋滞緩和・トラフィック監視にさまざまな提案。

モビリティと並んで重要となるのが都市の渋滞対策だ。富士通株式会社は「AIを活用した渋滞予測」を提案。SPATIOWL（位置情報サービス）とAIスマート都市監視により、広範囲で発生した事象を総合的に分析、渋滞を予測する。株式会社村田製作所は「トラフィックカウンタシステム」を出展。主に新興国がターゲットで、センサーと通信モジュールから交通情報を取得し、クラウドやスマートフォンにデータ転送を行う。



モビリティマネジメントでは、富士通株式会社が、渋滞や混雑の原因を時間、地理的条件など様々な切り口から多角的な分析、遅延や混雑の原因を探り運行改善を支援する「位置情報の活用によるモビリティマネジメント」を提案していた。

ミツミ電機株式会社は、ダイヤフラムのわずかな歪みをピエゾ素子で検出することにより、圧力の絶対値を計測する高度気圧センサを参考出展した。出品された MMR931AA は 温度依存性・圧力依存性が低く、圧力絶対精度±30Pa は世界最高クラスである。

一方、MMR931BA は、高い圧力分解能0.95PaRMS を実現、高度に換算すると8.07cm の高さの差を見分ける性能を誇る。

用途としては、GPS 電波が届かない屋内の歩行者ナビゲーションで、自分がどの階層にいるかを知らせるフロアナビや、ゲリラ豪雨などの予報精度を高めるための小型の気象観測モジュール、あるいはドローンの自律飛行支援などが想定されている。

●精度・スピードとも高まった、本人認証技術の数々。

生体認証技術では、株式会社日立製作所が、生体情報中でも手軽さ・高い信頼性をもつとされる指静脈を利用したドアの開閉、記録管理を行う「指静脈入退室管理システム」を出展。NEC の「ウォークスルー顔認証システム」は、文字通り、カメラの前で立ち止まる必要がない、超高速顔認証システムだ。顔認証エンジン「NeoFace」を活用し、ゲートに設置したカメラの顔画像と事前登録画像と照合し本人確認を行う。リオ五輪・パラリンピックでもメディア関係者の入場管理に利用されるなど、今後の展開が期待される。同じく NEC は、「耳音響認証」を紹介。ひとり一人で耳穴の形状が異なるという特性を利用したもので、イヤホンに内蔵されたスピーカーが認証用音声を鳴らし反響音を計測、わずか約1秒で個人認証ができる。



●オリンピックを控え、関心が高まる防犯技術。

NEC は、東京マラソンのランニングボリスにも使用された「ウェアラブルカメラによる映像配信を活用した警備支援ソリューション」を紹介。ウェアラブルカメラを装着した警察官がランナーと一緒にコースを走り、映像鮮明化技術を介して画像をリアルタイムで伝送するもので、カメラ自体も極めて高感度で、夜間の警備にも使用できるレベルに達しており、米国メディアパネル・イノベーションアワード「Software, Computing and Networking」部門賞を獲得した。同じく NEC の「犯罪予防・迅速な捜査を実現する映像分析」は、複数の防犯カメラに映った映像から不審人物を抽出できる技術だ。従来の映



像分析は、あらかじめ要注意人物の顔を登録しておく必要があったが、この技術は、複数事件現場に現れた人物を抽出するなどのパターン抽出ができる。

NEC の「AI を活用し 未知のサイバー攻撃を対策する、自己学習型システム異常検知技術」は AI が平常時の PC やサーバーなどシステムの動きを学習、これと常に比較することで未知の攻撃であっても異常を検知し対処するもので、CEATEC AWARD 2016「街と社会でつながるイノベーション部門」グランプリに選ばれた。

富士通株式会社の「AI 技術を活用したスマート都市監視」は、画像解析に AI を応用、1つの画像から人の流れ、車の流れ、セキュリティ監視など複数用途での利用を可能とする技術。都市全体の動きをリアルタイムで把握することを目指している。

● HEMS、BEMS、スマートグリッド、水素など、エネルギー効率化の新提案。

トヨタ自動車株式会社は、世界初の市販型 FCV「MIRAI」のカットモデルを展示し注目を集めていた。また、「燃料電池フォークリフト」も展示。トヨタ自動車株式会社と神奈川県などが行う低炭素・水素社会構築に向けたプロジェクト用モデルで、横浜市の風力発電所の電力で水素を製造、ハイブリッドトラックの水素充電車で工場まで運び、燃料電池フォークリフトで利用する。

水素社会実現に向けた技術では、ニチコン株式会社が、EV・PHV 用急速充電器や、EV などに蓄えた電気を家庭で活用できる V2H システムなどを紹介。パナソニック株式会社は「超低消費電力 IoT 対応水素検知センサー」を出展。水素漏れを検知し安心・安全な水素社会を支える技術で、従来に比べ桁違いの低消費電力化を実現している。



HEMS、BEMS やスマートグリッド技術では、三菱電機株式会社が「スマートライフ EMS」として、街全体の省エネと快適な暮らしをサポートする「DIAPLANET TOWNEMS」のデモンストレーションや、尼崎市の納入事例「ZUTTOCITY」を紹介。フォーアールエナジー株式会社／株式会社エナリスなどが共同で出展した「New Smart Project “FREEDOM” ～ゼロ炭素社会の実現に向けた、蓄電池とVPP による新しいエネルギーコミュニティの提案～」は、家庭の蓄電リソースや再生可能エネルギーを IoT でつなぎ、コミュニティ全体を一つの VPP（仮想発電所）に見立て、電力の融通や地産地消を図る提案で、米国メディアパネル・イノベーションアワード「Smart Community」部門賞を受賞した。

ニチコン株式会社は、太陽光パネルと連携した「蓄電システム」、太陽光発電や風力発電のパワーコンディショナ向けの高耐電圧、高リプルアルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサなどの「パワーエレクトロニクス用デバイス」などを展示していた。

●自動運転・運転支援の実用化に向けた技術。

最近注目されている自動運転や運転支援技術に関する展示も、随所で見る事ができた。

クラリオン株式会社は、表示、音声、振動などドライバーの五感を通じ確実に情報を伝える統合 HMI 技術を用いた「スマートコックピット」を展示。このほか4台の車載カメラ映像を自然な一枚に合成し

ドライバーの周辺視界を補助する「SurroundEye」、同社を含む日立グループで取り組む先進運転支援システムなどを紹介。また、スマートコックピットや運転支援、画像認識の大敵である、カメラへの水滴や汚れの付着を防御するレンズコート技術、「親水コート」のデモンストレーションが注目を集めていた。

ミツミ電機株式会社は、2020年の製品化を目指して開発を進めている「79GHz ミリ波レーダー」を出展。カメラに比べ、霧や雨など天候の影響を受けにくく、夜間でも安定した性能が期待できる歩行者検知技術として注目される。オムロン株式会社は、「ドライバー運転集中度センシング技術」を展示。同社の高精度画像センシング技術と時系列ディープラーニングを融合させ、映像から運転手の状態を判定。運転時の自動・手動切り替えなどに貢献する技術として注目を集めた。



●人との共労を目指す産業用ロボット。

エプソン販売株式会社は、小型6軸の「産業用ロボット」を出展。これまで自動化が困難だった熟練者の力感覚を、力覚センサー「S250H」が実現するものだ。



株式会社デンソーは、多数のロボットを展示。「新電王手さん」は、プロ棋士とコンピュータの対局で話題となった「電王戦」で活躍した将棋ロボットで、約7秒で駒成りできるほか、対局の雰囲気壊さない静かな動作を実現している。コラボレーションロボットの「COBOTTA」は、安全柵なしで、人間の対面やすぐ隣で作業させることのできるアーム型ロボット。会場では、1台がアーム先端のカメラで来場者の顔を認識し、もう1台がその似顔絵を描くデモンストレーションを行っていた。同じくデンソーのユニークな技術が、自動追従型手術台ロボット「iArmS」。長時間の脳外科手術などで、医師が置く腕にアームが追従し支えてくれる。

●独創性が光った、社会・家エリアの民生技術。

今回の CEATEC JAPAN 2016では、社会・街・家エリアの展示に極めて独創的な出品が多くみられた。

パナソニック株式会社の「人体通信応用システム」は、人体周辺に電界を発生させ、電界変調で通信する技術。リストバンド型デバイスを着用した観客がコンパニオンと握手すると、リストバンドの色でコ

ンパニオンのLED光るデモンストレーションを実施。ゆくゆくは、“握手するだけで名刺交換が完了する”といった拡がりを可能にしたいという。

パナソニック株式会社の「非接触肌センサーおよびメイクアップシート」は、鏡台に座った人の顔のシミ、毛穴の位置、濃さを、ミラー裏からセンシング。専用プリンターで医療用ナノシート上に特殊なコンシーラー（ファンデーション）をプリントする。有機ELテレビの表面にフィルムなどを印刷する同社技術の応用で“塗るから貼る”へとメイクの常識を変える可能性を秘めている。

同じくパナソニックブースで、映像関係者から注目を集めていたのが、「3D アクチュエータ」。パン、チルト、ロール、3軸の動きを1つのモーターで制御し、ブレのない映像を実現できる。同系統の技術では、DJI JAPAN 株式会社が「ハンディスタビライザー “Osmo mobile”」を出展。スマートフォンに取り付けて使える3軸スタビライザーで、米国メディアパネル・イノベーションアワード「Mobile Technology」部門賞を獲得した。

エプソン販売株式会社は、「PrecisionCore プリントチップ」を展示した。MEMS（Micro Electro Mechanical Systems）技術をベースにした次世代技術で、プリントに革命を起こす可能性を秘めている。また同社の展示では、紙の再生を可能にする「PaperLab」にも注目が集まっていた。



レノボ・ジャパン株式会社の「YOGA BOOK」が注目を集めていた。2 in 1のタブレットで、フルフラットのキーボードはペンタブレットとして使えるほか、振動する触感フィードバック機能があたかも物理的なキーが存在するかのような感覚を与え、ユーザーのタイピングのクセを学習してタッチタイプを容易にする。

●IoT 実現を容易にするさまざまな技術的提案。

CEATEC JAPAN 2016では、「CPS/IoT を支えるテクノロジー・ソフトウェア」を軸にしたさまざまな技術提案がなされた。このエリアでは、CPS や IoT を実現に欠かせない電子部品や素材、材料、加工技術や関連ソフトウェアなどが展示された。まず目を引いたのが、IoT 開発を支援する提案の数々だ。

株式会社日立製作所は、GUI 部品やデータをドラッグアンドドロップすることでIoT アプリをスピーディーに開発できる IoT プラットフ



オーム「ThingWorx」、従来比の約1/3以下で業務アプリケーション開発を実現できるIoTインテリジェンス「Flutura」などを提案。アルプス電気株式会社は、「IoT Smart Module 次期開発キット&管理システム」を提案し、応用事例として「農業ICT（水田管理の省力化へ）」などを展示していた。

ローム株式会社も昨年に引き続き「センサー評価キット」を提案していたが、ジャイロセンサー、10軸モーションモジュール、光学式脈波センサーがラインアップに加わって陣容が充実、IoT開発への貢献が期待される。

●IoT、CPSを支える最先端の電子デバイス。

今回のCEATEC JAPAN 2016でも、各出展者が最新の電子デバイスを出展、状況を呈していた。

株式会社村田製作所は、IoT実現に欠かせない通信モジュール、各種センサー、電源モジュール、部品に加え、協業企業との事例紹介などを行っていた。また、「世界最小Q201サイズの高周波インダクタ」が発表された。



ニチコン株式会社は、パワートレイン、安全装置などの用途に合わせたアルミ電解コンデンサやフィルムコンデンサなどを展示。浜松ホトニクス株式会社は、得意とする光センサーなどの光学製品から、主に車載用機器などを展示していた。

TDK株式会社は、IoTに不可欠な磁気センサー、MEMSセンサーなどの各種センサー、世界最小クラスのBluetoothモジュールを実現するIC内蔵基板SESUB（Semiconductor Embedded in SUBstrate）などを展示。TMRセンサーは、CEATEC AWARD 2016「グリーンイノベーション部門」準ラブリとなった。また、TMR角度センサーのデモンストレーションとして「一人乗りバランスボード」を実施。シーソーに両足で立ち水平状態を維持するゲームで、一般にはなじみの薄い電子デバイスの機能が体感できる、わかりやすい内容で人気を博していた。

太陽誘電株式会社は、アロマビットとの共同開発となる「においセンサー」、ワイヤレス給電向け技術として、送電・受電それぞれの機器が最大±20mmずれても高い送電効率を維持できる「可変容量素子」、微細な振動を発生させることで指先に感触を伝えたりハンドルの振動させて警告することができる「積層型圧電アクチュエーター技術」、「可視光通信技術」などを展示。また、「Bluetooth Low Energy」デモンストレーションとして、タブレット上のマイクロロボットを操作して遊ぶゲームを実施し人気を集めていた。

株式会社株KELKは、環境にある熱を電力に変換することで電池レスIoTデバイスを実現する「微小熱発電モジュール」が出品。株式会社タムラ製作所も、IoTに欠かせない電子部品関連製品のほか、「SiCゲートドライバモジュール」「IGBTゲートドライバモジュール」などを展示していた。

ロームグループ、ラピセミコンダクタは、土中のpH、水分量、温度などの土壌環境を測定できるセンサチップ「土壌環境センサ」を提案した。土の中に土壌環境センサを直接埋め込むことが可能で、無線通信と組み合わせて土壌環境をリアルタイムでモニタリングできる。これにより、IoT化による農産物の生産性向上の他、防災対策などの社会インフラ監視に貢献するとアピールした。「土壌環境セ

ンサ」は、CEATEC AWARD 2016「グリーンイノベーション部門」グランプリを受賞した。



パナソニック株式会社は、曲げやねじりに耐える「フレキシブルリチウムイオン電池」を出展した。曲げ半径R25mm、ねじり角25°を実現し、繰り返し曲げたり、ねじったりしても性能が維持できるとしている。新たに開発したラミネート外装体や内部構造を採用することで、くり返し曲げ・ねじり変形した際にも液もれが生じにくく、異常な温度上昇も起きにくいため、身体に装着する機器にも安心して搭載できるとしている。カード向けJIS規格（半径約R40mm／ねじり角15°）以上の曲げ、ねじり耐性を有しており、電池駆動のカード型デバイスやウェアラブル端末用電源などへの用途が期待される。厚さ0.55ミリで、3種類のサイズが開発品として、用意されている。「フレキシブルリチウムイオン電池」は、米国メディアパネル・イノベーションアワード「Electronic Components」部門賞を受賞した。

●センシング技術を、わかりやすく伝える展示の数々。

株式会社村田製作所のブースでは、「ワイヤレスモーションキャプチャー」のデモンストレーションに人だかりができていた。人体に8つのセンサープローブを貼り、無線を介して360°全方位のモーションがキャプチャーで、ゴルフスイングを実際に計測していた。富士通株式会社も「Sports Form Digitalization」を展示。非装着型のセンシング技術で、各関節の3次元座標データを取得。理想的なフォームとの差を解析・表示して上達をサポートする。

このほかにも、さまざまなセンシング技術やその応用例が紹介されていた。



富士通株式会社の「次世代センサーシューズ」は、足の動きや圧力、曲がりなど数多くの情報を、靴底の加速度センサー、ジャイロセンサーなどが収集、スマホに送信する。ユーザ自身の活動ログを取得した健康管理、ビッグデータとしての位置把握など、さまざまな用途への応用が検討できる。レノボ・ジャパン株式会社も、専用アプリと連動する「スマートシューズ」を提案していた。

株式会社VRCが出展した「3D人体用撮影装置」は、人体の3Dモデリングを、わずか4秒のスキャンで実現する画期的な技術で、米国メディアパネル・イノベーションアワード Digital Imaging分野を獲得した。

オムロン株式会社の卓球ロボットもさらにパワーアップ。「フォル

フェウス (FORPHEUS)」として AI 技術「時系列ディープラーニング」を実装、対戦する人間の上手・下手を瞬時に判断し、相手レベルに合わせた返球で互いの成長を図るという。

ローム株式会社は、さらに進化を遂げた「ORIZURU Project 2016」を出展。同社の超軽量マイコンボード「Lazurite Fly」で飛行を制御するが、今回はデバイスが2.1gまで軽量化。安定した飛行に加え、操縦者の腕につけたセンサーデバイスを介した操縦まで披露していた。

●新たな視覚体験をもたらすVR技術。

毎年、派手なパフォーマンスで来場者を驚かせるタイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社は「TE VR ハンググライダー」をデモンストレーション。同社製品が使われているシーンをハンググライダーでめぐる VR 飛行体験ツアーを行っていた。3次元リアルタイム・バーチャルリアリティソフト「UC-win/Road」の株式会社フォーラムエイトは、VR ヘッドセットを使った体験デモンストレーションを実施。超人スポーツ協会は、頭にヘッドマウントディスプレイ、腕にアームセンサーを装備して対戦するゲーム、「HADO」の体験会を実施し会場を沸かせていた。また、VRを支える技術として注目されたのが、シャープ株式会社が出展した「VRHMD 用 IGZO ディスプレイ」。わずか2.87型で1920×2160ドットという超高精細を実現、ヘッドセットの「ドット見え」を解消できるという。

●そこにはないものを感じさせる、ハプティック技術。

VRと並んで期待される、触感を伝える技術、ハプティックにも新たな展示があった。アルプス電気株式会社は、フォース（力触覚）フィードバック製品群を展示した。“触って感じる”コーナーでは、コップの脇に装着されたアクチュエーターやペルチェ素子などから、指先に力触覚や冷温感を伝えることで、コップに熱い飲み物や冷たい飲み物が注ぎ込まれる感触を再現するもの。東京大学名誉教授でヴァーチャル・リアリティ研究の第一人者である舘暲氏らの研究(JST科学技術振興機構)を生かしたシステムだ。同社ブースでは、この「ハプティック®トリガー プラス」に加え、アクチュエーター駆動を適切に制御することで「プチトマトをつぶす」「すだちを絞る」「グミをつまむ」「心臓をつかむ」という感触を味わえる「ハプティック®トリガー」や、モルタルの床をなでる感触を再現する「ハプティック®パッド」などをデモ展示した。

また慶應義塾大学ハプティクス研究センター／野崎研究室は「高性能ハプティック義手の開発 ～力触覚移植技術による身体感覚補完～」を出展。CEATEC AWARD 2016「審査員特別賞」に選定された。



●身体のハンディをサポートし、社会に貢献する新たな提案。

会場では、新たな技術を、ハンディのある人が活躍できる社会の実現に活かす提案も数多くみうけられた。

三菱電機株式会社の「しゃべり描き UI」は、タブレットやスマートフォンに向かって話した言葉を、指でなぞった軌跡に表示できる音

声認識・表示技術。お絵描きや多言語翻訳の機能と組み合わせ、聴覚障がい者や外国人とのコミュニケーションを助けることができ、CEATEC AWARD 2016「暮らしと家とつながるイノベーション部門」グランプリとなった。デンマークに本社を置く補聴器メーカーの日本人法人、ジーエヌリサウンド ジャパン株式会社のスマート補聴器、「リサウンド・リンクス2」も、CEATEC AWARD 2016「街と社会でつながるイノベーション部門」の準グランプリに。デジタル音声技術を活用したスタイリッシュな補聴器で、iPhoneと接続し、通話や音楽再生が直接補聴器から行える。

パナソニック株式会社ブースでは、CEATEC JAPAN 2014で米国メディアパネル・イノベーションアワードを受賞した車椅子「WHILL」に、同社がセンサー技術などを提供。目的地まで自動的に安全に運んでくれる新たなモビリティを提案していた。

富士通株式会社は「視覚支援を目指したアイウェア」を展示。網膜走査型レーザーアイウェア技術により網膜に直接映像を投射、弱視の人でも映像を視認できる。視覚支援への応用などが期待できる技術で、CEATEC AWARD 2016 経済産業大臣賞、米国メディアパネル・イノベーションアワード グランプリをダブル受賞。



●スマートに進化するファクトリー搬送ロボット。

磁気やレーザー、物理的なレールなど規定コースを動くものとされてきた工場、倉庫の搬送ロボット (AGV: Automated Guided Vehicle) にも、転機が訪れようとしている。オムロン株式会社の「モバイルロボット LD」は、レールやガイドを必要としない、自律的に動き回る搬送ロボット。レーザースキャナーで周囲を計測して地図を自動作成し、地図と直近の計測結果を照合し自機の位置を正確に把握、人や障害物を避けながら目的地に向かう。地図の作成や移動に伴う障害物検知などを自律的に行うため、工場や倉庫のレイアウト変更にも柔軟に対応できる。株式会社日立製作所も、無人搬送車の「Racrew」を出展。棚そのものを持ち上げて自動搬送するというユニークなアイデアで、一般的な人力に比べ3倍強の効率アップが図れるという。

●「自前主義」の定説を覆す、オープンイノベーションの数々。

ここ数年で一気に開花したのが、各社の多彩なオープンイノベーション事例だ。

ローム株式会社は、同社のデバイスを活用した暮らしに役立つオリジナルのハードウェア作品を募集、賞金やプロトタイプ開発部品の支給のみならず、エンジニアによる製作サポート、ローム株式会社が出展する各種展示会への出品機会を提供。優秀作品5点を展示していた。株式会社村田製作所も、サイバーエージェント社主催のクラウドファンディングプラットフォーム「Makuake」と連携したアイデアコンテストの受賞作品を紹介。さらに、三菱東京UFJ銀行のスタートアップ・アクセラレータプログラム、「MUFG フィンテックアクセラレーター」は、銀行 API を利用したハッカソンを日本で初めて開催し、成果を展示していた。

●デバイス製造を支援する数々の提案。

最先端のデバイス制作を支援する技術展示も数多く見られた。測定器メーカーのアンリツ株式会社は、「2M 無線センサーネット

ワーク試験」や HAN (Home Area Network) 試験や Wi-SUN インタフェースを用いた ECHONET Lite 機器の CHONET Lite 認定試験を可能とする各種の継続ソリューションを展示。OKI エンジニアリング株式会社は、「品質確認のための良品解析」を出展。設計、試作、製造などの全領域で信頼性試験・評価・解析、EMC 試験、調達部品の技術・環境情報調査をユーザに代わって行うサービスで、プロの関心を集めていた。

●「-AI- 人工知能パビリオン」を中心とした、人工知能 / ディープラーニング展示。

特別企画エリアには「-AI- 人工知能パビリオン」が設けられ、人気を博していた。

株式会社リクルートホールディングスの「DataRobot」は、だれにでも簡単に機械学習をビジネスに適用できるよう開発された、機械学習の自動予測モデル生成&実装ソフトウェア。自動的に予測モデルを作成し実装できる仕組みを持つ。

株式会社 Preferred Networks は、AI の中核技術といわれるディープラーニングの製品への適用事例を紹介。自ら学習して飛行するドローンや、棚から多様な物体を取り出せるロボットを実演、話題となっていた。

なお、AI に関しては、スペースの関係でここに紹介しきれないほど多くの展示・提案が他のエリアでも見られた。たとえば富士通株式会社は、AI 研究の集大成ともいえる「Human Centric AI Zinrai」を展示。業種アプリやミドルウェア、サービスへの実装も予定されている。製品やロボットに AI が組み込まれた事例も数多くあり、今後、CEATEC JAPAN の中心テーマの一つとなっていくことが想像された。

●市場創出を目指す企業が集まる「IoT タウン」。

「IoT タウン」では、「つながる」をキーワードに、社会・街・家の利用シーンごとに CPS/IoT によって創り出される新しいモノやサービスを展示。セコム株式会社は、大型スクリーンを用いた映像コンテンツでセコムがめざす安全・安心・快適・便利なサービスを紹介。株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、コミュニケーションロボットの項で紹介した「NAO」、クレジットカードや銀聯カード、交通系や各種電子マネーや NFC が1台で決済できるシンククライアント型決済システム「J-Mups」、AI を駆使した新たな投資信託商品などを紹介していた。

株式会社ジェイティービープランニングネットワークは、販売員のいないスマート旅行店舗を可能にする「空中ディスプレイ」、顔認証して、自分が観光地にいるような画を作り出す「なりきりスポット」などを提案。株式会社タカラトミーは、NTT ドコモの「自然対話プラットフォーム」を活用したロボット「OHaNAS (オハナス)」、仔犬型ロボットの「ハロー！ズーマー」、自宅で宇宙旅行気分が楽しめるゴーグル型の「JOY!VR」などを展示していた。株式会社豆蔵ホールディングスは、行動予測等の高度なデータ解析コンサルティングの事例として、各種センサーのデータから生活のパターンを可視化する

高齢者向け見守りシステムのほか、発信器のついた首輪を利用した IoT サービスで、ねこが迷子になっても探せる「ねこもに」の試作を出展し話題となっていた。

楽天株式会社／楽天技術研究所は、ユーザの属性やそのときの服装などから商品数を絞り込んだり、ランダムに切り替えて提案できるコーディネート提案システム「KiTeMiROOM」、本をかざすことで内容をチラ読みできる端末「zapzap」などを提案した。

●出展増が顕著だった「ベンチャー&ユニバーシティエリア」。

CEATEC JAPAN 2016でもっとも出展数の増加が顕著だったのが、「ベンチャー&ユニバーシティエリア」だ。

慶應義塾大学の桂研究室の「超瞬発マシン」は、従来は難しかったダイナミックなモーションをロボットに実現する技術。神奈川工科大学情報工学科は複数の展示を行っていたが、なかでも「機械読唇モデル」に注目が集まっていた。有限会社海馬の「caiba」は、操作者の手や身体の動きを検知し、遠隔地のロボットにそっくり同じ動作をさせることができる。操作者がヘッドマウントディスプレイを装着し、ロボットに乗り移った感覚が体験できるという逆転の発想がユニークだった。

●CPS/IoT 分野の未来の可能性を感じさせる二つのアワード。

CEATEC JAPAN が進める省庁連携の中核を担う CEATEC AWARD は、CEATEC JAPAN に出展された中から、特に優れたイノベーションに対して、総務大臣賞、経済産業大臣賞、各部門賞が設けられ表彰された。【総務大臣賞】では、シャープ株式会社「高度広帯域衛星デジタル放送受信機」、【経済産業大臣賞】富士通株式会社「網膜走査型レーザアイウェア技術」が受賞した。

【暮らしと家とつながるイノベーション部門】グランプリは、三菱電機株式会社、音声認識表示技術「しゃべり描き UI (ユーザーインターフェース)」、【街と社会でつながるイノベーション部門】グランプリは、日本電気株式会社「AI (人工知能) を活用し 未知のサイバー攻撃を対策する、自己学習型システム異常検知技術」、【テクノロジー・ソフトウェアイノベーション部門】では、株式会社ソシオネクスト「8K HEVC リアルタイムビデオエンコーダソリューション / 高度 BS 放送対応受信 LSI 「SC1501A」 / 8K HEVC 映像デコード処理 LSI SCH801A」、【グリーン・イノベーション部門】では、ローム株式会社 ラピスセミコンダクタ株式会社「農産物の生産性向上、防災対策に貢献。地中のリアルタイム測定が可能な「土壌環境センサ」がそれぞれ部門グランプリを受賞した。【審査員特別賞】は、慶應義塾大学 (ハプティクス研究センター / 野崎研究室) 【世界初】高性能ハプティック義手の開発 ～力触覚移植技術による身体感覚補完～ が受賞した。

一方、米国から IT・家電関係のジャーナリストが来日し、CEATEC JAPAN 2016に出展された技術、製品、サービスを出品会場において徹底取材を行い、出展社の中から優れたものを表彰する米国メディアパネル イノベーション アワードが実施された。本アワードでは、9 部門の部門賞受賞者の中から選ばれるグランプリには、富士通株式会社「網膜走査型レーザアイウェア技術」が選ばれた。

●新たな時代の到来を感じたCEATEC JAPAN 2016。

改めて会場を見渡すと、中心的なテーマとなった CPS、IoT 以外にも、AI、VR、フィンテックなどに斬新な提案・展示が多かったことに気づかされる。また、オープンイノベーションやハッカソンなど協業・協創の取り組みの活発化や「ベンチャー&ユニバーシティエリア」の顕著な出展増が示すように、ビジネスチャンスの獲得や発掘、新たな協業先との出会いや交流の場としても機能しはじめていることに気づかされる。新たな技術と出会い、ビジネスを発展させる場としての役割がますます増していることを実感する4日間であった。



CEATEC ニュース



公式 Website に掲載している CEATEC ニュースのタイトルをご紹介します。
多彩で魅力あふれる情報が盛りだくさん。

www.ceatec.com

Vol.001 2016.7.28



CEATEC JAPAN 2016
来場事前登録開始!! CEATECは
CPS/IoT Exhibitionとして生まれ
変わります!

Vol.002 2016.7.28



ウェアラブルの伝道師 塚本昌彦
教授に聞く、「ウェアラブルを使
いこなすために必要なことは?」

Vol.003 2016.7.28



変わりゆく「シーテック」の風景。
今年はベンチャー出展が倍増の
100社に 家電からIoTの見本市
に定着するか

Vol.004 2016.7.28



老舗警備会社はどうインター
ネットに向き合ってきたのか?
セコムが考えるIoT時代とは

Vol.005 2016.8.29



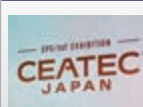
楽天の原点に立ち戻り、IoT時
代の「店舗ビジネスエンハンス(強
化策)」を創造する。

Vol.006 2016.9.5



臭素科学・環境フォーラム(日
本)、「火災から、生命・財産と想
い出を守る難燃剤」をテーマに
CEATEC JAPAN 6年連続の出展。

Vol.007 2016.9.14



“家電見本市”が生まれ変わり、
交通や生活を便利にする異業種
からも多数出展する「CEATEC
JAPAN 2016」

Vol.008 2016.9.14



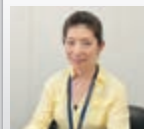
家電見本市であることをやめた
「CEATEC JAPAN 2016」10月
4日～7日開催、これからは
“CPS/IoT”の総合展

Vol.009 2016.9.15



慶應義塾大学 ハプティクス研究
センターは、CEATEC JAPANで
“リアルハプティクス”の世界
を体感デモにより具体的に紹介

Vol.010 2016.9.15



IoTを活用し、店頭への集客力
UPへのきっかけになるソリュー
ションを提供したい

Vol.011 2016.9.16



21世紀の「人と技術が一体になり、
みんなが楽しめるスポーツ」を
生み出したい。

Vol.012 2016.9.20



「みんなの笑顔を創る」ロボット
とのコミュニケーションの価値
を伝えたい

Vol.013 2016.9.21



ジーエヌリサウンド ジャパン
株式会社、話題のiPhoneと直
接つながる“スマート補聴器”
リサウンド・リンクス²を展示

Vol.014 2016.9.23



KOA株式会社、CEATEC JAPAN
で風センサーを活用した「風の
見える化」デモを実施

Vol.015 2016.9.23



ヘルスケアカンパニーのTemari、
お好みの歯ブラシに取り付けて、歯
磨きの状態が記録されフィードバッ
クすることができる「シャカシャカ
ぶらし」をCEATEC JAPANで紹介

Vol.016 2016.9.26



「モノ/サービス」を作り上げて
いくプロセスをオープンに。
そこに集う新しい視点・発想を
もつ人達と出会いたい。

Vol.017 2016.9.27



FinTechで金融サービスがこう
変わる? 三菱UFJフィナンシャル・
グループの先端技術への取り
組み

Vol.018 2016.9.28



ユカイ工学のコミュニケーション
ロボット「BOCCO」が無線LAN
通信がなくても使用が可能に!

Vol.019 2016.9.28



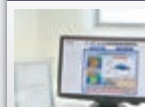
遠隔ロボット「caiba」の操作体験
ができる、有限会社海馬ブース

Vol.020 2016.9.28

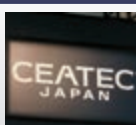
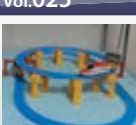
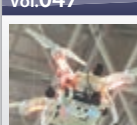
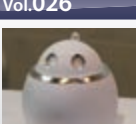
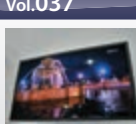
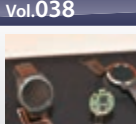
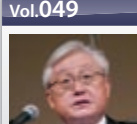
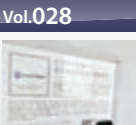
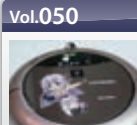
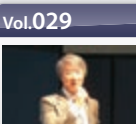
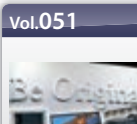
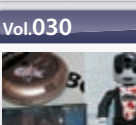
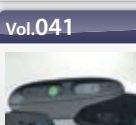
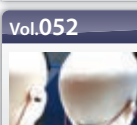
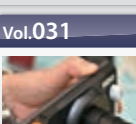
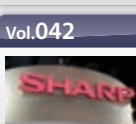
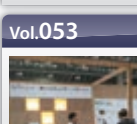
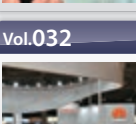
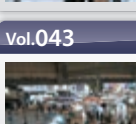


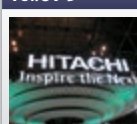
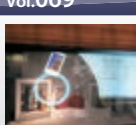
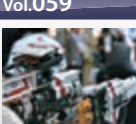
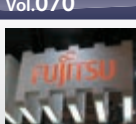
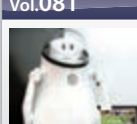
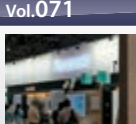
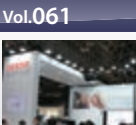
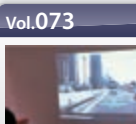
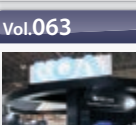
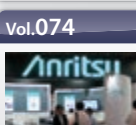
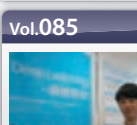
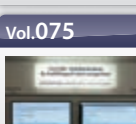
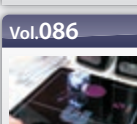
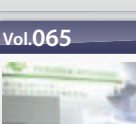
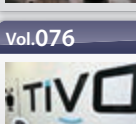
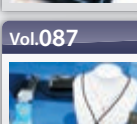
「学」の研究成果が社会にどう
役立つのか?をお見せしたい。

Vol.021 2016.9.29

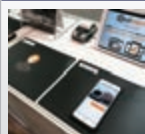


米国ITジャーナリスト陣が
CEATEC JAPAN 2016を徹底
取材!

Vol.022 2016.9.29  ディープラーニングで注目を集める Preferred Networks社 AI、映像解析を駆使した Drone によるブースデモを実施	Vol.033 2016.10.4  ロボホンや家電連携、角が丸いスマホ液晶を展示するシャープ	Vol.044 2016.10.5  【イベントレポート】 【CEATEC 2016レポート】 テクノロジーを照らすコンパニオンさんの勇姿
Vol.023 2016.9.30  ロームが、センサや無線モジュールを活用したアイデアコンテストを開催 CEATEC JAPAN 2016の会場で優秀作品を紹介	Vol.034 2016.10.4  さらば家電見本市。CPS/IoT展に生まれ変わったCEATECが4日開幕	Vol.045 2016.10.5  '18年の8K本放送に向け、衛星/CATV両対応の受信機。薄さ2mmの8K有機ELも
Vol.024 2016.9.30  株式会社アイオイ・システム、CEATEC JAPANで次世代型ピッキングシステムを展示	Vol.035 2016.10.4  耳穴で個人認証、NECがヒアラブルなウェアラブルデバイス構想、なんか不審な人物を瞬時に特定する映像分析技術も	Vol.046 2016.10.5  if-then型の条件設定で各種BLEデバイス連携アプリを開発、NTTドコモが「Linking」の活用例
Vol.025 2016.10.3  神奈川工科大学 情報工学科、CEATEC JAPANでIoT時代に寄与する研究成果を展示・デモ	Vol.036 2016.10.4  人体通信や電池レス無線スイッチなど技術展示もユニークなパナソニック	Vol.047 2016.10.5  ドローンで360度動画撮影、透明スクリーンなど最新映像技術が身近に
Vol.026 2016.10.3  シャープ、音声対話で家電機器連携する「ホームアシスタント」を'17年前半発売	Vol.037 2016.10.4  【CEATEC 2016レポート】シャープがIGZO 27型8K 120Hzディスプレイを展示	Vol.048 2016.10.5  イヤフォンを着けて本人認証、感情分析まで可能に？ “耳元でつながるネット”
Vol.027 2016.10.3  タイコエレクトロニクスジャパンブースにてTEオリジナル ウェアラブル ハローキティぬいぐるみをプレゼント！	Vol.038 2016.10.4  LTEスマートウォッチやレーザー投影のスマートグラス～CEATECで見つけたガジェットたち	Vol.049 2016.10.5  CPS/IoTの活用とオープンイノベーションで超スマート社会は実現するか？ 日立・東原社長
Vol.028 2016.10.3  初出展の株式会社PIJIN。特許技術「QR Translator」を使った“多言語調査”の新サービスをCEATEC JAPANで発表	Vol.039 2016.10.4  キーワードは「イノベーション」、CEATEC JAPAN 2016開幕	Vol.050 2016.10.5  コンセプトを180度変えた、新たな「CEATEC」ブースレポート
Vol.029 2016.10.3  「CEATEC JAPAN 2016」明日10月4日から開催、648社・団体が出展して“CPS/IoTの技術展”	Vol.040 2016.10.5  人工知能にドローン、時代の最先端を半導体技術で支える株式会社ソシオネクスト	Vol.051 2016.10.5  【大河原克行のデジタル家電-最前線-】 新生シャープの「Be Original.」は、「目のつけどころがシャープ」を超えるか？
Vol.030 2016.10.4  シャープのロボ掃除機「COCOROBO」がボカロ連携で歌う掃除機へ。8K HDR「Saya」も	Vol.041 2016.10.5  三菱電機、GPSやジャイロセンサーを使わずに、位置情報なしで屋内空間の3Dマップを生成するシステム	Vol.052 2016.10.5  イヤフォンやACアダプタのケーブルが伸縮して丈夫に。旭化成の「ロボ電」
Vol.031 2016.10.4  Moto ZやTango対応スマホを展示するレノボ、折り曲がるコンセプトモデルも	Vol.042 2016.10.5  “AIoT”でAI・クラウドを利用したシャープの家電製品	Vol.053 2016.10.5  ミサワホーム総合研究所は、住宅メーカーとして新たな空間を提案
Vol.032 2016.10.4  人気・最新のSIMフリースマホが一堂に会するファーウェイブース	Vol.043 2016.10.5  CEATEC JAPAN 2016が開幕 パナソニックの1モーター3軸手ブレ補正ユニットなど	Vol.054 2016.10.5  CEATEC AWARD 2016「総務大臣賞」、「経済産業大臣賞」発表！

Vol.055 2016.10.5  NECレノボは折り曲がる新スマホと、AR仕様Tango搭載スマホを展示	Vol.066 2016.10.5  パナソニック株式会社、人体通信やメイクプリンターなどの最新技術を展示	Vol.077 2016.10.5  歩行者や車の高精度な物体検出アルゴリズムを開発するStradVision
Vol.056 2016.10.5  官民で取り組むAI技術最前線——産総研、リクルート、ネクストリーマー	Vol.067 2016.10.5  “MICEをIoT化する”とうたう株式会社マジェンシーの会議ソリューション	Vol.078 2016.10.5  株式会社Liquid Japan、決済システム「Touch&Pay」体験者に500円分のクーポンを提供
Vol.057 2016.10.5  株式会社アップアローズ、ユーザー体験(UX)向上のためのVRシステムを紹介	Vol.068 2016.10.5  Preferred Networks, Inc.、株式会社ファームノート、深層強化学習で飛行がうまくなるドローンと牛の体調を予測するAIを展示	Vol.079 2016.10.6  日立製作所、案内と接客サービスが得意なロボット「EMIEW3」を展示
Vol.058 2016.10.5  ミツミ電機株式会社、「世界一のMEMS気圧センサ」はじめとする先進デバイスを展示	Vol.069 2016.10.5  透明ディスプレイにクラウド連携、パナソニック株式会社の描く未来のキッチン	Vol.080 2016.10.6  1.5mAhの低消費電力でBLE転送による楽曲再生を実現、STマイクロ
Vol.059 2016.10.5  【CEATEC 2016レポート】センサー活用で広がりを見せるVRやロボット	Vol.070 2016.10.5  富士通株式会社、スポーツのフォームをセンシング技術で瞬時に解析	Vol.081 2016.10.6  海馬、映像と音声をWebRTCとVRヘッドセットで体感しながら操作できる遠隔操作ロボット
Vol.060 2016.10.5  電池駆動、長距離通信が可能なIoT時代の通信規格「Z-WAVE」	Vol.071 2016.10.5  人体通信デバイスやプリントアウトして“貼る”化粧、観光地のカメラシェアリングサービスなど、パナソニックの体験ブース	Vol.082 2016.10.6  「CEATEC JAPAN 2016」で展示された未来の旅を感じるテクノロジー(1)
Vol.061 2016.10.5  株式会社デンソー、OEM・教育用汎用ロボットアーム「COBOTTA」を出展	Vol.072 2016.10.5  日立製作所、ピッキング作業を効率化する無人搬送車「Racrew」	Vol.083 2016.10.6  “個人で買える”HDMIチェッカー。Nutube真空管で約8千円の自作ヘッドフォンアンプ
Vol.062 2016.10.5  センシillion株式会社、わずか1ミリ角の超小型半導体環境センサーを展示	Vol.073 2016.10.5  クラリオン株式会社、自動運転時代を見据えた車載技術を体験展示	Vol.084 2016.10.6  株式会社Nayuta、IoTと“IoM (Internet of Money)”を融合させたデモシステムを出展
Vol.063 2016.10.5  センサとIoTで風の動きを“見える化”するKOA株式会社	Vol.074 2016.10.5  アンリツ株式会社、HEMSを支える無線方式「Wi-SUN」の検査システムを公開	Vol.085 2016.10.6  データセクション株式会社、ディープラーニングによる画像解析技術を提案
Vol.064 2016.10.5  株式会社フジクラ、高性能なパッシブデバイスや関連実装技術を提案	Vol.075 2016.10.5  富士通株式会社、リアルタイムに音声認識して複数端末に異なる言語へ自動翻訳	Vol.086 2016.10.6  太陽誘電、ユニークなデモでセンサーや圧電素子をアピール
Vol.065 2016.10.5  エプソン販売株式会社、力覚センサーシステム搭載の産業用ロボットを初展示	Vol.076 2016.10.5  新「TiVo」は買収で何が変わる？ 観たい番組探しとデータ活用の今後	Vol.087 2016.10.6  Bluetooth SIGではクラウドLED電球など新規アイディア製品を展示

Vol.088 2016.10.6



シーティーシー・エスピー、最新IT技術による情報収集と顧客データを活用するOmni-Flexを提案

Vol.089 2016.10.6



ヘッドマウントディスプレイを装着して遠隔地から操作する、海馬の遠隔ロボット「Caiba」

Vol.090 2016.10.6



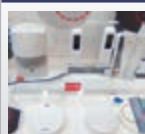
巴川製紙所、電子デバイスに変革をもたらすフレキシブルな材料、銅繊維シート

Vol.091 2016.10.6



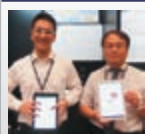
富士通、AI技術を使ったスポーツのフォーム改善や監視システム

Vol.092 2016.10.6



ローム株式会社、電池レスの無線方式「EnOcean」を使ったホームセキュリティやマシンモニタリングシステムを展示

Vol.093 2016.10.6



神奈川工科大学、点字入力・手話認識・読唇を支援するシステムを実演展示

Vol.094 2016.10.6



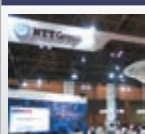
家庭からEVまで、蓄電テクノロジーの心臓部を構築するニチコン株式会社

Vol.095 2016.10.6



NEC、ウェアラブルデバイスによる映像警備支援ソリューションを提案

Vol.096 2016.10.6



NTTグループ、IoTとAIを結び新たな価値創造を掲げる19件のアプリケーション/ソリューションを展示

Vol.097 2016.10.6



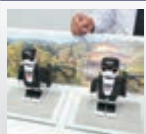
3Dプリンタで作るマイクロコンピュータを展示、本田技研工業株式会社

Vol.098 2016.10.6



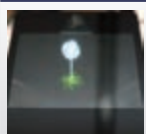
三菱東京UFJ、顧客対応のFinTechを展示、バーチャルアシスタント「MAI/MAIQ」やロボットなど

Vol.099 2016.10.6



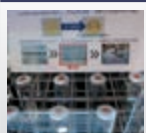
「CEATEC JAPAN 2016」で展示された未来の旅を感じるテクノロジー(2)

Vol.100 2016.10.6



空中結像技術を用いた裸眼立体視ディスプレイ、触れるようにして操作も可能

Vol.101 2016.10.6



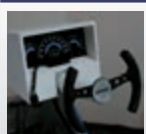
沖エンジニアリング株式会社、半導体・電子機器の品質向上に貢献する受託検査サービスを紹介

Vol.102 2016.10.6



超薄型からホワイトボード表面まで、多彩な用途の精密ガラス製造の日本電気硝子株式会社

Vol.103 2016.10.7



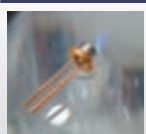
オムロン、「ドライバー運転集中度センシング技術」で安全な自動運転をサポート

Vol.104 2016.10.7



CEATEC JAPAN 2016 米国メディアパネル・イノベーションアワード Grand-Prix決定

Vol.105 2016.10.7



ローム株式会社、未利用領域の電磁波「テラヘルツ波」を発生・検出する素子を初出展

Vol.106 2016.10.7



誘電率・表面抵抗比導電率を高精度に解析計算するサムテック有限公司

Vol.107 2016.10.7



独自のスパッタリング技術で生んだ導電薄膜で世界進出めざす合同会社アドバンスパッタ

Vol.108 2016.10.7



三菱電機株式会社、しゃべった言葉を指で好きな場所に表示する「しゃべり描きUI」を出展

Vol.109 2016.10.7



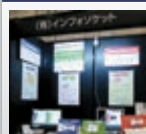
NEC、耳穴の形状で生体認証する技術を参考出展

Vol.110 2016.10.7



株式会社PIJINの特許技術「QR Translator」を使った“多言語調査”の新サービス

Vol.111 2016.10.7



中小企業や小規模利用向けにIoT導入のハードルを下げるインフォソケット

Vol.112 2016.10.7



シャープ株式会社、CEATEC AWARD 2016総務大臣賞受賞の8K対応デジタル放送受信機を展示し、8K/4K試験放送をデモンストレーション

Vol.113 2016.10.7



書籍の頻出キーワードや文章を表示する専用端末、Koboのデータを活用、楽天技術研

Vol.114 2016.10.7



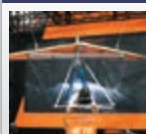
NHK、JEITA、4K・8Kの実用放送開始に向けて進める受信環境の整備

Vol.115 2016.10.7



DJI JAPAN (株)の“OSMO MOBILE” 米国イノベーションアワードでモバイルテクノロジー部門賞を受賞

Vol.116 2016.10.7



「CEATEC JAPAN 2016」で展示された未来の旅を感じるテクノロジー(3)

Vol.117 2016.10.7



株式会社村田製作所、タイで実証実験のトラフィックカウンタシステム

Vol.118 2016.10.7



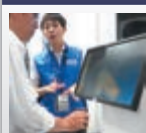
TDK株式会社、バランスボードで記念品をゲット

Vol.119 2016.10.7

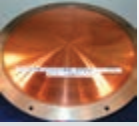


シャープ株式会社、満1歳となるRoBoHoN(ロボホン)の法人向け利用をアピール

Vol.120 2016.10.7



アルプス電気株式会社、先端技術を“触って感じる”デモンストレーションが人気

Vol.121 2016.10.11  SIMフリー市場で存在感を増す ファーウェイ	Vol.132 2016.10.11  来場者インタビュー	Vol.143 2016.10.14  アメリカ大使館商務部主催 サイバーセキュリティに関する 特別講演を開催
Vol.122 2016.10.11  土壌環境のリアルタイムモニタ リングや作業車の稼働状況可 視化など、ロームのセンサーで 提案するIoTソリューション	Vol.133 2016.10.11  「さくらのIoT Platform」は “データを迎えに行く”プラット フォーム	Vol.144 2016.10.14  CEATEC JAPAN 2016、閉幕
Vol.123 2016.10.11  家電見本市からCPS/IoT展に 一新したCEATEC 2016来場者 は、前年比9.1%増	Vol.134 2016.10.11  日の丸FPGAの研究レポートを 発表／国立大学法人熊本大学 (末吉研究室)	Vol.145 2016.10.31  「米国メディアパネル・イノベ ーションアワード」審査員による CEATECレポート
Vol.124 2016.10.11  タイコ エレクトロニクス ジャパン 合同会社、「TE VR ハングライ ダー」でVRとアクションのハイ ブリッドな体験	Vol.135 2016.10.11  日本発条株式会社、真贋判別を 劇的に効率化する偽造防止技術 「Trustgram®」を出展	
Vol.125 2016.10.11  トヨタが心のパートナーロボット を発売。水素社会の実現に向け て官民の実証実験にも参加。 燃料電池自動車普及に期待。	Vol.136 2016.10.11  日本航空電子工業株式会社、 全面透明タイプのタッチパネル がカーナビのデザイン性向上に 貢献。	
Vol.126 2016.10.11  スタンレー電気株式会社、開発中 の深紫外LEDモジュールを出展	Vol.137 2016.10.11  東成イービー東北株式会社、 小惑星探査機「はやぶさ2」搭載 装置の試作品などを出展	
Vol.127 2016.10.11  ゼロ炭素コミュニティを実現する フォーアールエナジー株式会 社の「エネハンド」蓄電システム。	Vol.138 2016.10.12  コーデンシ株式会社、高速 C-MOSカメラ、用紙厚みを検知 する変位センサなどを展示	
Vol.128 2016.10.11  主催者特別企画の「IoTタウン」、 新コンセプトでにぎわいを創出	Vol.139 2016.10.12  介護現場の負担を軽減する株式 会社アイデアクエスト	
Vol.129 2016.10.11  出展者からみた CEATEC JAPAN 2016	Vol.140 2016.10.12  三星ダイヤモンド工業株式会 社の新しいセラミックス切断加工 技術が従来の常識を変え、生産 効率を上げる	
Vol.130 2016.10.11  復興に向けて・・・東北・熊本復興 サポート展示ゾーン	Vol.141 2016.10.12  オムロン、ギネス世界記録に認定 の卓球ロボットがAI技術導入で さらなる進化	
Vol.131 2016.10.11  CEATEC AWARD 2016 授賞式	Vol.142 2016.10.12  インバータに組み込むだけで SiC MOSFET/IGBTのドライブが 可能な、タムラ製作所のゲート ドライバモジュール	

コンファレンス／セミナープログラム

10月4日(火)

ゲストスピーチ 日英同時通訳

G-1 13:00-13:45 東京2020大会を契機としたレガシー創出へ向けての取組

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 副事務総長 古宮 正章氏



キーノートスピーチ 日英同時通訳

K-1 14:15-15:00 IoTがもたらす豊かな未来に向けて

富士通株式会社 代表取締役会長 山本 正巳氏



キーノートスピーチ 日英同時通訳

K-2 15:15-16:00 デジタル技術を活用した社会イノベーション

株式会社日立製作所 執行役社長兼CEO 東原 敏昭氏



キーノートスピーチ 日英同時通訳

K-3 16:15-17:00 今注目すべき技術動向とIT業界の今後

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 会長
一般社団法人日本IT団体連盟 幹事長
株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長 荻原 紀男氏



10月4日(火)

コンベンションホール
10:00 - 12:15 特別講演 SP-1
コンベンションホール 日英同時通訳

IoT推進コンソーシアム総会

- 10:00-11:00
【第一部】IoT 推進コンソーシアム総会
- 11:15-12:15
【第二部】パネルディスカッション
IoT、次の一手。～世界の潮流と将来展望～

・パネリスト
Industrial Internet Consortium
Steering Committee Secretary
and Co-Chair Architecture Task Group Mark Crawford 氏
OpenFog Consortium Founder and President Jeff Fedders 氏
株式会社Preferred Networks 代表取締役社長 西川 徹 氏
株式会社ソラコム 代表取締役社長 玉川 憲 氏
・モデレーター
慶應義塾大学 環境情報学部長・教授 村井 純 氏

201 会議室
10:30 - 12:30 CPS/IoTトレンドセッション TR-1
201 会議室 日英同時通訳

世界のコンシューマエレクトロニクス市場は何处へ向かうか？
フューチャーソースコンサルティング
コンシューマエレクトロニクス Mr. Simon Bryant
フューチャーソースコンサルティング
コンシューマエレクトロニクス Mr. Jack Wetherill
フューチャーソースコンサルティング
コンシューマエレクトロニクス Ms. Rasika D'Souza

13:00-17:00 特別講演
IoT時代に求められるサイバーセキュリティ

201 会議室
13:00 - 13:45 日英同時通訳 SP-3-1
IoTとサイバーセキュリティの先にあるもの
～経営者が行うべきサイバーセキュリティとIPAの取り組み～
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
理事長 富田 達夫 氏

14:00 - 15:30 日英同時通訳 SP-3-2
パネルディスカッション
日・米におけるサイバーセキュリティ
・パネリスト
米アライアメントサイバーセキュリティ社 最高経営責任者
米国 国家安全保障局(NSA) 元高官
米国 サイバー軍初代司令官
米国 大統領国家サイバーセキュリティ強化委員会委員
キース・アレクサンダー 將軍
米マイト社 主席政策アドバイザー
バーバラ・グレイヴ 氏
経済産業省
サイバーセキュリティ・情報化審議官
伊東 寛 氏
トヨタ自動車株式会社
情報セキュリティ推進室長
藤瀬 浩史 氏
・モデレーター
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
参事・セキュリティセンター長
江口 純一 氏

15:45 - 17:00 日英同時通訳 SP-3-3
いま求められるIoTシステムのセキュリティ・セーフティ
～国の戦略とガイドライン～
内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)
副センター長 内閣審議官 三角 育生 氏
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
技術本部 ソフトウェア高信頼化センター ソフトウェアグループ
グループリーダー 中尾 昌善 氏
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
技術本部 セキュリティセンター 情報セキュリティ技術ラボラトリー
研究員 辻 宏郷 氏

301 会議室
10:30 - 12:30 CI-1

人工知能とICTが共創する未来 301 会議室
●招待講演
「初音ミク」の現在・過去・未来
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役 伊藤 博之 氏
●パネルディスカッション
人工知能とICTの融合が築く未来とその課題
・パネリスト
日本電信電話株式会社
サービスイノベーション総合研究所
メディアインテリジェンス研究所 所長 小澤 英昭 氏
株式会社富士通研究所
知識情報処理研究所 人工知能研究センター
人工知能基盤プロジェクト 専任研究員 落谷 亮 氏
大阪大学大学院情報科学研究科 教授 村田 正幸 氏
・モデレーター
大阪大学大学院生命機能研究科 特任教授/
情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター センター長 柳田 敏雄 氏

13:00-14:30 JE-1
IoTが創る未来の社会 301 会議室
●13:00-13:30
テクノロジーで創り出す、新たなスポーツのかたち
超人スポーツ協会 事務局長 南澤 孝太 氏
株式会社meleap CEO 福田 浩士 氏
●13:30-14:00
社会システム・サービス最適化のためのソーシャルCPS
国立情報学研究所 副所長・教授 安達 淳 氏
●14:00-14:30
地理情報サービスと街角ウェアラブルコンピューティングの展開
神戸大学大学院 工学研究科電気電子工学専攻 教授
NPO法人 ウェアラブルコンピュータ研究開発機構 理事長
NPO法人 日本ウェアラブルデバイスユーザー会 会長 塚本 昌彦 氏

16:00 - 17:30 CPS/IoTトレンドセッション TR-2
オープンIoTの時代 301 会議室
●基調講演者
東京大学大学院 情報学環 教授 坂村 健 氏
●パネルディスカッション
東京大学大学院 情報学環 教授 坂村 健 氏
・パネリスト
株式会社 明電舎
明電舎ICT製品・サービス統括本部 部長兼常務執行役員 横井 学 氏
アビームコンサルティング
デジタルトランスフォーメーションビジネスユニットIoTセクター
ディレクター 橘 知志 氏
・モデレーター
ダイヤモンドオンライン 編集長 深澤 献 氏

302 会議室
10:30 - 12:30 CS-1
事例徹底研究！
PepperとIBM Watsonの効果的活用法
ソフトバンク株式会社 法人事業戦略本部
首席エグゼクティブ 中山 五輪男 氏

13:00 - 15:00 CS-2
UX戦略 302 会議室
(業務系とスマホアプリにおけるユーザー体験の戦略とは)
株式会社エクサ コンサルティング推進部 UX担当 安藤 幸央 氏
株式会社ビーエスシー PSCデザイン研究所 所長 成嶋 敏文 氏

16:00 - 17:00 CI-2
2016年度モバイル通信端末の利用実態調査 302 会議室
(旧 携帯電話の利用実態調査)
～MVNOの認知度アップ 次回購入は格安スマホ希望者が大幅増！～
株式会社シード・プランニング 主席研究員/コンサルタント 杉本 昭彦 氏

303 会議室
10:30-17:00 CPS/IoTトレンドセッション
303 会議室

10:30 - 11:30 TR-3-1
日本のオープンイノベーションの現状と
イノベーションエコシステムの必要性
トーマツベンチャーサポート株式会社
アドバイザリーサービス事業部長 本田 知行 氏

12:00 - 13:30 TR-3-2
ベンチャーと大企業の事業提携を創造するMorning Pitch、
事業提携事例紹介、ブース出展社紹介ピッチ
トーマツベンチャーサポート株式会社
Morning Pitch総合プロデューサー 納富 隼平 氏

14:30 - 15:30 TR-3-3
ベンチャーと大企業の事業提携を踏まえた
日本のロボット・ドローンインダストリー概観
トーマツベンチャーサポート株式会社
ロボット・ドローンインダストリーリーダー 瀬川 友史 氏

16:00 - 17:00 TR-3-4
日本の大企業と海外のベンチャー企業を結ぶTVSの取り組み
トーマツベンチャーサポート株式会社
海外事業部 ニューヨーク担当 金澤 静香 氏

304 会議室
11:00 - 12:00 コンファレンススポンサー C0-1
304 会議室 日英同時通訳

ストリーミング・デバイスの新時代に備える
体験とサービス
Digital Living Network Alliance (DLNA)
Vice President of Technology and Strategy Mr. Duncan Bees
Broadcom Limited
Architect Dr. Stephen Palm

14:00 - 15:00 コンファレンススポンサー C0-3
304 会議室
グローバル競争を勝ち抜く！
「IoT時代のドキュメント管理・運用」セミナー
株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部
ドキュメント業務改善コンサルタント 安岡 仁之 氏
株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部
ドキュメント業務改善コンサルタント 安田 純 氏

10月4日(火)	
102 会議室	
10:00-10:45	総務省ICTイノベーションフォーラム2016
国際会議場1階 102 会議室	
10:00 - 10:15	ICT-B-1
SCOPEⅠ／データ活用 非均質計算機環境を使ったリアルタイム大容量データ処理 アプリケーションプラットフォームの研究開発 日本電信電話株式会社 藤井 竜也 氏 運動データベースのための力学モデルに基づく時空間データ解析技術 埼玉大学 辻 俊明 氏 位置情報付きビッグデータ分析における自動意味付け手法の研究開発 奈良先端科学技術大学院大学 荒川 豊 氏	
10:15 - 10:45	ICT-B-4
SCOPEⅠ／世界最高レベルのICTインフラの構築 ダイヤモンドを用いた次世代量子暗号用素子の基礎技術開発研究 大阪大学 水落 憲和 氏 PIAX対応型エネルギーコントロールゲートウェイの研究開発 慶應義塾大学 山中 直明 氏 電化道路電気自動車の実現に向けた電動カート走行中給電の 原理実証実験 豊橋技術科学大学 大平 孝 氏 超薄型柔軟膜を用いた貼付型ヒューマンインタフェースの研究開発 兵庫県立工業技術センター 平田 一郎 氏 視覚触覚間の感覚相関相互作用を利用した形状伝送システムの研究開発 東京大学 鳴海 拓志 氏 スライサブルな超100Gイーサネットシステムを実現するための 大規模プログラマブル光ネットワークの研究開発 大阪大学 北山 研一 氏	
103 会議室	
11:00 - 14:40	総務省ICTイノベーションフォーラム2016
国際会議場1階 103 会議室	
11:00 - 11:50	ICT-S-1
開会／特別講演 開会 総務省大臣官房総括審議官 武田 博之 氏 「これからの日本を創るICT分野への挑戦者に向けて、Google、 TwitterでのICT事業を経て新天地でみなさんと共に挑戦したい事」 トリップアドバイザー(株) 代表取締役 牧野 友衛 氏 ・コーディネータ(「真能vation」事務局 福田 正 氏)	
13:00 - 13:20	ICT-A-1
ICT重点技術の研究開発／ネットワーク仮想化技術の研究開発 (ネットワーク仮想化統合技術の研究開発) 日本電気株式会社 桐葉 佳明 氏	
13:20 - 13:40	ICT-A-2
ICT重点技術の研究開発／G空間プラットフォームにおける リアルタイム情報の利活用技術に関する研究開発 G空間プラットフォームにおけるリアルタイム情報の利活用技術に 関する研究開発 株式会社日立製作所 菅原 敏 氏	
13:40 - 14:00	ICT-A-3
ICT重点技術の研究開発／国際連携によるサイバー攻撃予知・即応技術 の研究開発(国際連携によるサイバー攻撃の予知技術の研究開発) 国際連携によるサイバー攻撃予知・即応技術の研究開発 (国際連携によるサイバー攻撃の予知技術の研究開発) KDDI株式会社 中尾 康二 氏	
14:00 - 14:20	ICT-A-4
ICT重点技術の研究開発／サイバー攻撃の解析・検知に関する研究開発 サイバー攻撃の解析・検知に関する研究開発 富士通株式会社 津田 宏 氏	
14:20 - 14:40	ICT-A-5
ICT重点技術の研究開発／変動する通信状況に適應する省エネな ネットワーク制御基盤技術の研究開発 変動する通信状況に適應する省エネなネットワーク制御基盤技術の 研究開発 大阪大学 村田 正幸 氏	
15:10 - 16:30	ICT-S-2
パネルディスカッション／総務省における取組の紹介／閉会 ●15:10-16:10 パネルディスカッション 「AI・ロボット技術の基礎研究と社会展開・社会実装との橋渡し」 ・パネリスト (株)NTTドコモ 執行役員イノベーション統括部長 栄藤 稔 氏 (株)Preferred Networks 代表取締役社長 最高経営責任者 西川 徹 氏 (株)国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所長 萩田 紀博 氏 ・モデレータ 公立はこだて未来大学 システム情報科学部 教授 松原 仁 氏 ●16:10-16:30 総務省における取組の紹介 「総務省における研究開発施策の検討状況について」 総務省情報通信国際戦略局技術政策課長 野崎 雅稔 氏 閉会	
104 会議室	
13:00 - 13:50	総務省ICTイノベーションフォーラム2016
国際会議場1階 104 会議室	
13:00 - 13:20	ICT-C-1
SCOPEⅡ／医療・介護・健康 腹腔鏡手術における感覚融合技術を利用したトレーニング及び サポートシステムの研究開発 大阪大学 安藤 英由樹 氏 リアルタイムマイクロ波マンモグラフィの研究開発 神戸大学 木村 建次郎 氏 多自由度遠隔ロボット制御のための少自由度インタフェースの研究開発 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 森本 淳 氏 保育行動理解に基づく保育支援技術の研究開発 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 塩見 昌裕 氏	
13:20 - 13:30	ICT-C-5
SCOPEⅡ／防災 分散システムの耐災害性・耐障害性の検証・評価・反映を行う プラットフォームとビジネスモデルの開発 大阪大学 柏崎 礼生 氏 ソーシャル情報に基づく仮想ネットワーク制御方式の開発 お茶の水女子大学 小口 正人 氏	
13:30 - 13:40	ICT-C-7
SCOPEⅡ／安心・安全を守る情報セキュリティの強化 多変数多項式システムを用いた安全な暗号技術の研究 (公財)九州先端科学技術研究所 安田 貴徳 氏 日欧協調によるマルチレイヤ脅威分析およびサイバー防御の研究開発 奈良先端科学技術大学院大学 門林 雄基 氏	
13:40 - 13:50	ICT-C-9
SCOPEⅡ／放送・コンテンツ 高精細音空間コンテンツのための主観的最適化音空間ディスプレイの研究開発 東北学院大学 岩谷 幸雄 氏 放送通信融合環境による 次世代モバイルビデオオンデマンド配信の研究開発 大阪大学 義久 智樹 氏	
105 会議室	
13:55 - 14:55	総務省ICTイノベーションフォーラム2016
国際会議場1階 105 会議室	
テラヘルツ波による100Gbit/s級リアルタイム無線伝送技術の研究開発 九州大学 加藤 和利 氏 TVホワイトスペース利用のための超広帯域弾性波共振子を用いた 可変フィルタの研究開発 東北大学 田中 秀治 氏 共鳴トンネルダイオードによる高速信号伝送可能な室温テラヘルツ 発振素子の研究開発 東京工業大学 浅田 雅洋 氏 環境認知型超高効率無線センサネットワークの研究開発 電気通信大学 藤井 威生 氏 超高速移動時の無線通信速度向上に向けた受信点移動型等化技術の 研究開発 兵庫県立大学大学院 相河 聡 氏 電波資源有効利用のための包絡線検波を用いたフレーム衝突検出 と衝突抑制制御技術の研究開発 日本電気通信システム株式会社 松本 晃 氏 人と社会インフラが連携する医療ICTネットワークの構築に向けた 人体・伝搬影響適応制御ウェアラブルアンテナとOTA評価方法に 関する研究開発 富山大学 小川 晃一 氏 高周波数帯を活用する端末連携信号処理技術の研究開発 京都大学大学院 村田 英一 氏 次世代移動体通信基地局用超伝導デュアルバンド帯域通過フィルタ の研究開発 山梨大学 関谷 尚人 氏 センサネットワークによる簡易・高効率・高精度ホワイトスペース観測 技術の研究開発 東京農工大学 梅林 健太 氏 データと電力同時伝送のための周波数数共同利用技術の研究開発 静岡大学 猿渡 俊介 氏 ミリ波を活用するヘテロジニアスセルラネットワークの研究開発 大阪大学 阪口 啓氏	
展示会場内ホール 5 Room1	
出展者セミナー	
11:00 - 12:00	展示会場内ホール 5 Room1 EX4-1
VRC三次元デジタル化技術及びサービス (株)VRC 謝 英弟 氏	
14:00 - 15:00	展示会場内ホール 5 Room1 EX4-3
通信放送分野の新技術標準化の動向 (一社)電産産業企画国際部 菅原 健 氏	

10月5日(水)	
コンベンションホール B	
10:00-13:00	特別講演 SP-7
日独シンポジウム コンベンションホール B 日英同時通訳	
-IoT/インダストリー4.0協力 (1) デジタル政策について 経済産業省 大臣官房審議官(IT戦略担当) 竹内 芳明 氏 ドイツ経済エネルギー省 デジタルイノベーション局長 ステファン シュノア 氏	
(2) サイバーセキュリティ政策について 経済産業省 サイバーセキュリティ・情報化審議官 伊東 寛 氏 ドイツプラットフォーム・インダストリー4.0メンバー /シーメンス組込みセキュリティ研究員 ウォルフガングクラースン 氏	
(3) 標準化協力の動向 米国インダストリアル・インターネット・コンソーシアム アーキテクチャタスクグループ共同主査 マーク クロフォード 氏 ロボット革命イニシアティブ協議会 標準化アクション・グループ 専門家 株式会社日立製作所 野中 洋一 氏 経済産業省 大臣官房審議官(製造産業局担当) 三田 紀之 氏	
(4) 研究開発の動向 フ라운ホーファー協会 ソフトウェア・システムエンジニアリング研究所 インダストリアル・データベース・研究プロジェクト長 ジャンジョルジェンズ 氏(ビデオ出演)	
(5) 日独IoT/Industrie 4.0 共同声明の進捗と今後への期待 経済産業省 製造産業局長 糟谷 敏秀 氏 ドイツ経済エネルギー省 産業政策局長 ウォルフガング シェレメート 氏	
14:00 - 17:30	特別講演 SP-9
コンベンションホール B 日英同時通訳	
第5世代移動通信システム(5G) ワークショップ2016	
●開会挨拶 総務省 総務副大臣 あかま 二郎 氏	
●基調講演 5GMF会長 京都大学 特任教授・名誉教授 吉田 進 氏	
●セッション1 「5G実現に向けた国内外の取組」 5GMF総合実証試験推進グループリーダー 株式会社NTTドコモ 先端技術研究所 5G推進室 5G方式研究グループ グループリーダー/主幹研究員 奥村 幸彦 氏 「中国における5G実現に向けた取組」(仮) Huawei Technologies Co., Ltd. CTO, Wireless Network Dr. Wen Tong 「韓国における5G実現に向けた取組」(仮) kt Corporation Senior Manager, Spectrum Technology Team & 5G TTT Network Strategy BU Dr. Seong-Kwan Kim	
●セッション2 「5Gと利活用産業との連携」 「新たなモバイルサービスの展望」(仮) 5GMFアプリケーション委員長 株式会社インフォシティ 代表取締役 岩浪 剛太 氏 「Connected Carの最新動向と5Gへの期待」(仮) トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー ITS企画部 渉外・広報室 担当課長 菅沼 英明 氏 「セキュリティ分野における活用」(仮) 総合警備保障株式会社 執行役員 商品サービス企画部長 桑原 英治 氏 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた期待」 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テック/ロジックサービス局 情報基盤部長 井上 淳也 氏	
●パネルディスカッション ・パネリスト 5GMF技術委員長 大阪大学 三瓶 政一 氏 5GMF総合実証試験推進グループリーダー 株式会社NTTドコモ 先端技術研究所 5G推進室 5G方式研究グループ グループリーダー/主幹研究員 奥村 幸彦 氏 Huawei Technologies Co., Ltd. CTO, Wireless Network Dr. Wen Tong kt Corporation Senior Manager, Spectrum Technology Team & 5G TTT Network Strategy BU Dr. Seong-Kwan Kim 5GMFアプリケーション委員長 株式会社インフォシティ 代表取締役 岩浪 剛太 氏 トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー ITS企画部 渉外・広報室 担当課長 菅沼 英明 氏 総合警備保障株式会社 執行役員 商品サービス企画部長 桑原 英治 氏 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テック/ロジックサービス局 情報基盤部長 井上 淳也 氏	
・モデレーター 5GMF企画委員長代理 株式会社NTTドコモ 先端技術研究所 5G推進室長 中村 武宏 氏	
コンベンションホール A	
14:00 - 17:45	特別講演 SP-10
第四次産業革命 コンベンションホール A 日英同時通訳	
-インダストリー4.0: ドイツ生まれのソリューション ●14:00-14:00 Director General, Industrial Policy Department Federal Ministry for Economic Affairs and Energy 歓迎の言葉 Dr. Wolfgang SCHEREMET ●14:10-14:45 キーノートスピーチ 異次元の見える化と圧倒的な機動力 株式会社ロイヤル・ベルガー 代表取締役社長 長島 聡 氏 ●15:00-16:10 インダストリー 4.0 : 技術的進歩は巨大企業だけのものか? ハイテク・ソリューションが中小企業(SME)にもたらす恩恵とは?	

10月5日(水)

紹介の言葉	
・コーディネーター	在日ドイツ商工会議所 駐日ドイツ商工特別代表 マークウス・シュールマン 氏
ボッシュにおけるコネクテッド・インダストリー	
ボッシュ株式会社 製造総括 取締役専務執行役員 満岡 隆一 氏	
ICTに関する見通し～グローバル生産チェーンの内部化	
SAPジャパン株式会社 IoT/IR4 ディレクター 村田 聡一郎 氏	
Industry4.0 - シーメンスが進めるデジタルエンタープライズ	
デジタルファクトリー/プロセッサとドライブ事業本部 事業本部長 島田 太郎 氏	
●16:25-17:45	
プレゼンテーション&パネLDiscussion コネクテッド・インダストリー	
課題とチャンス：影響、ソリューション、課題 ～相互接続された経済におけるサイバー・セキュリティ。	
・コーディネーター	株式会社ローランド・ベルガー 代表取締役社長 長島 聡 氏
ハードウェアとサイバー・セキュリティ	
インフィニオンテクノロジーズAG チップカード&セキュリティ事業部長 バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー ヨルゲン シュバンコフ 氏	
未来の保険！相互接続された世界における責任者は誰か？	
東京海上日動火災保険株式会社 自動車営業開発部、担当次長(グローバル次世代チーム) 小坂 昇 氏	
パネLDiscussionと質疑応答： グローバルに接続された経済の安全を確保できるか、およびその方法とは？	
・パネリスト	在日ドイツ商工会議所 マークウス・シュールマン 氏 ボッシュ株式会社 満岡 隆一 氏 SAPジャパン株式会社 村田 聡一郎 氏 シーメンス株式会社 島田 太郎 氏 インフィニオンテクノロジーズAG ヨルゲン シュバンコフ 氏 東京海上日動火災保険株式会社 小坂 昇 氏
・モデレータ	株式会社ローランド・ベルガー 長島 聡 氏 W. KLASSEN, Lukas LINKE, Steffen ZIMMERMANN, Thomas WALLOSCHKE Members of the German platform Industrie 4.0
10:00-13:00	電子情報通信学会 (IEICE)
特別シンポジウム 国際会議場2階 コンベンションホールA	
次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術	
10:00-10:15	電子情報通信学会会長あいさつ 一般社団法人電子情報通信学会 会長 佐藤 健一 氏
10:15-10:40	パネリストによる講演 自動運転を可能にする車載センサー技術 パイオニア(株) 自動運転事業開発部 技術研究部 部長 村松 栄治 氏
10:40-11:05	パネリストによる講演 自動走行を可能にする情報処理システム 東京大学情報理工学系研究科 加藤 真平 准教授
11:05-11:30	パネリストによる講演 将来の航空・飛翔体および測位に関する技術 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 小瀬木 滋 氏 電子航法研究所 研究統括監
11:30-11:55	パネリストによる講演 次世代交通・運輸システムを支えるワイヤレス給電技術 京都大学生存圏研究所 篠原 真毅 教授
11:55-12:20	パネリストによる講演 次世代交通・運輸システムにおける通信の役割 電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター 山尾 泰 教授
12:20-12:50	パネLDiscussion
12:50	閉会
201 会議室	
10:00 - 14:45	特別講演
USA Showcase Seminar アメリカ大使館主催セミナー	
201 会議室	
10:00 - 10:45	日英同時通訳 SP-11-1
Vuzix「なぜ欧米で本格導入されるスマートグラスが日本では検証止まりになるのか。」	
ビュージックス コーポレーション 東京支店長 藤井 慶一郎 氏	
11:00 - 12:30	日英同時通訳 SP-11-2
パネLDiscussion SelectUSA ASOA	
・パネリスト ・モデレータ	
Commercial Specialist, US Embassy Tokyo Ms. Junko Chino	
13:00 - 13:45	日英同時通訳 SP-11-3
つながる社会と一つに向かうネットワーク	
コムスコープ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 川田 明 氏	
14:00 - 14:45	日英同時通訳 SP-11-4
Ernst&Young	
Senior Commercial Specialist Mr. Koji Sudo 司会 講演者 アミット・ランジャン 氏	
15:15 - 16:15	コンファレンススポンサー C0-4
IoT難民を救え！ ～何をやればIoTなのか、2020年に向けての次の一手～	
201 会議室 日英同時通訳	
アビームコンサルティング株式会社 デジタルトランスフォーメーションビジネスユニット IoTセクターディレクター 橘 知志 氏	
16:30 - 17:30	CPS/IoTトレンドセッション TR-10
201 会議室 日英同時通訳	
欧州におけるドローン管制システムの標準化・技術動向とノキアのIoTの取り組み	
ノキアモバイルネットワーク ソリューションプロダクトマネージャー パビアレツ セバスチャン 氏 ノキアソリューションズ&ネットワークス株式会社 テクノロジ統括部長 柳橋 達也 氏	

301 会議室		
10:00 - 17:30	特別講演	
CEATEC×産総研 人工知能カンファレンス		
301 会議室		
10:00 - 12:00	SP-12-1	
●10:00 - 10:40	人間と人工知能の関係について：将棋と囲碁を例として 公立はこだて未来大学 副理事長 兼 複雑系知能学科 教授 松原 仁 氏	
●10:40 - 11:20		
データ×AI×協働型経済で社会システムを再定義する！ 九州大学 名誉教授 公益財団法人九州先端科学技術研究所 副所長 村上 和彰 氏		
●11:20 - 12:00	AIとITとシンギュラリティ 東京大学 先端人工知能学教育寄付講座 特任教授 中島 秀之 氏	
13:00 - 13:40		
SP-12-2		
実世界に埋め込まれる人工知能： 日本発の人工知能技術を目指して 産業技術総合研究所人工知能研究センター 研究センター長 辻井 潤一 氏		
14:00 - 14:40	SP-12-3	
ディープラーニング×ものづくりによる日本の戦略 東京大学大学院工学系研究科 特任准教授 松尾 豊 氏		
15:00 - 16:00	SP-12-4	
●15:00 - 15:30	人工知能が創る新たな社会価値 NECデータサイエンス研究所 所長 山田 昭雄 氏	
●15:30 - 16:00		
人工知能技術に対する期待とパナソニックの取組み パナソニック株式会社 先端研究本部 知能化モビリティプロジェクト室 室長 岡村 和男 氏		
16:15 - 17:30	SP-12-5	
パネLDiscussion：日本発、社会実装されていく人工知能 ・パネリスト 辻井 潤一 氏 松尾 豊 氏 山田 昭雄 氏 岡村 和男 氏 村上 和彰 氏 ・モデレータ 尾原 和啓 氏		
302 会議室		
10:00 - 11:00	CPS/IoTトレンドセッション TR-4	
302 会議室 日英逐次通訳		
デジタルトランスフォーメーションとInternet of Things (IoT) フロスト&サリバン ジャパン株式会社 ICTリサーチ部門 ディレクター Mr. Marc Einstein		
11:15 - 12:30	CPS/IoTトレンドセッション TR-15	
302 会議室		
AR(拡張現実)の未来 「セコエブソン×ニュースイッチ」 ・メインスピーカー セコエブソン株式会社 ビジュアルプロダクツ事業部HMD事業推進部長 津田 敦也 氏 ・ゲストスピーカー 諏訪市 観光課係長 片桐 秀樹 氏 諏訪市 観光課係長 小林 世子 氏 諏訪市立高島小学校教諭 大畑 健二 氏 ・モデレータ 日刊工業新聞社 デジタル編集長 ニュースイッチ担当部長 明 豊 氏		
12:45 - 14:45	CS-3	
302 会議室		
ブロックチェーンは何処へ行くのか ～これからの可能性を探して～ ブロックチェーン業界動向～ベンチャー企業動向と成長に向けた考察～ 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 ベンチャーパートナー 菅野 政治 氏 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 金融第1本部 担当部長 下地 俊一 氏 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 情報通信第1本部 新技術推進チーム 課長 五十嵐 知宏 氏		
マイクロソフトが進めるBlockchain as a Serviceについて 日本マイクロソフト株式会社 クラウドプラットフォーム技術部 テクノロジスペシャリスト 廣瀬 一海 氏		
15:15 - 16:15	CPS/IoTトレンドセッション TR-12	
302 会議室		
リアルハプティクス技術が実現する 人機協働による農作業現場 慶應義塾大学 ハプティクス研究センター 特任教授 / 副センター長 永島 晃 氏		
16:30 - 17:30	コンファレンススポンサー C0-2	
302 会議室		
さくらインターネットが取り組むIoT さくらインターネット株式会社 フェロ さくらインターネット株式会社 執行役員 技術本部副部長 小笠原 治 氏 さくらインターネット株式会社 IoT事業推進室 室長 江草 陽太 氏 さくらインターネット株式会社 IoTチーム 山口 亮介 氏 さくらインターネット株式会社 IoTチーム 梶原 淳介 氏		
303 会議室		
11:00 - 12:00	コンファレンススポンサー C0-8	
303 会議室		
ドキュメントの海外展開に携わられている方必見！ IoT時代の海外展開を加速するドキュメント管理・運用メソッド 株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント 増田 徹彰 氏 株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント 徳田 愛 氏 株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント 本多 秀樹 氏		

12:30 - 13:30	JE-2
303 会議室	
ITトレンド調査・クラウド利用動向、 企業内ユーザ部門によるIT投資動向	
一般社団法人 電子情報技術産業協会 ITプラットフォーム事業委員会 委員長 村野井 剛 氏	
一般社団法人 電子情報技術産業協会 プラットフォーム市場専門委員会 香川 弘一 氏	
一般社団法人 電子情報技術産業協会 プラットフォーム企画専門委員会 委員長 三木 和穂 氏	
14:00 - 15:30	JE-3
303 会議室	
自動運転を支える～ダイナミックマップ～ 高精度3次元位置情報共通基盤の構築に向けて	
ダイナミックマップ基盤企画株式会社 代表取締役社長 中島 務 氏	
16:30 - 17:30	JE-4
303 会議室	
ネットワークカメラ監視システムの動向	
一般社団法人 電子情報技術産業協会 監視カメラシステム専門委員会 委員長 鈴木 一義 氏	
10:00 - 17:30	コンファレンススポンサー
304 会議室	
スマートIoT時代に向けたHD-PLCの新たな挑戦	
10:00 - 11:55	CO-10-1
セッション#1: IoT通信技術としてのHD-PLCの新たな挑戦	
HD-PLCアライアンス 会長 荒巻 道昌 氏	
マーケティングWG 議長 安間 敏彦 氏	
技術WG 井形 裕司 氏	
株式会社メガチップス 井入 泰弘 氏	
ローム株式会社 山野 靖展 氏	
13:00 - 14:30	CO-10-2
セッション#2: IoT時代に向けた当社のHD-PLCへの取り組み	
・特別講演 パナソニック株式会社 AVCネットワークス社常務 CTO 高速電力線通信推進協議会 理事長 岡 秀幸 氏	
IoTに最適なHD-PLC組込ソリューション	
・講演者 ミツミ電機株式会社 車載事業部 技術部 安間 敏彦 氏	
IoT実現におけるHD-PLCの活用	
・講演者 株式会社コニカミナコ 常務取締役 長谷川 聡 氏	
標準評価環境を使ったHD-PLCの評価手法	
・講演者 九州計測器株式会社 販促室 室長代理 田中 武海 氏	
14:30 - 15:50	CO-10-3
セッション#3: 高速PLC技術実証研究会とのジョイントセッション	
・特別講演 東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役 高速PLC技術実証研究会 会長 岡本 浩 氏	
パナソニック株式会社 古賀 久雄 氏	
東京電力ホールディングス株式会社 田中 真 氏	
16:30 - 17:25	CO-10-4
セッション#4: スマートIoT時代に向けたHD-PLCのグローバル取り組み	
・特別講演 Board of Governors, IEEE-SA, Progilion社 CEO Jean-Philippe Faure 氏	
台湾/AcBel Polytech Inc. Vincent Chien 氏	
中国/HD-PLCアライアンス 副会長 三宅 隆則 氏	
閉会挨拶及びセミナー総括	
HD-PLCアライアンス 上席副会長 宮崎 富弥 氏 (17:30閉会)	
102 会議室	
10:00 - 17:00	CPS/IoTトレンドセッション TR-9
102 会議室	
NRI テクノロジー・セッション	
●10:00-10:45 NRIが推進するオープンイノベーション	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 グループマネージャー 寺田 知太 氏	
●11:00 - 11:45 顧客と先進技術とともに新しい価値を創る「NRI未来ガレージ」	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 上級システムコンサルタント 山崎 崇生 氏	
●12:00 - 12:45 ブロックチェーンは本当に世界を変えるのか？	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 主任システムエンジニア 松本 雄太 氏	
●13:00 - 13:45 欧米の事例から考えるわが国のFintech	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 グループマネージャー 城田 真琴 氏	
●14:00 - 14:45 モバイルで加速するFintech 時代の決済イノベーション	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 上級研究員 藤吉 栄二 氏	
●15:00 - 15:45 チャットボットによるサービス革新	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 上級研究員 長谷 佳明 氏	
●16:00 - 16:45 VRとARがもたらすビジネスイノベーション	
株式会社野村総合研究所 デジタルビジネス開発部 上級研究員 亀津 敦 氏	
103 会議室	
13:30-16:30	電子情報通信学会 (IEICE)
国際会議場1階 103号室	
社会的問題解決のためのAI・エージェント技術	
13:30-14:30	社会的問題解決のためのAI・エージェント技術 ～新しい合意形成のカタチ～
名古屋工業大学 伊藤 孝行 教授	
14:30-15:30	ソフトウェアによる合意形成支援: 自動交渉技術と先端情報処理技術
東京農工大学 藤田 桂英 准教授	
15:30-16:30	社会的問題解決のためのオープンデータに基づく 高速計算・推論技術
静岡大学 福田 直樹 准教授	
104 会議室	
10:00 - 12:30	CPS/IoTトレンドセッション TR-8
104 会議室 日英同時通訳	
OpenFogカンファレンス ～IoTの普及とメタサイエンスに向けた OpenFogコンソーシアムの最新の取り組み～	
OpenFogコンソーシアム プレジデント ジェフ フェダーズ 氏	

10月5日(水)		
104 会議室		
13:00 - 14:00	CI-3	
最近のHATSにおけるトピックスの紹介 104 会議室		
●通信機器の相互接続性確保に向けて ～高度通信相互接続推進会議(HATS)の最近の活動について～ 沖電気工業株式会社 情報通信事業本部 統括部長 高呂 賢治 氏		
●IP電話網におけるファクシミリ通信の現状 富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社 コントローラ・サービス開発統括部 CTS第二開発部 藤井 秀樹 氏		
●光アクセスシステムの技術動向と相互接続の取り組み ～仮想化を用いた光アクセス技術の動向と 10G級光アクセスシステムの相互接続試験～ 日本電信電話株式会社 アクセスシステム研究所 主幹研究員 グループリーダー 鈴木 謙一 氏		
14:30 - 15:30	CI-4	
Webアクセシビリティ最新動向 104 会議室 ～JIS X 8341-3:2016と障害者差別解消法～ 情報通信アクセス協議会 ウェブアクセシビリティ基盤委員会 委員長 (株式会社インフォアジア 代表取締役) 植木 真氏		
16:00 - 17:00	CI-5	
情報取得における 104 会議室 支援技術の進展と利用シーンの変化 情報通信アクセス協議会 ウェブアクセシビリティ基盤委員会 副委員長 (Cocktailz) 伊敷 政英 氏		
105 会議室		
11:30 - 12:30	CPS/IoTトレンドセッション	TR-13
大きく変わる世界のEntertainment 体験 105 会議室 Dolby Japan株式会社 代表取締役社長 大沢 幸弘 氏		
13:30 - 15:00	CS-4	
IoT/AI時代、ソフトウェアで世界に挑む。 105 会議室 未来を担うスタートアップ企業の発掘。 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長 (前NEDOシリコンバレー事務所 所長) 滝澤 豪 氏 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 専務理事 笹岡 賢二郎 氏		
●CSA/Jスタートアップ支援企業(約10社)によるプレゼンテーション		
15:30 - 17:00	CS-5	
IoT時代に活躍するソフトウェア人材。 105 会議室 高齢者が担う役割とは。 ●15:30-15:50 CSA/J高齢者雇用推進活動について 国土大学 政経学部経済学科 教授 梅澤 隆 氏 ●15:50-16:30 高齢者雇用のガイドラインについて 株式会社国際社会経済研究所 主幹研究員 遊間 和子 氏 ●16:30-17:00 高齢者雇用の今後の取り組み CSA/J人材育成研究会 主査 株式会社ウチダ人材開発センター 常務取締役 富田 伸一郎 氏		
展示会場内ホール5 Room1		
出展者セミナー 展示会場内ホール5 Room1		
11:00 - 12:00	EX5-1	
温度測定の落とし穴～熱設計の課題と対策～ KOA(株) 技術顧問 (株式会社サーマル デザイン ラボ 代表取締役) 国峯 尚樹 氏 KOA(株) 技術インシニアティブ 技術リソースセンター 平沢 浩一 氏		
12:30 - 13:30	EX5-2	
RFIDやSAWを利用した、新しいWireless Batterylessの 105 会議室 センシング技術 オーウエル(株) エレクトロニクス部 金 賢基 氏 オーウエル(株) 鶴久 保仁 氏		
14:00 - 15:00	EX5-3	
QR Translatorが変革する多言語調査の世界 (株)PUIN 取締役 松本 恭輔 氏		
展示会場内ホール3 Room2		
出展者セミナー 展示会場内ホール3 Room2		
11:00 - 11:30	EX5-5	
香港市場と香港エレクトロニクス・フェアのご紹介 香港貿易発展局 東京事務所 桑田 靖章 氏		
14:00 - 15:00	EX5-7	
IT機器を利用した最新現場支援システムのご紹介 ～工場、物流現場 ピッキング作業の効率化とボカヨケ～ (株)アイオイ・システム営業部		

10月6日(木)		
コンベンションホール B		
10:00 - 11:00	特別講演	SP-19
ICTIによる成長戦略 コンベンションホール B 日英同時通訳		
総務省 情報通信国際戦略局 局長 谷脇 康彦 氏		
11:15 - 11:55	CPS/IoTトレンドセッション	TR-7
コンベンションホール B 日英同時通訳		
OpenFogコンソーシアム基調講演: フォグコンピューティング革命、加速するIoTの実現について ネビオロテクノロジー・ファウンダーCEO フラビオ ボノミ 氏		
12:05 - 12:45	CPS/IoTトレンドセッション	TR-14
コンベンションホール B 日英同時通訳		
IoTの相互運用性をグローバルで推進する インダストリアル・インターネット・コンソーシアム 一般社団法人日本OMG 代表理事/ IIC セル・リプレゼンタティブ・ジャパン 吉野 晃生 氏		
13:00 - 15:00	特別講演	SP-21
クラウド世界におけるサイバーセキュリティに關しての 政府の役割の再定義 201 会議室 日英同時通訳		
●13:00-14:00 サイバーセキュリティとクラウドサービス 斎藤 ウィリアム 浩幸 氏		
●14:00-15:00 パネリディスカッション 東京2020-IoT時代の最初のオリンピックのサイバー・セキュリティ ・司会 インテル株式会社 Scott Jarkoff 氏 ・パネリスト シスコ システム合同会社 Riley Repko 氏 Darktrace Japan株式会社 John Kirch 氏 Palo Alto Networks 株式会社 松原 実穂子 氏 ・総司会者 アメリカ大使館商務部上席商務官 エリック・キッシュ 氏		
15:30 - 17:30	IE-5	
コンベンションホール B 日英同時通訳		
スマートハウス2016～世界動向と国内動向～ ・パネリスト 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 佐野 究一郎 氏 JSCAスマートハウスビル標準事業促進検討会 副座長 (神奈川工科大学) 一色 正男 氏 一般社団法人 エコネットコンソーシアム 専務理事 児玉 久 氏 一般社団法人 電動車両電力供給システム協議会 代表理事 島岡 国康 氏 新電力おおいの株式会社 代表取締役 山野 健治 氏 IEC Smart Energy Chairman EDF Smart Energy Standardization VP Mr. Richard Schomberg ・モデレータ JSCAスマートハウスビル標準事業促進検討会 副座長 (慶應義塾大学) 梅嶋 真樹 氏		
コンベンションホール A		
10:00 - 12:30	IE-6	
コンベンションホール A 日英同時通訳		
健康・医療の周辺におけるデータ活用・カンファレンス		
●開会挨拶 ・講演者 JEITA CPS/IoT推進タスクフォース 主査 二挺木 克洋 氏		
●データ活用が「ヘルスケア」を変える 人口減少社会に不可欠な医療提供体制の効率化とデータ活用について 国際医療福祉大学 医療福祉学部 学部長、教授 高橋 泰 氏		
●データ活用が「政策」を変える (1) 健康・医療情報を活用した行動変容促進事業について 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課長 江崎 禎英 氏		
●データ活用が「政策」を変える (2) レセプト情報・特定健診等情報データベースの活用について 厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課 保険システム高度化推進室長 赤羽根 直樹 氏		
●データ活用が「地域医療」を変える (1) 地域医療の充実を目指す「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」について 香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授 一般社団法人 日本遠隔医療学会 会長 原 量宏 氏		
●データ活用が「地域医療」を変える (2) 大船波市、陸前高田市、住田町をつなぐ「未来がなえネット」について 岩手県立大船波病院長 一般社団法人 未来がなえ機構 理事 伊藤 達朗 氏		
●データ活用が「ライブ」を変える モバイルヘルス&アプリの世界最新動向について 株式会社スガールズ 代表取締役 ヘルスbizウォッチ 編集主幹 大川 耕平 氏		
●パネリディスカッション ・モデレータ 株式会社スガールズ 代表取締役 ヘルスbizウォッチ 編集主幹 大川 耕平 氏 ・パネリスト 香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授 一般社団法人 日本遠隔医療学会 会長 原 量宏 氏 岩手県立大船波病院長 一般社団法人 未来がなえ機構 理事 伊藤 達朗 氏 JEITA CPS/IoT推進タスクフォース委員 ヘルスケアITイノベーション研究会主査 鹿妻 洋之 氏		
●開会挨拶 ・講演者 JEITA CPS/IoT推進タスクフォース 副主査 亀尾 和弘 氏		

14:00 - 17:30	特別講演	SP-20
コンベンションホール A 日英同時通訳		
IoT、AI活用による地域活性化		
●14:00-14:10 ご挨拶		
●14:10-15:00 地域ニーズに沿ったAI活用への挑戦 ～株式会社エルプスによる社会性エージェントサービス～ TIS株式会社 フェロー 戦略技術センター長 油谷 実紀 氏 兼 株式会社エルプス 副社長		
●15:00-15:50 IoTで変わる働き方、ファシリティ、働く場へ生産性向上のための環境コントロールへ 株式会社内田洋行 スマートビル事業推進部 部長 山本 哲之 氏		
●16:05-16:45 IoTを活用したビジネスの創出 ～地域活性化のためのサービスデザイン～ 株式会社テックファーム 取締役 シヴァグル・パンディアン 氏		
●16:45-17:25 IoTと地方自治体～災害対策を含めた課題解決～ ITbook株式会社 妹尾 暁 氏 主催: 日本経済新聞社クロスメディア営業局 CEATEC JAPAN 実施協議会 協賛: TIS、BMW、内田洋行、テックファーム、ITbook		
201 会議室		
10:00 - 12:30	CPS/IoTトレンドセッション	TR-16
ADASから自動運転へ、 201 会議室 日英同時通訳 その先を見つめる ストラテジー・アナリティクス オートモティブ市場調査部門 シニアアナリスト、サービスディレクター イアン・リッチズ 氏		
13:00 - 15:00	IE-7	
JEITA CE部会セミナー 2016 201 会議室 ～放送サービスの高度化に関する最新動向と展望～ ●4K・8Kロードマップの進捗状況 総務省 情報流通行政局放送技術課長 久恒 達宏 氏 ●放送サービスの高度化と「これからのテレビ」 NHK放送文化研究所 メディア研究部 主任研究員 村上 圭子 氏 ●HDRとOLEDはいかにディレクターズ・インテンションを再現するか。 オーディオ・ビジュアル評論家 津田塾大学/早稲田大学講師 麻倉 伶士 氏		
15:30 - 17:00	IE-8	
ハイレゾ セミナー 201 会議室 ●アーティストとプロデューサーを交えた「ハイレゾ トークショー」 井筒 香奈江(シンガー) 氏 堀部 公史(SCHOP☆RECORDS、音楽プロデューサー) 氏 黒澤 拓(e-onkyo music、ディレクター) 氏 ●音楽の入口から出口まで全てを手掛けるハイレゾ・バリューチェーンの紹介 株式会社ヤマミュージックメディア コンテンツ配信部 サービス運営グループ 田中 威志 氏		
301 会議室		
10:00 - 17:10	特別講演	
CEATEC×産総研 人工知能カンファレンス～Pavilion Day～ 301 会議室		
10:00 - 10:40	日英同時通訳	SP-22-1
パビリオンセッション: データの民主化による第4次産業革命 株式会社リクルートホールディングス Recruit Institute of Technology推進室 室長 石山 洸 氏 DataRobot Inc. CEO Jeremy Achin 氏		
11:00 - 11:40		SP-22-2
パビリオンセッション: IoTのエンジンとなるディープラーニング 株式会社 Preferred Networks 代表取締役社長 最高経営責任者 西川 徹 氏		
13:00 - 13:30		SP-22-3
パビリオンセッション: 人工知能を活用した医療診断・治療と製薬研究 エルピクセル株式会社 代表取締役 島原 佑基 氏		
13:45 - 14:15		SP-22-4
パビリオンセッション: ファームノートの挑戦 Internet of Animals で切り拓くこれからの農業 株式会社ファームノート 代表取締役 小林 晋也 氏		
14:30 - 15:00		SP-22-5
パビリオンセッション: FiNCウェルネスAI 株式会社FINC 取締役・CTO 南野 充則 氏		
15:15 - 15:45		SP-22-6
パビリオンセッション: 事例で学ぶデータ×テキスト×ペイジアンネットワーク 株式会社NITデータ数値システム		
16:00 - 17:10		SP-22-7
●16:00 - 16:30 パビリオンセッション: 次世代人工知能技術開発における 確率モデリングへ人と相互理解できるAIの社会実装へ 産業技術総合研究所人工知能研究センター 副センター長 本村 陽一 氏 ●16:30-17:10 特別講演: AI×データはビジネスをどう変えるか? ヤフー株式会社 チーフストラテジーオフィサー 安宅 和人 氏		

10月6日(木)

302 会議室	
10:00-11:00	JE-9
「超スマート社会」を創ろう！ ～超スマート社会コンセプト “Software Defined Society”の実装に向けて～ 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) スマート社会ソフトウェア委員会 委員長 千村 保文 氏	
11:30-12:30	JE-10
組込み系ソフトウェア開発のモデリング ～モデリングを成功させるには～ 沖電気工業株式会社 情報通信事業部 ソフトウェアセンター ソフトウェアエンジニアリング部 シニアスペシャリスト/エバンジェリスト 五味 弘 氏	
15:00 - 17:00	CI-6
『つながる社会と情報通信法令』 — 技術基準認証制度に関する最新動向と市場監視 — ●我が国における無線設備の技術基準認証制度の最新動向 総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課 認証推進室 課長補佐 今井 力 氏 ●我が国における電気通信端末機器の基準認証制度 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信技術システム課 課長補佐 丸山 誠二 氏 ●欧州無線機器指令(RED)の動向 株式会社 UL Japan コンシューマーテクノロジー事業部 グローバルマーケティングセクター 山崎 亜沙美 氏 ●一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 適合性評価委員会の活動等について 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 適合性評価委員会(株式会社東芝) 委員長 室井 保彦 氏	
12:45 - 14:45	特別セッション TR-20
身近なIoTプロジェクト 302 会議室 ●12:45-14:45 IoT／ビッグデータ／AIの推進に向けて ・講演者 総務大臣 金子めぐみ 氏 ●13:05-13:25 IoTによるイノベーションに必要なコト ・講演者 株式会社NTTドコモ執行役員 イノベーション統括部長 栄藤 稔 氏 ●13:30-14:45 「身近なIoT」推進に関するパネルディスカッション ・モデレータ 大阪大学 サイバーメディアセンター 教授 下條 真司 氏 ・スピーカー 一般社団法人EDAC 理事長・代表理事 稲田 悠樹 氏 株式会社HAROID 代表取締役社長 安藤 聖泰 氏 株式会社つくばウェルネスリサーチ 代表取締役社長 筑波大学 教授 久野 譜也 氏 一般社団法人東松島みらいとしま 企業連携部 マネージャー 株式会社NTTドコモ 執行役員イノベーション統括部長 栄藤 稔 氏	
303 会議室	
9:30 - 17:40	特別講演
第6回 日欧国際共同研究シンポジウム 303 会議室 日英同時通訳	
9:30 - 12:40	SP-31-1
全体会合	
14:00 - 17:40	SP-31-2
IoT/スマートシティ特別セッション	
304 会議室	
11:00 - 12:00	コンファレンススポンサー C0-20
事例で学ぶ、 わかりやすいIoTプロジェクトの進め方 304 会議室 株式会社エスキュービズム・テクノロジー 代表取締役社長 武下 真典 氏	
12:15 - 13:15	CPS/IoTトレンドセッション TR-11
なぜイノベーションにつまずくのか ～経営と現場視点の融合で生み出す最強の企業改革 304 会議室 株式会社VSN 代表取締役社長 兼 アダコ株式会社 代表取締役社長 川崎 健一郎 氏	
14:00 - 15:00	コンファレンススポンサー C0-21
グローバル競争を勝ち抜く！ 「IoT時代のドキュメント管理・運用」セミナー 304 会議室 株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント 安岡 仁之 氏 株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント 安田 純 氏	
15:30 - 16:30	CPS/IoTトレンドセッション TR-17
「異業種からのものづくり」 IoT開発での事業の立ち上げ」 ～あるハードウェアスタートアップの取り組み～ TEMARI 代表 歌野 真理 氏	
102 会議室	
10:00-17:00	CPS/IoTトレンドセッション
10:00 - 11:00	102 会議室 TR-18-1
FashionTechの概観～日本と世界のFashionTech～ ～日本と世界のFashionTech～ トーマツベンチャーサポート株式会社 事業開発部 Morning Pitch総合プロデューサー 納富 隼平 氏 スタイラー株式会社 代表取締役CEO 小関 翼 氏	

11:30 - 12:30	TR-18-2
製造小売×FashionTech「FashionTechに学ぶ、製造小売のデジタル革命」 ライフスタイルデザイン(株) 代表取締役 森雄一郎 氏 (株)knot 代表取締役 遠藤 弘満 氏	
13:00 - 14:00	TR-18-3
オムニチャネル×FashionTech「メーカーにも求められるオムニチャネル戦略～FashionTechに学ぶユーザとのコミュニケーション～」 STYLER 代表取締役 小関 翼 氏 (株)オーディーエス 執行役員 マーケティング部長 小橋 重信 氏 株式会社バリオ・シティ シニアコンサルタント 唐笠 亮 氏 ジャパンエコマースコンサルタント協会IECCICA 特別講師	
14:30 - 15:30	TR-18-4
ウェアラブルIoT × FashionTech 「海外で進むファッションIoTの事例紹介」 トーマツベンチャーサポート(株) 事業開発部 ライフスタイル・FashionTech担当 納富 隼平 氏 ・モデレータ Difa 本部長・総支配人(GM) 水谷 博明 氏	
16:00 - 17:00	TR-18-5
VR × Fashion「VRの世界で進むファッション体験」 (株) Psychic VR Lab Senior Engineer 八幡 純和 氏	
103 会議室	
10:00-17:00	電子情報通信学会 (IEICE) 国際会議場1階 103号室
ICTスマートグリッド技術研究会 「IoTが創り出すシェアリングビジネス最先端」 一人の流れ、モノの流れが変わるー 10:00-13:00 EIC-3 IoT時代に向けた持続可能な自治体経営について 株式会社ホープ 代表取締役社長 時津 孝康 氏 21世紀型地域互助システムの実現に向けて 株式会社エニタイムズ 代表取締役 CEO 角田 千佳 氏 不動産シェアリングビジネス最前線 株式会社スペースマーケット 代表取締役 CEO 重松 大輔 氏 シェアリングの本質と成功原理 早稲田大学 商学部教授 / IT戦略研究所長 根来 龍之 氏 パネル討論「シェアリングが導くIoTの世界」 ・モデレータ ICT-SG技術研究会実行委員長 (早稲田大学, ICPS) 曾根高 則義 氏 電子情報通信学会 東京支部シンポジウム IoT普及への課題と期待 ービジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードルー 14:00-16:50 EIC-4 スマートメーターシステムの実用化動向と今後の展望 三菱電機(株) 渋谷 昭宏 氏 社会インフラシステムにおける無線マルチホップ通信技術の適用事例 沖電気工業(株) 野崎 正典 氏 IoTの社会実装に向けたモノ向け無線通信技術の取組み 日本電信電話(株) 吉野 修一 氏 IoT本格化に向けたキャリアネットワークへの取組み NEC SDN/NFV マネージャ 松田 尚久 氏 IoTシステムにおけるデータ収集技術開発に対する取組み (株)日立製作所 石井 大介 氏	
104 会議室	
10:00-17:00	電子情報通信学会 (IEICE) 国際会議場1階 104号室
萌芽のコンピュータシステム研究展示会 10:00-16:00 ポスター・デモセッション 酸化物半導体シナプス素子を用いた 自己学習アナログ型ホップフィールドネットワーク 奈良先端科学技術大学院大学 亀田 友哉 氏 能谷大学 木村 睦 氏 奈良先端科学技術大学院大学 中島 康彦 氏 深度カメラを利用した直感的な文字入力インターフェースの提案 東京大学 土井 秀信 氏 東京大学 入江 英嗣 氏 東京大学 坂井 修一 氏 セキュアプロセッサを用いたマルチプロセッサシステムの設計 東京大学 梶原 拓也 氏 東京大学 宮永 瑞紀 氏 東京大学 入江 英嗣 氏 東京大学 坂井 修一 氏 小規模IoT機器向けマイクロプロセッサPilafのためのマクロアセンブラの開発 広島市立大学 寺本 圭吾 氏 広島市立大学 胡濱 良樹 氏 広島市立大学 窪田 昌史 氏 広島市立大学 谷川 一哉 氏 広島市立大学 弘中 哲夫 氏 A GPU Implementation of Eigenvalue Computation for a Large Number of Matrices Mr.Hiroki Tokura・Mr.Takumi Honda・Mr.Yasuaki Ito Mr.Koji Nakano・Mr.Mitsuya Nishino・Mr.Yushiro Hirota Mr.Masami Saeki (Hiroshima Univ.) A Loss-Less Data Compression Algorithm for GPUs Mr.Shunji Funasaka・Mr.Koji Nakano Mr.Yasuaki Ito (Hiroshima Univ.) FPGAとカメラ画像を用いた802.11ah物理層の動作検証システム 奈良先端科学技術大学院大学 加藤 大真 氏 奈良先端科学技術大学院大学 トラン ディー ホン 氏 奈良先端科学技術大学院大学 中島 康彦 氏 ライトフィールド動画の符号化配信ソリューションの検討 奈良先端科学技術大学院大学 嶋谷 知氏 奈良先端科学技術大学院大学 三谷 剛正 氏 奈良先端科学技術大学院大学 中島 康彦 氏 interconnected-FPGAによる並列分散集約システム 電気通信大学 川原 尚人 氏 電気通信大学 吉見 真聡 氏 電気通信大学 策力 木格 氏 電気通信大学 吉永 努 氏	

Androidクラスタにおける動的構成変更に伴うタスク再配置と通信の効率化 宇都宮大学 澤田 祐樹 氏 宇都宮大学 重信 晃太 氏 宇都宮大学 杉山 裕紀 氏 宇都宮大学 大津 金光 氏 宇都宮大学 大川 猛 氏	
IoT機器に向けた不揮発性メモリセキュリティ技術の提案 ～メモリ内蔵MCUおよび汎用プロセッサ向けの保護機構～ (株)東芝 橋本 幹生 氏 (株)東芝 天沼 佳幸 氏 (株)東芝 梅澤 健太郎 氏 (株)東芝 小池 竜一 氏 (株)東芝 金井 遵 氏 (株)東芝 山田 菜穂子 氏	
ディーブラーニング向けアクセラレータアーキテクチャのFPGA実装 東京大学 林 遼 氏 東京大学 森下 真幸 氏 東京大学 高田 遼 氏 東京大学 坂本 龍一 氏 東京大学 近藤 正章 氏 東京大学 中村 宏 氏	
津波シミュレーション専用計算機のループラインモデルと次世代FPGAの性能評価 東北大学 長洲 航平 氏 東北大学 佐野 健太郎 氏	
LinuxにおけるI/Oプロトコルスタックの改良動向と 共有ストレージ装置における性能評価 (株)日立製作所 佐藤 功人 氏 (株)日立製作所 近藤 雄樹 氏 (株)日立製作所 清田 雄策 氏 16:30-17:00 ●表彰式	
105 会議室	
10:30 - 12:00	CPS/IoTトレンドセッション TR-19
105 会議室 “Dynamic Smart & Eco Village with Mobile Nomadic Residential House for future “Aging Society” ・講演者 トランスベアレントクラウドコンソーシアム 代表 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 江崎 浩 氏 株式会社ミサワホーム総合研究所 環境エネルギーセンター 環境創造研究室 飯島 雅人 氏 ランドイス&ギア ジャパン株式会社 システムアーキテクト 柴田 伸一 氏 ・ゲスト登壇者 フォーアールエナジー株式会社 フェロロ 二見 徹 氏	
13:00-17:00 電子情報通信学会 (IEICE) 国際会議場1階 105号室	
電子ディスプレイシンポジウム -人間と情報のインターフェイス- EIC-6 電子ディスプレイシンポジウム 人間と情報のインターフェイサー 交通安全環境研究所 森田 和元 氏 ヒューマンファクタの観点からみた車載ディスプレイ 能谷大学 外村 佳伸 氏 マルチモーダル インタラクティブ インターフェイス 富士ゼロックス 柴田 博仁 氏 認知科学的視点から見たディスプレイ 大阪大学 八木 哲也 氏 網膜模倣エレクトロニクスとその応用 三菱プレジジョン 練尾 正美 氏 シミュレーションシステムの映像とディスプレイ	
IoT 推進ラボ IoT Lab Connection	
13:00 - 15:45	IoT推進ラボ IoT Lab Connection IoT-T1
IoT 推進ラボ IoT Lab Connection ●13:00-13:45 イスラエルのエコシステム概況 在イスラエル日本国大使館 経済担当 書記官 松本 理恵 氏 独立行政法人日本貿易振興機構 知的財産・イノベーション部 イノベーション推進課長 奈良 弘之 氏 ●13:45-14:45 イスラエルベンチャーによるPitch① 5社×約10分 ファシリティ: トーマツベンチャーサポート(株) 森 主門 氏 ●14:55-15:45 イスラエルベンチャーによるPitch② 2社×約10分 ファシリティ: トーマツベンチャーサポート(株) 森 主門 氏	
展示会場内ホール 5 Room1	
出展者セミナー 展示会場内ホール 5 Room1	
11:00 - 12:00	EX6-1
次世代ビーコンの可能性 (株)WHERE 代表取締役 丸田 一 氏	
12:30 - 13:30	EX6-2
IoTと暗号化セキュリティクラウドの連携活用について (株)ソフトエッジエンシー 代表取締役 立岡 佐到士 氏	
14:00 - 15:00	EX6-3
ストラドビジョンの世界技術評価でNo.1の性能を実現する対象物認識ソフト ストラドビジョン CEO Juhwan Kim 氏	
15:30 - 16:30	EX6-4
3D触力覚技術のVR・ARおよびIoTへの応用 (株)ミライセンス	
展示会場内ホール 3 Room2	
出展者セミナー 展示会場内ホール 3 Room2	
14:00 - 15:00	EX6-7
不可能だった測定を可能にする光絶縁、 高CMRRの広帯域プローブ テクトロニクス 営業技術統括部 宮崎 強 氏	

10月7日(金)

コンベンションホール B		
10:10 - 12:30		JE-11
コンベンションホール B		日英同時通訳
期待される「自動走行システム」の実用化とは？		
●10:10-10:45	ソフトバンクの自動運転サービスへの挑戦 SBドライブ株式会社 代表取締役社長/CEO 佐治 友基氏	
●10:45 - 11:20	自動運転自動車の市街地における公道走行実験の概要とその成果 金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニット ユニトリリーダー 准教授 菅沼 直樹氏	
●11:20 - 11:55	自動運転実現に向けたサイバーセキュリティの重要性 内閣府 本府 参与 齋藤 ウィリアム 浩幸氏	
●11:55 - 12:30	リアルタイム心拍変動解析技術を用いたドライバ状態推定 - 発作・居眠り運転による事故を防ぐ 京都大学大学院 情報学研究科 システム科学専攻 ヒューマンシステム論分野 助教 藤原 幸一氏	
13:00 - 16:30	CPS/IoTトレンドセッション	TR-27
コンベンションホール B		日英同時通訳
オートモーティブ・セキュリティ・ソフトウェア最新動向		
●13:00-14:00	自動車業界におけるサイバーセキュリティの潮流と SAEの自動車セキュリティ・テストの標準化動向 日本シノプス合同会社 ソフトウェア・インテグリティ・グループ ビジネス・ディベロップメント ディレクター Chang Kyu Kim氏	
●14:00-14:45	クルマの情報セキュリティと JASPAR の 最新取り組み状況について 一般社団法人 JASPAR 運営委員長、情報セキュリティ技術ワーキンググループ 主査 株式会社 本田技術研究所 四輪R&Dセンター 統合制御開発室 第4ブロック 主任研究員 橋本 寛氏	
●15:00-15:45	コネクテッド時代における自動車のセキュリティ技術 パナソニック株式会社 先端研究本部 知能化モビリティプロジェクト室 セキュリティ技術研究課 課長 IEEE Computer Society Kansai Chapter Secretary 大阪市立大学非常勤講師 松島 秀樹氏	
●15:45-16:30	現実問題となっている自動車ハッキングに対する防御 Synopsis, Inc. Software Integrity Group Principle Security Engineer of Strategic Initiatives Chris Clark氏	
コンベンションホール A		
10:00 - 12:00	特別講演	SP-23
コンベンションホール A		日英同時通訳
アメリカ大使館主催キーノートセッション2		
●新たなエクスペリエンスの時代へ -最新テクノロジーによる卓越した顧客体験が新しい価値を創る-	アドビシステムズ株式会社 代表取締役社長 佐分利 ユージン氏	
●デジタルマーケティングテクノロジーを活用した サイバーセキュリティの最新動向	・スピーカー アドビシステムズ株式会社 専務執行役員 鈴木 和典氏 ・司会 Senior Commercial Specialist Mr. Koji Sudo	
●2020年東京オリンピックに向けてのサイバーセキュリティの課題	インテル株式会社 スコット ジャーカフ氏	
12:30-14:00		JE-12
コンベンションホール A		日英同時通訳
CPS/IoTが抱えるリスクと5年後の姿		
●IoTが抱えるプライバシーリスクとパーソナルデータの利活用	国立情報学研究所 教授 佐藤 一郎氏	
●安全・安心な社会の核となるIoT	セコム株式会社 常務執行役員 IS研究所 所長 小松崎 常夫氏	
14:15 - 15:45		JE-13
コンベンションホール A		日英同時通訳
FinTech 最前線～ CPS/IoTで変わる金融の世界 ～		
●人工知能時代に向けた、金融ビジネスと人の進化	楽天株式会社 楽天技術研究所 楽天株式会社執行役員 兼 楽天技術研究所代表 森 正弥氏	
●金融機関のオープン化が示す未来の可能性	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ デジタルイノベーション推進部 シニアアナリスト 藤井 達人氏	
●IoTが金融ビジネスにもたらす変化	株式会社三井住友フィナンシャルグループ I/Oイノベーション推進部 オープンイノベーショングループ 部長代理 平手 佑季氏	

16:00 - 17:00	CPS/IoTトレンドセッション	TR-31
コンベンションホール A		
Bluetooth -The IoT is Blue: Bluetoothが変える私たちの生活		
Bluetooth SIG, Inc. アジア太平洋地域 テクニカル プログラム マネージャー カイ レン氏 株式会社 東芝 ストレージ& デバイスソリューションズ 半導体研究開発センター ワイヤレスシステム開発部 足立 克己氏 Bluetooth SIG Board 丸田 一氏		
●メッシュネットワーク型ビーコン「EXBeacon」が拓くTAN 株式会社WHERE IoT基盤センター 代表取締役 丸田 一氏		
201 会議室		
13:00-17:05	VCCI International Forum Program 2016	日英同時通訳
13:00 - 13:10	“VCCI Update”	Director, VCCI Council Mr. Akira Oda
13:10 - 14:00	"European legislation on electrical equipment: a stakeholder friendly approach"	Director Industrial Transformation and Advanced Value Chains DG for Internal Market, Industry, Entrepreneurship and SME's European Commission EU Mr. Gwenole Cozigou
14:00 - 14:50	"ACMA regulatory arrangements and recent developments".	Senior Policy Officer Technical Regulation and NBN Section Operations, Technologies and Services Branch Australian Communications and Media Authority (ACMA) Australia Mr. Cuong Nguyen
15:10 - 16:00	Coffee break	
15:10 - 16:00	Customs Union Technical Regulations on "Safety of Low-Voltage Equipment" and "Electromagnetic Compatibility of Technical Devices"	Procedures, standards, schemes Mr. Sergey Smirnov GOST Custom Union
Q&A	Q&A Hosted by Mr. Yukio Uchida (Chairman of VCCI IRSC)	
15:10 - 16:00	Appreciation to the guests and wrap up	
301 会議室		
10:00 - 11:00	CPS/IoTトレンドセッション	TR-6
実世界の人工知能～交通、製造業、バイオヘルスケア～		
株式会社 Preferred Networks 最高戦略責任者 丸山 宏氏		
11:15 - 12:15	CPS/IoTトレンドセッション	TR-33
IoT、スマートデバイスが社会を動かすために必要なことは？ 成功するユースナリオを描くための共創アプローチ		
・パネリスト 株式会社ABBALab 代表取締役 さくらインターネット株式会社 フェロー 京都造形芸術大学 顧問 小笠原 治氏 金山 淳吾氏		
・モデレータ レボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 NECパーソナルコンピュータ株式会社 代表取締役 執行役員社長 留目 真伸氏		
13:00-14:30	JE-14	301 会議室
JEITA 国際戦略・標準化セミナー ～つなげる社会を実現するCPS/IoTソリューションと標準化～		
●来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境国際電気標準課 課長補佐 島山 孝氏		
●基調講演「IoT時代の国際標準化」 東京電機大学 学長 安田 浩氏		
●ヘルスケア分野におけるIoT利活用の動向 青森公立大学 経営経済学部 地域みらい学科 准教授 木暮 祐一氏		
●自動運転用高度化地図データエコシステムの標準化推進 バイオニア株式会社 自動運転事業開発部 戦略統括部長 小川 和也氏		
●スマートマニファクチャリング標準化戦略 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 製造技術研究部門 副研究部門長 加納 誠介氏		
15:00-17:00	JE-15	301 会議室
第12回 JEITA デザインフォーラム 「人とAIの関わりをデザインする」		
IDEO Tokyo Design Director 石川 俊祐氏 リクルート Recruit Institute of Technology 推進室室長 石山 洸氏		

302 会議室		
10:00 - 12:00	特別講演	SP-24
明日のMONOZUKURI ～産業界連携によるインダストリーIoT～		
・パネリスト 一般社団法人日本電機工業会 スマートマニファクチャリング特別委員会 委員長 松隈 隆志氏 一般社団法人日本電気制御機器工業会 第4次産業革命検討WG 主査 葉山 陽一氏 一般社団法人日本電気計測器工業会 IEC TC65国内委員会 小田 信二氏 スマートマニファクチャリング戦略検討委員会 委員 水上 潔氏 ・モデレータ ロボット革命イニシアティブ協議会 インダストリアルIoT推進統括		
13:00 - 15:30	JE-16	302 会議室
CEATEC JAPAN 2016 学生向け業界研究セミナー 「IT・エレクトロニクス業界の魅力と貢献」		
●IT・エレクトロニクス業界とは 一般社団法人 電子情報技術産業協会		
●IoT時代の社会イノベーションを加速する日立ICT事業の取り組み 株式会社日立製作所 ICT事業統括本部 経営戦略統括本部 事業戦略本部 戦略企画ユニット 部長 柴田 淳司氏		
●スポーツにおけるICT 富士通株式会社 スポーツ・文化イベント推進本部 イベントビジネス推進統括部 シニアマネージャー 伊藤 健一氏		
●お客様の「夢」をかなえるYOKOGAWAのイノベーションテクノロジー 横河電機株式会社 マーケティング本部イノベーションセンター研究開発部 部長 加藤 暁之氏		
●IoTを支えるスマートセンサ アルプス電気株式会社 技術本部 第9技術部長 渡邊 順氏		
16:00 - 17:00	コンファレンススポンサー	C0-5
さくらのIoT Platform β 徹底解剖！		
さくらインターネット株式会社 フェロー 小笠原 治氏 さくらインターネット株式会社 執行役員 技術本部副部長 江草 陽太氏 さくらインターネット株式会社 IoT事業推進室 室長 山口 亮介氏 さくらインターネット株式会社 IoTチーム 棚座 淳介氏		
303 会議室		
10:00 - 11:00	CPS/IoTトレンドセッション	TR-35
ローカルテレビ局がイノベーションで『地産全消』を実現！突破できるプロデュース戦略とは		
●第一部、ローカルテレビ局がイノベーションで『地産全消』を実現！突破できるプロデュース戦略とは 広島テレビ放送株式会社 コンテンツ本部 編成局 イノベーション事業部 クロスメディアプロデューサー 益村 泉月珠氏		
●第二部、テレビ局30社が連携する「子育て応援団」が、医療ICTを活用した新たなビジネスモデルを発表 広島テレビ放送株式会社 コンテンツ本部 編成局 イノベーション事業部 クロスメディアアシスタントプロデューサー 濱野 純一郎氏		
●第三部、ICT/IoTを活用して、予防接種による医療事故防止を目指す 広島テレビ放送株式会社 コンテンツ本部 編成局 イノベーション事業部 クロスメディアプロデューサー 益村 泉月珠氏		
11:15 - 12:15	CPS/IoTトレンドセッション	TR-36
日本におけるIoTの未来と脅威		
アビームコンサルティング株式会社 製造ビジネスユニット 執行役員 プリンシパル 永井 善彦氏		
13:00-15:00	JE-17	303 会議室
最適なエネルギー効率を目指す方法とは？		
●13:00 - 13:30 IoT時代の省エネ・リノベーション～連携制御～ JEITA/制御・エネルギー管理専門委員会 WG1連携制御 横河電機株式会社 マーケティング本部イノベーションセンター マネージャー 福沢 充孝氏		
●13:30 - 14:00 遅れをとり始めた日本のエネルギーマネジメント JEITA/エネルギー管理専門委員会 標準化専門委員会 委員長 横河電機株式会社 マーケティング本部 標準化戦略室 マネージャー 井上 賢一氏		
●14:00 - 14:30 EMSも搭載した水素システム (H2One™) JEITA/グリーンIT委員会 BEMS導入促進WG 株式会社東芝 次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム 河村 好一氏		
●14:30 - 15:00 IoTが加速するスマートオートメーションサービス ～IoTとサービスクラススキームの新結合による価値共創～ JEITA/制御・エネルギー管理専門委員会 WG3サービスビジネスモデル 横河電機株式会社 マーケティング本部イノベーションセンター 秋定 征世氏		

10月7日(金)

15:30 - 16:30	CPS/IoTトレンドセッション	TR-37
ビッグデータを活用した 新たな認証「ライフスタイル認証」		
東京大学 大学院 情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター 特任准教授		山口 利恵 氏

11:00 - 12:00	コンファレンススポンサー	C0-23
ドキュメントの海外展開に携わられている方必見！ IoT時代の海外展開を加速するドキュメント管理・運用メソッド		
株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント		増田 徹弥 氏
株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント		徳田 愛 氏
株式会社ヒューマンサイエンス ドキュメントソリューション部 ドキュメント業務改善コンサルタント		本多 秀樹 氏

12:30 - 14:30	JE-19
AIと知財について	

(1)来賓挨拶	内閣官房 知的財産戦略推進事務局次長	磯谷 桂介 氏
(2)挨拶	一般社団法人電子情報技術産業協会 法務・知的財産権委員会 委員長	戸田 裕二 氏
(3)基調講演「オープンなデータ流通構造に向けた環境整備」	経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 情報政策企画調整官	長谷 弘道 氏
(4)学習済モデルの再利用について	株式会社Preferred Networks 最高戦略責任者	丸山 宏 氏
(5)AIの機械学習と知的財産権に関する課題について	株式会社UEI 代表取締役社長兼CEO	清水 亮 氏
(6)AI時代の産業発展に向けた知財上の課題整理	一般社団法人電子情報技術産業協会 法務・知的財産権委員会 委員長	戸田 裕二 氏
(7)「柔軟性のある規定」の導入の必要性について	一般社団法人電子情報技術産業協会 著作権専門委員会 委員長	神原 美紀 氏
(8)来賓挨拶	衆議院議員	福田 峰之 氏

15:00-17:00	JE-18
世界のIoTサービスの最新動向と日本の取組み	

- 動き出したIoTの実例とエレクトロニクス産業への影響
IHS グローバル株式会社 日本調査部 ディレクター 南川 明 氏
- 環境・インフラ向けセンサーネットワークの課題と実装事例
株式会社富士通研究所
ネットワークシステム研究所 主管研究員 山下 浩一郎 氏

11:00 - 12:30	CPS/IoTトレンドセッション	TR-5
「バリ協定」で加速する蓄電池社会の未来		
・パネリスト 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー部 新エネルギーシステム課長 水素・燃料電池戦略室長		山澄 克 氏
エナリス株式会社 代表取締役社長		村上 憲郎 氏
フォーアールエナジー株式会社 フェロー		二見 徹 氏
明治大学専門職大学院 グローバルビジネス研究科 専任教授		橋本 雅隆 氏
・モデレータ ジャーナリスト		木村 太郎 氏

103 会議室	特別講演	SP-30-2
13:00 - 17:00	103 会議室	日英同時通訳
英国のIoT最新事情		

- 13:15 - 13:35
IoTUK の役割と活動：IoT を推進し経済価値を創出することを
目的とした英国政府が実施するナショナル・プログラム
IoTUK プリンシパル・コンサルタント ポール・イーガン 氏
- 13:35 - 13:55
IoTにおけるセキュリティ、強靱性とプライバシー
ノッティンガム大学 コンピュータ・サイエンス
教授 ディレクター・ボライソン デレック・マコーレー 氏
- 13:55 - 14:15
IoTにおける進化
ケンブリッジ・コンサルタント
技術戦略コンサルタント ティム・ウインチコーム 氏
- 14:15 - 14:35
IoT、パーソナル・データとの融合：その内面を考える
ケンブリッジ大学 コンピュータ研究所
講師 リチャード・モーティア 氏
- 14:45 - 15:05
Vodafone IoT の強み
ボーダフォングローバルエンタープライズ
IoTジャパンカンントリーマネージャー 阿久津 茂郎 氏
- 15:05 - 15:20
多くの学術研究領域を網羅する英国 IoT 研究ハブ - PETRAS
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン IoTリサーチ・ハブ
上席コンサルタント グラサ・カリパロ 氏
- 15:20 - 15:45
モンゴルのヤクからロンドンの宅配便まで、
衛星だけが可能に出来る真のグローバル IoT
インマルサット株式会社エンタープライズ
メディア・トランスポート ディレクター 小池 正治 氏
- 15:45 - 16:05
IoT 領域で最先端技術を提供する英国ベンチャー企業について
英国国際通商省 ベンチャーキャピタルユニット
テクノロジースペシャリスト ロイ・ウィリアムソン 氏
- 16:05 - 16:25
英国の IoT 市場 - 日本企業のグローバル展開の鍵を探る
英国国際通商省 テクノロジースペシャリスト コリン・メーソン 氏

104 会議室	CPS/IoTトレンドセッション	TR-40
10:00 - 11:00	104 会議室	
世界のIoT技術標準化・ビジネスアライアンス動向と注目株		
新世代M2Mコンソーシアム 理事 (株)日立製作所 IoT・クラウドサービス事業部 事業主管		木下 泰三 氏

11:15 - 12:15	CPS/IoTトレンドセッション	TR-41
ソフトロボティクスの世界 ー硬い骨で卵を掴めますー		
慶應義塾大学 ハプティクス研究センター 理工学部教授／センター長		大西 公平 氏

13:00 - 14:30	特別講演	SP-4
フレンチテック リヨン セミナー		

- 13:00 - 13:15
フレンチテックリヨン ご紹介
フランス・リヨンを
- 13:15 - 13:30
フランス・リヨンで開催される IoT 展示会 SIDO ご紹介
SIDO主催者
- 13:30-13:45
フレンチテック東京 ご紹介
フレンチテック東京
- 13:45-14:00
フレンチテックリヨン スタートアップピッチ
ウノズ 副代表 ファブリス コーエン 氏
- 14:00-14:15
フレンチテックリヨン スタートアップピッチ
イヴァ ソフトウェア プロダクトマネージャー ピエール・アラランモワ 氏

14:45 - 15:45	CPS/IoTトレンドセッション	TR-43
氾濫するデータの先にある サイバーセキュリティの未来		
PwCサイバーサービス合同会社 最高執行責任者		星澤 裕二 氏

16:00 - 17:00	CPS/IoTトレンドセッション	TR-44
基礎から学ぶ！ IoT時代に必須のセンサ計測システムに求められていること		
日本ナショナルインスツルメンツ株式会社 マーケティング部 シニアテクニカルマーケティングマネージャー		岡田 一成 氏

105 会議室	特別講演	
10:00 - 17:50	105 会議室	日英同時通訳
第6回 日欧国際共同研究シンポジウム		

10:00 - 13:00	SP-31-3
●パラレルセッション (5G Access/Core Network)	
14:00 - 17:50	SP-31-5

- パラレルセッション
(Advanced technologies for Beyond5G) 全体会合

多目的のルーム	特別講演	
10:00 - 17:50	多目的のルーム	日英同時通訳
第6回 日欧国際共同研究シンポジウム		

10:00 - 13:00	SP-31-4
●パラレルセッション (Advanced technologies for a hyper-connected society including security aspects)	
14:00 - 17:50	SP-31-6

- パラレルセッション (Smart City / Smart Home)

IoT 推進ラボ	IoT Lab Connection	
13:00 - 15:30	IoT推進ラボ IoT Lab Connection	IoT-2

- IoT 推進ラボ IoT Lab Connection
インドスタートアップ動向とIoTインドベンチャーピッチイベント
- 13:00-13:30
インドIoT市場概況と日本企業の投資機会
リブライト・パートナーズ(株) 代表 蛸原 健 氏
- 13:30-14:30
インドベンチャーによるPitch① 5社×約10分
ファシリティ：トーマツベンチャーサポート(株) 西山 直隆 氏
- 13:45-14:45
インドベンチャーによるPitch② 5社×約10分
ファシリティ：トーマツベンチャーサポート(株) 西山 直隆 氏

展示会場内ホール 5 Room1	展示会場内ホール 5 Room1
出展者セミナー	

11:00 - 12:00	EX7-1
QZSS対応次世代高精度多周波マルチGNSS受信機の 開発とライセンス提供 マゼランシステムズジャパン株式会社 代表取締役 岸本 信弘 氏	

12:30 - 13:30	EX7-2
IoTの実現に向けた標準Ethernet規格の拡張版「TSN」 とその動向 日本ナショナルインスツルメンツ(株) マーケティング部 岡田 一成 氏	

14:00 - 15:00	EX7-3
Sonnet emgraphで見るS/パラメータファイルの加工と活用 (有)ソネット技研 石飛 徳昌 氏	

15:30 - 16:30	EX7-4
力を感じる技術が実現する人に優しい人間支援 慶應義塾大学 理工学部 野崎 貴裕 氏	

展示会場内ホール 3 Room2	展示会場内ホール 3 Room2
出展者セミナー	

11:00 - 12:00	EX7-5
EVソリューションを支えるコンデンサの最新技術動向 ニチコン(株) コンデンサ事業本部 事業戦略室 山中和也 氏	
12:30 - 13:30	EX7-6

- データに内在する問題を解決し、適切なデータを
圧倒的なコストパフォーマンス提供する
最強のETLツール『DIX』のご紹介
シーティーシー・エスビー(株) テクニカルコンサルティングチーム

14:00 - 15:00	EX7-7
IoT向け低消費電力無線モジュールのRF信号測定 テクトロニクス営業技術統括部 岡田 信孝 氏	
15:30 - 16:30	EX7-8

- はじめてみよう！IoT
JBアドバンスト・テクノロジー(株)
IoT事業部 IoT営業グループ 担当部長 鎌田 良治 氏

オープンステージプログラム

10.4 火

4-A 10:00-10:30

Tokyo2020大会 映像紹介

協力 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

4-G 11:00-11:15

CEATEC AWARD 2016
大臣賞表彰式

4-H 13:00-13:15

U-22プログラミング・コンテスト2016
入選作品紹介

主催 U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

4-I 13:20-13:35

RH モーション変革が秒読み段階に
--- 動きでなく行為を編集・操る慶應義塾大学 ハプティクス研究センター
ハプティクス研究センター／理工学部 センター長／理工学部教授
大西 公平 氏

4-J 13:40-13:55

フレンチテックリヨン

フレンチテック東京 コーディネーター
ジャン・ドミニク フランソワ 氏

4-K 14:00-14:15

【パートナー募集】現場からはじめる
IoT! IoT 時代のデータ有効活用JB アドバンスト・テクノロジー株式会社
パートナー営業本部 IoT 営業グループ 担当部長
鎌田 良治 氏

4-L 15:00-

NRI ハッカソン2016 "STARTUP AWARD"

協力 株式会社 野村総合研究所



10.5 水

5-A 11:00-11:55

IoT 推進ラボ「The 2nd Big Data Analysis Contest 表彰式」

審査委員

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 機構長
日本学術会議会員
北川 源四郎 氏国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 副センター長
統計数理研究所客員教授
東京工業大学大学院連携教授
本村 陽一 氏株式会社 Y.NET 代表取締役社長
文部科学省科学技術学術審議会専門委員
公益財団法人 日本漢字能力検定協会理事
宮内 淑子 氏株式会社 ローソン 商品本部 ドライ商品部 部長
梅田 貴之 氏株式会社 オプトホールディング 最高解析責任者 CAO
データサイエンスラボ代表
国立研究開発法人 国立がんセンター研究所 客員研究員
齊藤 秀 氏

5-F 12:10-12:35

Tokyo2020大会 映像紹介

主催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

5-G 12:40-12:55

IT 機器を利用した最新現場支援システムのご紹介
～工場、物流現場 ピッキング作業の効率化とボカヨケ～株式会社 アイオイ・システム 営業部 部長
小谷崎 英二 氏

5-H 13:00-13:15

グラフで見る S パラメータファイルの加工と活用

ソネット技研 代表取締役
石飛 徳昌 氏

5-I 13:20-13:35

3D デジタル化及び関連サービス

株式会社 VRC 代表取締役社長
謝 英弟 氏

5-J 13:40-13:55

介護事業者が提案する IoT 機器による見守り環境

インフィック株式会社 代表取締役
増田 正寿 氏

5-K 14:00-14:15

IoT インフラを簡単構築できる VG-Sync IoT
VGSync IoT は IoT インフラを簡単に構築できる
ソリューションです。株式会社 ソフトエージェンシー 代表取締役
山岡 佐到士 氏

5-L 15:00-17:00

「スマート社会に貢献する先端繊維素材」

協力 日本化学繊維協会

感じるせんい

スマートテキスタイルの現状と可能性
生体情報計測用《スマートセンシングウェア》
東洋紡株式会社 コーポレート研究所 快適性工学センター部長
石丸 園子 氏着るだけで生体信号の測定が可能な
ウェアラブルデバイス (hitoe)東レ株式会社 機能製品部 主任部長
浅井 英 氏

繋ぐせんい

IoT ビジネスへ向けたセンシングデバイス開発
帝人株式会社 スマートセンシング事業推進班 班長
平野 義明 氏

伸縮電線<ロボ電>の特長と用途

旭化成株式会社 ロボ電事業推進室 室長
巽 俊二 氏

プラスチック光ファイバとその応用例

三菱レイオン株式会社
機能樹脂・機能化学品技術統括室 担当部長
沖田 明光 氏

創るせんい

電子機器の小型化・高性能化に対応する
電磁波シールド基材
(液晶ポリマー不織布〈ベクルス〉)クラレクラフレックス株式会社 販売第一部二課 課員
佐々木 雅浩 氏ポリ乳酸を基軸としたユニチカ製
3D プリンター用フィラメントの展開ユニチカ株式会社 繊維資材生産開発部 部長
香出 健司 氏放熱性に優れたピッチ系炭素繊維と
それを利用した複合材料の紹介日本グラファイトファイバー株式会社 取締役
高濱 裕宣 氏

10.6 木

6-A 10:15-11:15

米国メディアパネル
イノベーションアワード表彰式

6-B 11:30-12:35

CEATEC AWARD 2016
部門賞表彰式



6-H 12:40-13:15

Tokyo2020大会 映像紹介

主催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

6-I 13:20-13:35

SUM シリーズ電子材料特性解析計算の
クラウド新サービス紹介

サムテック有限会社 マイクロ波・ミリ波材料測定事業部 代表取締役
小林 禎夫 氏
サムテック有限会社 Linux・クラウドサービス事業部 取締役事業部長
小林 創太郎 氏

6-J 13:40-13:55

～業務上どうしても“手書き”の運用をやめられない方々へ～
デジタルライティングソリューション『Anoto LiveTM Forms』のご紹介

シーティーシー・エスピー株式会社
テクニカルソリューション本部 テクニカルコンサルティングチーム
武藤 純 氏

6-K 14:00-14:15

九州工業大学 佐藤研究室

6-L 14:20-14:35

本当に使えるデジタルサイネージソリューションの決定版

ソフネットジャパン株式会社 営業本部 広島営業部 部長
田中 洋一 氏

6-M 14:40-14:55

SUM シリーズ通信電子回路フィルタ設計支援ソフトの
クラウド新サービス紹介

サムテック有限会社 マイクロ波・ミリ波材料測定事業部 代表取締役
小林 禎夫 氏
サムテック有限会社 Linux・クラウドサービス事業部 取締役事業部長
小林 創太郎 氏

6-N 15:00-15:15

交民家をつくらうプロジェクト

ミサワホーム総合研究所 フューチャーセンター 市場企画室 室長
富田 晃夫 氏

6-O 15:20-15:35

IoT 時代における BLE ビーコン製品の
現状と今後の方向性

Bluetooth SIG (株式会社フォーカスシステムズ)
IT イノベーション事業本部テクニカルアドバンス事業部 ビジネスクリエーション部
柳澤 龍矢 氏

6-P 15:40-15:55

Think Universally, Act Globally
- 世界で使える多言語のユニバーサルデザイン -

株式会社 PUIN マーケティング部 取締役
松本 恭輔 氏

6-Q 16:00-16:15

熱電発電デバイス：IoT 電源から廃熱回収まで

株式会社 KELK 熱電発電事業推進室 常務取締役
八馬 弘邦 氏

6-R 16:20-16:35

次世代プラットフォームを採用した
スマートグラスの開発

セイコーエプソン株式会社
ビジュアルプロダクツ事業部 HMD事業推進部 エキスパート
馬場 宏行 氏

6-S 16:40-16:55

豊かな自然との触れ合いと安全な食の提供による
健康経営と地域活性化の実現

株式会社シー・シー・ダブル
山梨事業所(兼 山梨ICT&コンタクト支援センター) 副所長
馬場 宏行 氏

10.7 金

7-A 10:20-10:35

QZSS 対応次世代高精度多周波マルチ GNSS 受信機の
開発とライセンス提供

マゼランシステムズジャパン株式会社 代表取締役
岸本 信弘 氏

7-B 10:40-10:55

【ユーザー事例】阪神電気鉄道グループによる LTE 方式の
地域 BWA の構築・活用事例および普及への取り組み

華為技術日本株式会社 法人ビジネス事業本部
ソリューションマーケティングマネージャー
南保 邦亮 氏
阪神電気鉄道株式会社 コミュニケーションメディア統括部 課長
宮川 修一 氏

7-C 11:00-11:35

Tokyo2020大会 映像紹介

主催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

7-D 11:40-12:30

千葉市のドローン宅配等
「近未来技術実証・多文化都市」の
構築に向けた取り組み

千葉市 千葉市長
熊谷 俊人 氏



7-G 12:40-12:55

日本ナショナルインスツルメンツ株式会社

IoT 事例紹介：トンネル工事の安全管理と
省エネを実現した IoT システム

日本ナショナルインスツルメンツ株式会社
マーケティング部 マーケティングエンジニア
郭 峰 氏

7-H 13:00-13:25

U-22プログラミング・コンテスト2016
入選作品紹介

主催 U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

7-I 13:30-14:30

高度 IoT 情報端末としての「車」と
車載ヒューマンインターフェース技術の過去・現在・未来

国立研究開発法人産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター首席研究員
赤松 幹之 氏
国立研究開発法人産業技術総合研究所
主任研究員
中村 則雄 氏
株式会社ミライセンス
代表取締役
香田 夏雄 氏

7-J 14:40-16:55

ファナックと PFN、協業の舞台裏

ファナック株式会社
取締役 専務執行役員
ロボット事業本部長
稲葉 清典 氏



株式会社 Preferred Networks
代表取締役社長
最高経営責任者
西川 徹 氏 (PFN)



出展者内訳、アンケート結果

出展状況

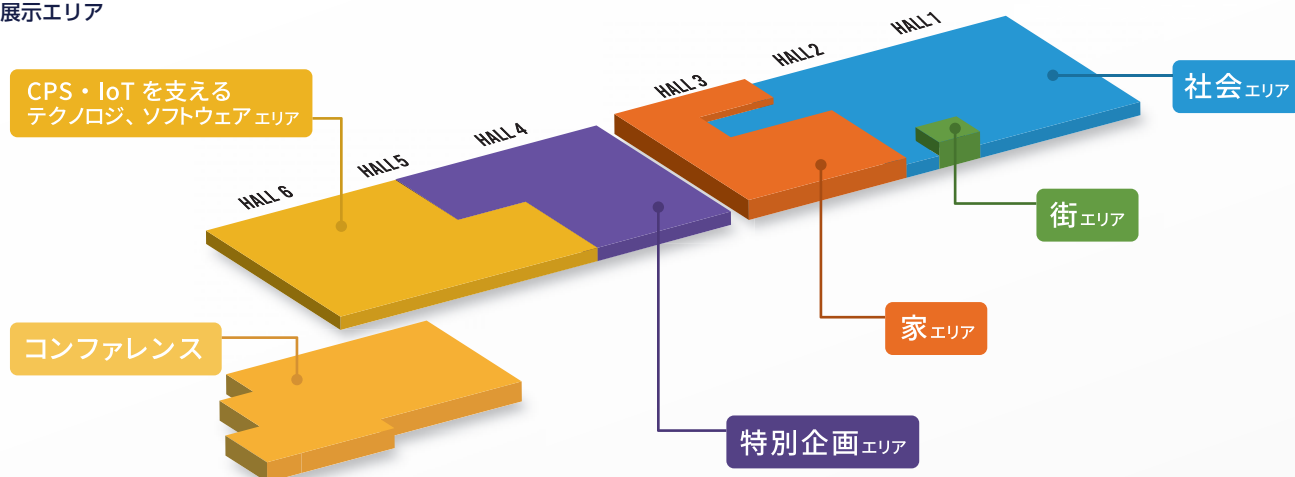
	出展者数			小間数
	国内	海外	合計	
社会エリア	69	29	98	489
街エリア	20	2	22	27
家エリア	56	22	78	252
CPS/IoTを支えるテクノロジー・ソフトウェアエリア	142	82	224	476
特別企画エリア	166	60	226	466
合計	453	195	648	1,710

海外出展者数の内訳（24カ国・地域／195社）

地域	国・地域数／出展者数	国・地域別の出展者数
アジア地域	12カ国・地域／140社	中国51／台湾38／韓国16／マレーシア14／インド10／香港5／カンボジア1／シンガポール1／タイ1／フィリピン1／ベトナム1／マカオ1
ヨーロッパ地域	10カ国・地域／19社	フランス5／イギリス2／スイス2／スウェーデン2／スペイン2／ドイツ2／アイルランド1／オーストリア1／デンマーク1／ルーマニア1
北米地域	1カ国・地域／27社	アメリカ27
中東地域	1カ国・地域／9社	イスラエル9

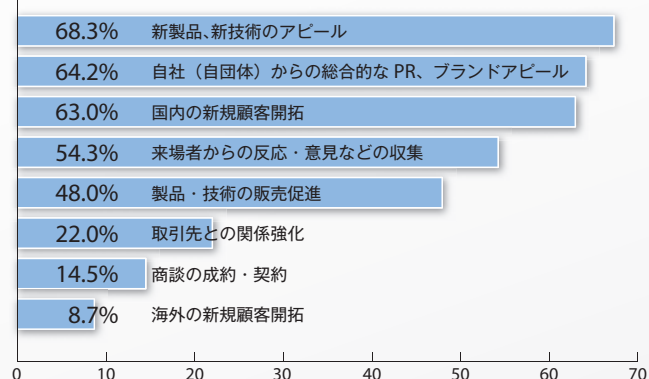
会場構成

■展示エリア

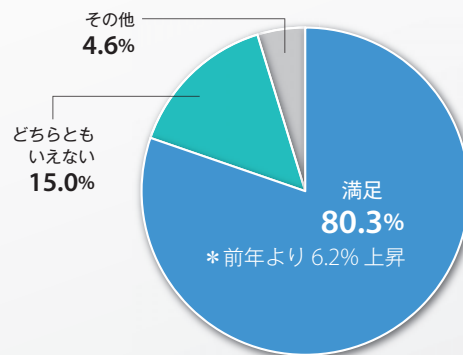


出展者アンケート

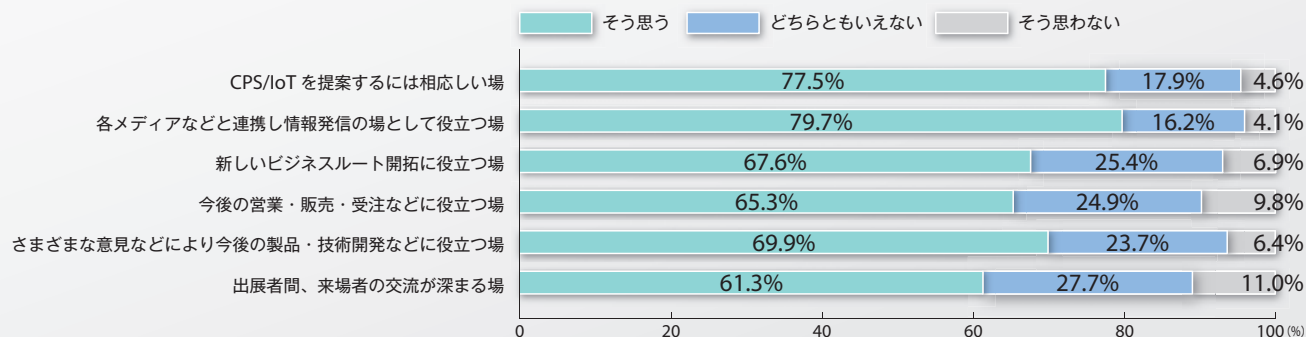
■今回の出展目的



■総合満足度



■『CEATEC JAPAN』の印象度



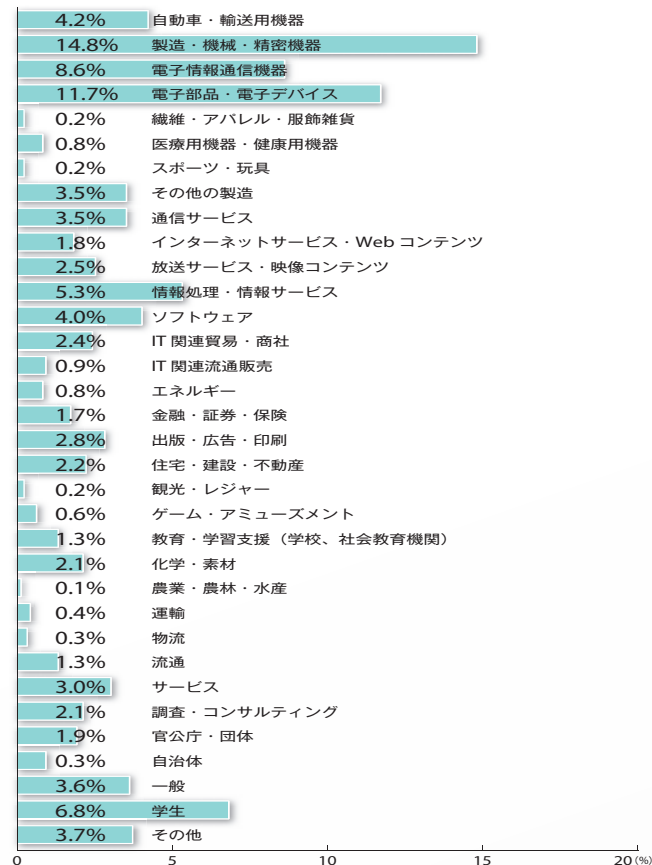
来場者内訳、アンケート結果

来場者数

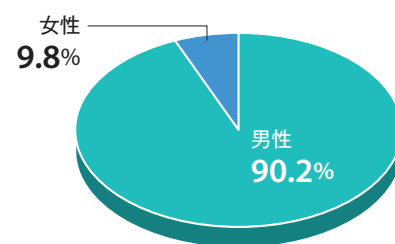
	4日（火）	5日（水）	6日（木）	7日（金）	合 計
登録来場者数	24,411	27,174	33,183	37,257	122,025
海外登録来場数	570	633	507	425	2,135
登録プレス	958	216	198	201	1,573
出展関係者	5,553	4,843	4,586	4,465	19,447
合 計	31,492	32,866	38,474	42,348	145,180

来場者の属性

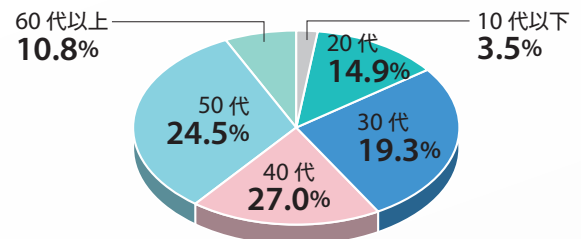
■業種



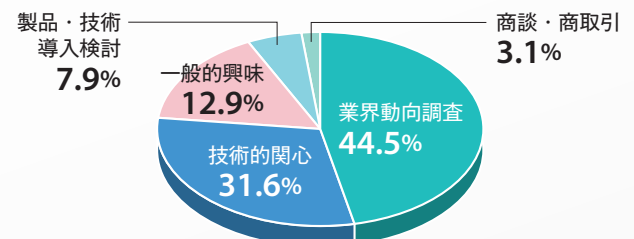
■性別



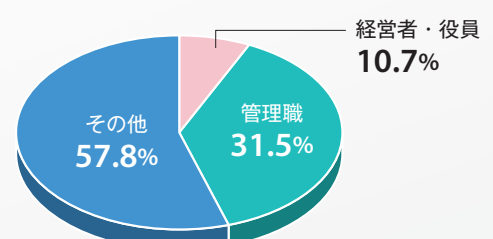
■年齢



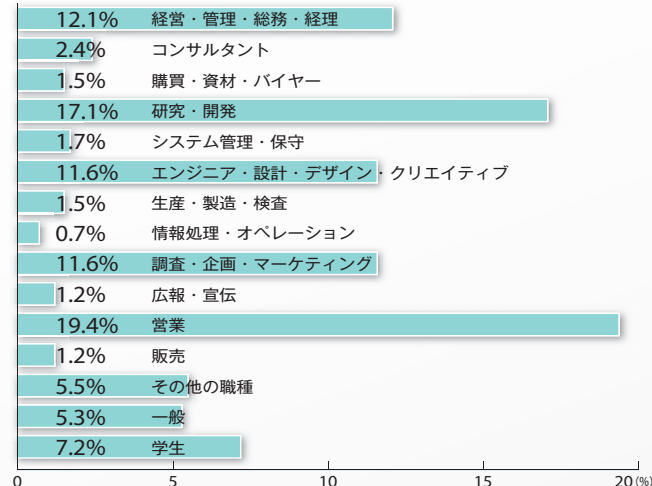
■来場目的



■職制

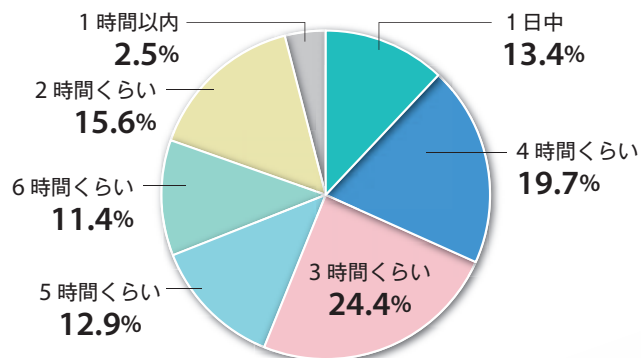


■職種

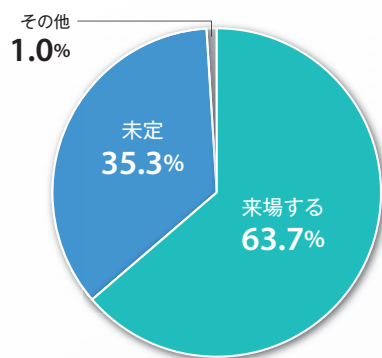


来場者アンケート ※事後来場者アンケート結果より

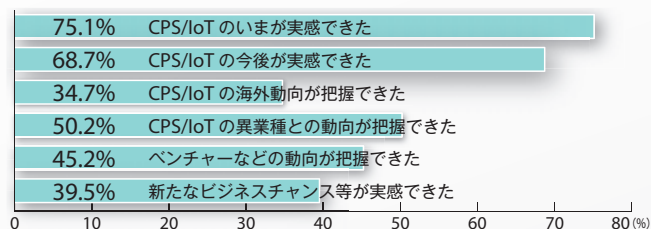
■『CEATEC JAPAN 2016』で滞在された時間を教えてください



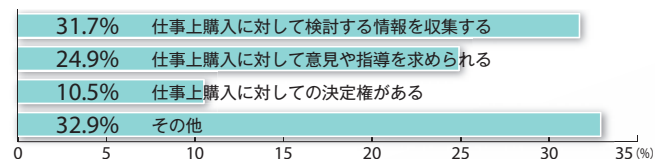
■次回の『CEATEC JAPAN』にご来場いただけますか



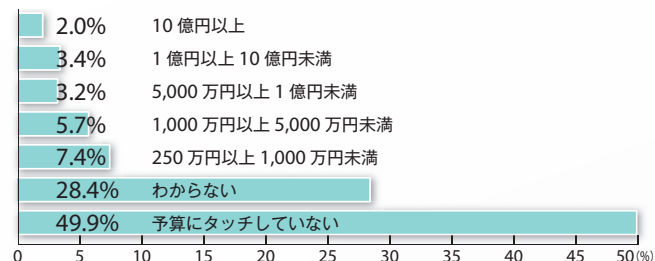
■『CEATEC JAPAN 2016』全体を通して、下記の点について感じられましたか



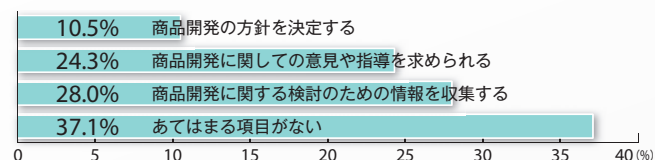
■IT関連製品・サービスの購入・導入への関与度



■IT関連製品・サービスの購入の年間予算



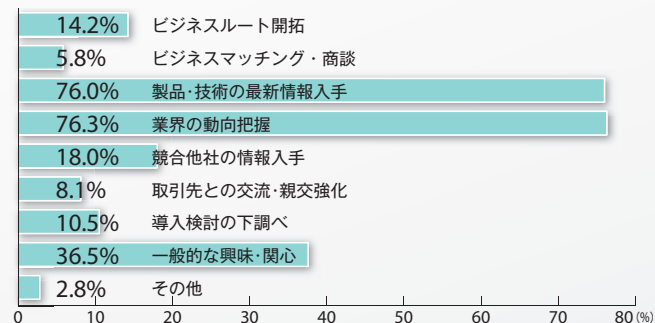
■自社商品開発に際しての本人の役割



■来場者目的詳細①



■来場目的詳細②（複数回答の場合）



広報・プロモーション

(1) CEATEC JAPAN 2016 プレスリリース (報道発表)

- ① 1/27 開催テーマ決定
- ② 7/28 開催概要発表 本日より公式 Website にて入場事前登録を開始
- ③ 9/26 主催者特別企画展示「IoT タウン」の出展概要を発表
- ④ 10/3 前年比22% 増の648社 / 団体が出展、「CPS/IoT の総合展」が開幕
- ⑤ 10/4 CEATEC AWARD 2016 総務大臣賞・経済産業大臣賞 決定
- ⑥ 10/5 CEATEC AWARD 2016 各部門グランプリ・準グランプリ 決定
- ⑦ 10/7 「CPS/IoT の総合展」、出展者数・登録来場者数ともに大幅増、盛況のうちに閉幕

(2) 海外プレスリリース配信 (English)

- ① 1/27 Exhibit Theme for CEATEC JAPAN 2016 Decided
- ② 7/28 CEATEC JAPAN 2016 Exhibition Outline
- ③ 9/26 Introducing IoT Town – Sponsors' Special Exhibit
- ④ 10/3 The CPS/IoT Exhibition Opens with a Total of 648 Exhibitors, Marking a 22% Increase Over Last Year
- ⑤ 10/4 CEATEC AWARD 2016 Two Ministerial Awards Selected

(3) 登録プレス数

1,573 名

※うち海外94名

(中国、香港、台湾、韓国、インド、マレーシア、アメリカ、フランス、ドイツ、スウェーデン、イギリス、ハンガリー、イラン、イタリア、オランダ など)

(4) オンラインニュース掲載数

国内 3,324 件 海外 7,236 件

※2016年10月28日現在 / 出展者・製品のみの記事等は除く。

■ CEATEC JAPAN 2016を取り上げた主な国内のオンラインニュース / WEB 電子版 (抜粋 / 順不同)

◇主要ニュースサイトを中心に IoT に関連する記事が掲載されました。

@DIME	Mixi ニュース	家電 Watch
@ IT MONOist	mixi (ミクシィ)	カナロコ
@nifty	Mobile ASCII	ギズモード・ジャパン
@nifty ニュース	MSN Japan	クリックカー
4Gamer.net	msn マネー	現代ビジネス
AFPBB News	MSN 自動車	コネタ by au ニュース
Ameba news	My J.Com	財經新聞
ASCII.jp	Net Nihonkai	産経 WEST
au one ニュース	News picks	産経ニュース
Auto Prove	NewsCafe	産経フォト
Autoblog JP	Nikkei Asian Review	ジェイパブ
AV Watch	Nikken Times	時事通信
BCN Bizline	NTT ドコモ (docomo)	時事ドットコム
Biglobe ニュース	OKGuide	週刊アスキー PLUS
BUZZAP	PC Watch	ジョルダンニュース!
Car Watch	Phile-Web	スポニチ
Carview!	RBB Today	ダイヤモンドオンライン (Diamond Online)
Cloud News Japan	SankeiBiz	中日新聞プラス
CNET Japan	Sanspo.com	デイリースポーツ online
Cybozu.net	ScanNetSecurity	東京 IT 新聞
EconomicNews	SEOTOOLS ニュース	東京ウォーカー
EE Times Japan	So-net ニュース	東洋経済オンライン
Engadget Japanese	Tech-On! (Nikkei)	トレーダーズショップ
e 燃費	The Japan News	どれまがニュース
FabCross	The Japan Times	ニコニコニュース
goo ニュース	TheNews	日経テクノロジーオンライン
Goo ビジネス EX	This Kiji Is - 47NEWS	日経デジタルヘルス
goo 自動車 & バイク	TNC ニュース	日経トレンドネット
GREE ニュース	WIRED.jp	日経ビジネス オンライン
Gunosy	Yahoo Japan ニュース	日経プレスリリース (Nikkei)
Hermitage Akihabara	Yahoo! ニュース Japan	日本経済新聞
Infoseek Tech	Yahoo! ファイナンス	ニュースイッチ
Infoseek ニュース	Yomerumo News	ニュース - msn
Internet Watch	Zakzak	マイナビニュース
iPROS	ZDNet Japan	毎日新聞
iza : イザ!	ZUU Online	みんなの株式
Japan News Headlines	朝日新聞	みんなの空港新聞
Japan Today	アメリバニュース	読売新聞
J-CAST ニュース	医療 NEWS	ライブドアニュース
Jiji Press	インターネットコム	レスポンス
kabutan.jp	エキサイト	ロイター
Mapiion	快適家電 Life	
Minyu Net	ガジェット通信	など

(5) 国内の新聞・雑誌記事件数

341 件

※2016年10月4日～13日までの実績

■ CEATEC JAPAN 2016を取り上げた

主な国内の新聞記事 (抜粋 / 順不同)

日本経済新聞	朝日小学生新聞	日刊放送ジャーナル
読売新聞	公明新聞	日本証券新聞
朝日新聞	世界日報	スポーツ報知
毎日新聞	夕刊デیلیー	毎日小学生新聞
産経新聞	日経産業新聞	建設通信新聞
東京新聞	The Japan News	科学新聞
中日新聞	The Japan Times	通信興業新聞
Fuji Sankei Business i.	日刊産業新聞	映像新聞
日刊工業新聞	日刊自動車新聞	交通毎日新聞
電気新聞	化学工業日報	夕刊フジ
電波新聞	電波タイムズ	
スポーツニッポン	印刷通信	
日刊ゲンダイ	聖教新聞	など

◆記事内容 / キーワード

- ・ CPS/IoT
- ・ 人工知能
- ・ ロボット
- ・ 異業種
- ・ 海外
- ・ ベンチャー
- ・ フィンテック
- ・ CEATEC AWARD

◆記事の論調

「家電の枠を超え、様々な技術を融合させた次世代サービスが主役の座についた」
(読売新聞 10月4日)

「従来の家電見本市を脱し、あらゆるものがインターネットにつながる「IoT」をテーマにするなど、未来の生活を描き出す場となった」
(読売新聞 10月5日)

「国内最大の家電見本市として知られてきたが、IoT(モノのインターネット)の総合展に衣替え(中略)主催者が大幅な見直しに踏み込んだ」
(朝日新聞 10月4日)

「デジタル家電の「見本市」から脱却し、あらゆる機器をインターネットでつなぐ「モノのインターネット(IoT)」による快適な社会の提案に軸足を移した」
(産経新聞 10月5日)

「今年はIoT(モノのインターネット)など最新技術の展示を強化し、従来の「家電見本市」から衣替えした。これが金融大手など異業種からの初出展や電機大手の再出展につながった」
(毎日新聞 10月5日)

「(略)異業種の参入も目出し、出展者・団体は4年ぶりに増えた。IoTシフトの流れは苦戦続きのニッポンの電機が巻き返す契機になるかもしれない」
(日本経済新聞 10月4日)

「これまでは出展者は家電や電子部品の性能を訴求してきた。今回は機器を使い、どんな価値を提供できるかを競う展示が増える」
(日刊工業新聞 10月4日)

(6) 国内テレビ放映実績

放映時間合計：7 時間 01 分 43 秒

放送日	放送局	番組名<放映時間>
9/30 (金) 開催4日前	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト 《3'50》
	BS ジャパン	ワールドビジネスサテライト (再) 《3'50》
10/3 (月) 開催前日	NHK	おはよう日本 《2'19》、ニュース 《1'33》、首都圏ネットワーク (中継) 《6'28》、ニュースチェック 11 《0'44》
	NHKラジオ (第1放送)	NHK ジャーナル 《5'02》
	日本テレビ	Oh!4NEWSLIVE 《0'23》、PON! 《0'19》、NNN ストレートニュース 《1'15》、情報ライブミヤネ屋 《2'46》、news every 《8'12》
	TBS	ひるおび 《1'15》、ゴゴスマ～GOGO!Smile! 《5'02》、NEWS23 《9'09》
	フジテレビ	ニューススピーク 《1'56》、みんなのニュース 《2'57》
	テレビ朝日	ワイド! スクラブル第一部 《1'10》、スーパーJチャンネル 《3'37》、Abema(アベマ)-TV Abema Prime (中継) 《15'00》
	テレビ東京	NEWS アンサー 《9'35》、ワールドビジネスサテライト 《9'59》
	BS ジャパン	日経プラス 10 《1'57》、ワールドビジネスサテライト (再) 《9'59》
	読売テレビ	かんざい情報ネットワーク ten 《3'47》
	テレビ大阪	ニュースリアル 《3'48》
10/4 (火) 開催初日	NHK	ニュースウォッチ 9 《2'45》
	日本テレビ	Oh!4NEWSLIVE 《5'40》、news every (中継) 《4'45》
	TBS	はやドキ! 《1'37》、朝チャン 《3'17》、N スタ 《4'35》
	フジテレビ	とくダネ! 《4'12》
	テレビ朝日	グッド! モーニング 《1'15》、スーパーJチャンネル 《1'22》
	テレビ東京	モーニングチャージ 《4'19》、M プラス 《0'18》
	千葉テレビ	NEWS ちば 600 《1'45》、NEWS ちば 930 《1'45》
10/5 (水)	NHK 名古屋	ほっとイブニング 《4'33》
	テレビ東京	モーニングチャージ 《0'35》
	読売テレビ	朝生ワイド す・またん 《3'39》
	BS ジャパン	日経プラス 10 《8'21》
	TBS	朝チャン 《1'31》
10/7 (金)	テレビ朝日	報道ステーション 《0'16》
	テレビ東京	モーニングチャージ 《0'50》

(7) 海外向けテレビ／ネット放送局放映実績

放映時間合計：13 時間 35 分 05 秒

●全世界

BBC WORLD「クリック」	1 時間 04 分 05 秒
NHK WORLD (日本時間)	47 分 18 秒
PC World Facebook channel ("Live") : IDG News Service (米国 : 西海岸時間)	16 分 54 秒

●米国 + 中南米

BBC World (英国時間)	2 時間 08 分 10 秒
米国 : ローカル局 - Steven Greenberg Show (各ローカル局時間)	17 分 52 秒
AWE-TV (USA 全国ケーブル・ネット)	未定
NTN 24 (スペイン語) (全米、中南米)	04 分 08 秒
RCN Nuestra Tele (英語・スペイン語) (全米、中南米)	03 分 32 秒
CLARO TV - Conexión Abierta (中南米)	03 分 32 秒

●南米

NTN 24 (スペイン語)	04 分 08 秒
----------------	-----------

●コロンビア

RCN TV (スペイン語)	03 分 32 秒
Telepásifco (スペイン語)	08 分 34 秒
P&C (スペイン語)	03 分 32 秒

●ヨーロッパ (英国)

BBC (英国時間)	2 時間 08 分 10 秒
------------	----------------

●ヨーロッパ (フランス)

LCI (フランス時間)	59 分 23 秒
France 2 (フランス時間)	02 分 30 秒
France 5 (フランス時間)	37 分 55 秒
France 1 (ラジオ)	02 分 51 秒

●ヨーロッパ (スペイン)

NTN24 (フランス時間)	04 分 08 秒
----------------	-----------

●中近東

BBC Persian TV "Farsi Click" (BBC「クリック」と同内容 : ペルシャ語) (英国時間)	1 時間 34 分 09 秒
Press TV (イラン)	01 分 49 秒

●アジア (アジア全域)

Phoenix Television: 特別番組 (60 分) (香港時間)	2 時間 56 分 36 秒
--	----------------

●中国

広東衛星放送 (中国全域)	03 分 04 秒
江蘇テレビ / 江苏公共频道 (江蘇省地域)	02 分 04 秒

10/8 (土)	CS353 BBC World News	CLICK (クリック) 《12'49》
10/9 (日)	CS353 BBC World News	CLICK (クリック) (再) 《12'49》 × 3
	青森放送	ニュートンのリンゴ 《11'45》
10/13 (木)	CS353 BBC World News	CLICK (クリック) (再) 《12'49》
10/14 (金)	KBS 京都	KyoBIZ 《13'37》
10/15 (土)	BS-TBS	週刊報道 BIZ ストリート 《2'33》
	青森放送	ニュートンのリンゴ (再) 《11'45》
10/16 (日)	CS-TBS ch572	週刊報道 BIZ ストリート (再) 《2'33》 × 2
10/21 (金)	KBS 京都	KyoBIZ 《13'01》
10/22 (土)	テレビ東京	ほほほ 《11'14》
10/29 (土)	BS ジャパン	マゼランの遺産 《2'15》
10/31 (月)	NHK World (Cable30 局)	Direct Talk 《2'26》
11/4 (金)	日本テレビ	ZIP! 《1'10》
11/5 (土)	NHK BS-1	経済フロントライン 《2'05》
	NHK World (Cable30 局)	Direct Talk (再) 《2'26》 × 2
11/19 (土)	BS-TBS	週刊報道 BIZ ストリート 《4'30》
11/20 (日)	CS-TBS ch572	週刊報道 BIZ ストリート (再) 《4'30》 × 2
11/27 (日)	BS ジャパン	やべっちのケイザイ入門～2020年の暮らしようなる?～ 《18'37》
12/1 (木)	NHK World (Cable30 局)	Great Gear 《12'18》 × 4
12/3 (土)	NHK BS-1	Great Gear 《12'18》
12月以降出	BS-TBS	週刊報道 BIZ ストリート 《3'00》
12月以降回	CS-TBS ch572	週刊報道 BIZ ストリート (再) 《3'00》 × 2

(8) メディアパートナー

関連業界紙誌・WEB メディア等と協力し、開催前から、開催後に至るまで情報を発信しました。また、様々な相互協力により新しい来場者層への業種・職種ターゲットを絞った PR をすることができました。

◆ CEATEC JAPAN 2016 Prime Media Partner



◆ CEATEC JAPAN 2016 Media Partner



(9) CEATEC JAPAN オフィシャルメールマガジン

過去の来場者および新規入場登録者、約24万件に向けて配信、本年度は HTML メール5件を含め16件のメール配信を行いました。

(10) CEATEC ニュース

CEATEC JAPAN のみどころや、出展者情報など話題性の高い情報を全145件配信しました。

(11) PR ツール (印刷物) の作成

- DM 招待券 (和英)・封筒を作成し、出展者・主催団体・関係団体・メディアを中心に広く配布しました。
- コンファレンスプログラム / 会場案内図 (和英) を作成し、会期中を通じ、全来場者に向けて配布しました。

CEATEC JAPAN 公式 Website

年間を通じて様々な情報をリアルタイムにお伝えしました。各種プレスリリースや必要アイテム・情報を集約し、開催にあたっては、来場者入場事前登録、コンファレンス聴講予約の機能を付加しました。出展者各社見どころの更新、CEATEC ニュース記事のアップ、出展者プレスリリースの掲載、各種企画の案内などの情報発信を行い大変多くの方に関覧いただいています。

■ ページビュー

3,161,597 件 (2016 7/1~2016 10/31)

■ セッション数

844,143 件 (2016 7/1~2016 10/31)

※「セッション」は、Website に訪問・接続・ログインしたユーザーが、サイト内を閲覧し、離脱・切断・ログオフするまでの、一連の行動をまとめたものをいいます。セッションはブラウザが閉じられたり一定時間反応がないと終了します。同義として「ビジット数」「訪問数」とも呼ばれます。

■ CEATEC ニュース 記事掲載

記事（日本語）：**145** 件
 （内 Prime Media Partner 提供記事 **47** 件）
 記事（英語）：**10** 件

■ 動画配信

YouTube などにレセプションや会場内、CEATEC AWARD 受賞製品などを集約し、国内外への情報発信力を強めました。

動画件数 **18** 件

■ CEATEC JAPAN 2016 特設サイトリンク集

掲載リンク数：**22** 件（日英合わせて） (2016 7/1~2016 10/31)
 合計クリック数：**5,646** 回

出展各社の CEATEC JAPAN 2016 特設サイトを公式 Website で紹介。効果的な情報発信を促進し、相乗効果を生みました。

■ ソーシャルネットワーク対応

◆ CEATEC JAPAN 公式 Facebook ※2016 10/31現在
 「いいね」数 **7,635** 件

◆ CEATEC JAPAN 公式 Twitter
 フォロワー数 **3,590** 件



名称

CEATEC JAPAN 2016 (シーテック ジャパン 2016)
(Combined Exhibition of Advanced Technologies)

開催趣旨

新たな産業革命と言えるデータ駆動型、また情報活用型社会到来に向けた収集・分析・テクノロジーを一堂に会し、参加者へのビジネスの創出と技術および情報交流、社会的課題の解決策の提案を行い、一層の発展と生活の向上および社会貢献を促す。

会期

2016年10月4日(火)～7日(金) 午前10時～午後5時

会場

幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬2-1

入場

全来場者登録入場制

- ▶ 当日登録：入場料一般1,000円・学生500円
(学生20名以上の団体および小学生以下は入場無料)
- ▶ Web 事前登録者・招待券持参による当日登録者：入場無料

主催

CEATEC JAPAN 実施協議会

- ▶ 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)
- ▶ 一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
- ▶ 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

後援

- ▶ 総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省 (建制順)
- ▶ 独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ) / 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 (AIST) / 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) / 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) / 独立行政法人中小企業基盤整備機構 / 日本政府観光局 (JNTO)
- ▶ 千葉県 / 千葉市
- ▶ NHK / 一般社団法人日本民間放送連盟
- ▶ 一般社団法人日本経済団体連合会 / 日本商工会議所 / 東京商工会議所 / 千葉商工会議所
- ▶ 米国大使館商務部 / 駐日欧州連合代表部 / 英国大使館貿易・対英投資部 / フランス大使館 貿易投資庁 - ビジネスフランス / ドイツ大使館 (順不同)

協賛団体

- ▶ 一般社団法人電気通信事業者協会 / 一般社団法人電気通信協会 / 一般財団法人インターネット協会 / 一般社団法人情報通信技術委員会 / 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 / 一般社団法人IT 検証産業協会 / 一般社団法人コンピュータ教育振興協会
- ▶ 一般社団法人電波産業会 / 一般財団法人電波技術協会 / 一般社団法人衛星放送協会 / 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 / 一般社団法人日本CATV 技術協会
- ▶ 全国家電流通協議会 / 全国電機商業組合連合会 / 全国電子部品流通連合会 / 一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会
- ▶ 一般社団法人日本電機工業会 / 一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 / 一般社団法人日本オーディオ協会 / 一般社団法人日本医療機器工業会 / 一般社団法人日本電気計測器工業会 / 一般社団法人日本電気制御機器工業会 / 一般社団法人カメラ映像機器工業会 / 一般社団法人組込みシステム技術協会 / 一般社団法人日本電子回路工業会
- ▶ 一般社団法人日本自動車工業会 / 特定非営利活動法人 ITS Japan / 一般社団法人日本自動車部品工業会
- ▶ 電気事業連合会 / 一般財団法人新エネルギー財団 / 一般財団法人

省エネルギーセンター / 一般社団法人日本電気協会 / 一般社団法人電池工業会 / 一般社団法人太陽光発電協会 / 一般社団法人日本風力発電協会 / 一般社団法人ソーラーシステム振興協会 / スマートコミュニティ・アライアンス

- ▶ 一般社団法人住宅生産団体連合会 / 一般社団法人日本機械工業連合会 / 一般社団法人日本ロボット工業会 / 一般社団法人日本冷凍空調工業会
- ▶ 一般財団法人デジタルコンテンツ協会 / 一般社団法人日本映像ソフト協会 / 一般社団法人日本書籍出版協会 / 一般社団法人日本レコード協会 (順不同)

協賛学会

- ▶ 一般社団法人映像情報メディア学会 / 公益社団法人応用物理学会 / 一般社団法人画像電子学会 / 一般社団法人情報処理学会 / 一般社団法人電気学会 / 一般社団法人電子情報通信学会 (順不同)

協力

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

グローバルパートナー

- ▶ Consumer Technology Association (CTA) / International CES (USA)
- ▶ Messe Berlin / IFA (Germany)
- ▶ Messe München International / electronica (Germany), electronica & Productronica China (China)
- ▶ Hanover Fairs / CeBIT (Germany) (順不同)

アジアパートナー

- ▶ China Council for the Promotion of International Trade, Electronics & Information Industry Sub-Council (CCPIT ECC)
- ▶ China Electronic Chamber of Commerce (CECC)
- ▶ China International Software & Information Service Center (CISIS)
- ▶ The Hong Kong Electronic Industries Association (HKEIA)
- ▶ Taiwan External Trade Development Council (TAITRA)
- ▶ Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference (AEECC*) メンバー
- ▶ China Electronic Appliance Corporation (CEAC)
- ▶ Hong Kong Trade Development Council (HKTDC)
- ▶ Korea Electronics Association (KEA)
- ▶ Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA) (順不同)

※ Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference (AEECC*) は1997年に組織され、各国・地域で開催している展示会間のPR・広報協力などに関して相互協力関係を構築しています。

運営

CEATEC JAPAN 運営事務局

(一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階

電話：(03) 6212-5233 FAX：(03) 6212-5226

CEATEC JAPAN 運営事務局（一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル
電話：(03) 6212-5233 FAX：(03) 6212-5226

www.ceatec.com